

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－107）、MOX燃料加工施設（1－98）」

2. 日時：令和4年1月28日（金） 10時00分～12時00分
13時30分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、中川上席安全審査官、田尻主任安全審査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、河原崎安全審査専門職、高梨安全審査専門職、森野安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 須藤 専務執行役員 燃料製造事業部副事業部長

松田 常務執行役員

大柿 常務執行役員 他50名

九州電力株式会社 テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部

原子力土木建築部長

東京電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル技術グループ

チームリーダー 他1名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他1名

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

北陸電力株式会社 原子力部 原子燃料技術チーム 主任

四国電力株式会社 原子力部 サイクル技術グループ 担当

日本原電株式会社 発電管理室 設備耐震グループ 課長

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 専任部長代理 他3名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「設工認申請に係る対応状況について」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和3年12月22日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年1月14日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年1月19日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年1月21日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年1月24日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	本を開始しました。
0:00:02	と、成長シミズです。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:07	本日のヒアリングは、令和2年12月に4日に申請があった設工認申請について、資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:17	山崎規制庁側の出席者を紹介しますと本庁会議室からコサクナカガワタジリタカナシシミズ。
0:00:27	以上です。ウェブから頭カミデオオカカワラサキ。
0:00:33	以上になります。
0:00:35	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と依頼の構成とあと説明を開始してください。
0:00:43	はい。日本原燃中浜でございます。
0:00:46	日本原燃側の出席者をご紹介します。
0:00:50	まず、事務局といたしまして、マツダ、
0:00:53	ムラノ、
0:00:55	タカハシ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:56	フジノシミズ
0:01:00	赤松。
0:01:01	谷口。
0:01:02	石原。
0:01:04	中浜。
0:01:05	説明者といたしまして、
0:01:08	チダ。
0:01:09	ヤマモト。
0:01:10	ナカヤ。
0:01:12	イグラ。
0:01:14	イナバ。
0:01:15	イワダテ。
0:01:17	カサモ。
0:01:19	エビナ。
0:01:20	サイトウ。
0:01:22	ウェブからの参加で日本例年よりモリマツ。
0:01:26	九州電力様から、南里様。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:29	小山様が参加設置してございます。
0:01:35	本日の説明資料でございますけれども、今画面共有させていただいてございます。
0:01:40	火災防護に関わる共通テロシリーズの、
0:01:45	仮防 00-01 及び火災予防 00-02。
0:01:51	補足説明資料でございます。仮防についてご説明するとともにですね、対象関係でございますが以下の 19 番。
0:02:00	をご説明する予定となっております。
0:02:04	よろしければ、仮防 00-0102 からご説明させていただきたいと思えます。
0:02:12	はい。日本原燃-院長。
0:02:16	どっちから。
0:02:17	フジノ社会武笠伊井から外したと。
0:02:22	はい、規制庁タジリですが、外部火災からちゅう話も聞いてたんですけど、内部火災からの方がいいですか。であればそれでも全然構わないんですけど。
0:02:31	はい。日本原燃六ヶ所です。はい。それでは火災災害からの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	19番からご説明差し上げます。
0:02:42	お願いします。
0:02:51	日本原燃の蝦名です。本日は提出させていただいた資料なんですけども、危険物のタンクの評価ということで、
0:03:05	事業許可の審査、簡単にちょっと最初にご説明させていただきますが、事業許可の審査の中ではですね、重油の許容値、
0:03:15	の話を、240度そもそも、発火点がそんなもんなんですけども、それを丸めて違約度で評価するとしておりました。また、敷地内の最も近い値で評価することで、
0:03:29	敷地内の危険物施設がすべて問題ないことをお示するというので考えて、
0:03:35	敷地内には、中のほかに、軽油でありますとか、ノルマルドデカンだとか絶縁湯というのも、存在しておってですね、200度とすることで、こういったタンクも問題ない、包含するというので、
0:03:51	考えていたんですが、検討の進捗に伴ってですね、屋外の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:57	<p>経由というのは、結果として空運用になったりですね、結果として、他のものは考えなくていいというふうな状況になってございます。その結果対象として残ったのは重油タンクということになったんですが、</p>
0:04:11	<p>そういった経緯の中で、許容温度 200 度というのは、10 単体ではですね、240 と問題ないと考えたものではあったんですが、そういった考え方を、</p>
0:04:24	<p>十分にですね説明できていなかった部分があった。</p>
0:04:27	<p>そこで、その他火災の重ね合わせについてですね、安全上重要な施設に対しては、お互いの輻射強度を考慮はしておりますが、現実的じゃないです。すいません。</p>
0:04:42	<p>設定数ざっくり言うと、許可の時はざっくり 200 度でいいかと思っただけで、よく評価してみたいに 100 を超えるかもしれないんで、許容温度 240 ケースの妥当性しっかり示しながら許容温度 240 で改めて評価の結果を示したいんですとかそんな感じでいいですか。</p>
0:04:56	<p>はい、申し訳ございません説明が課題とかで、あくまで整理しようと言ったものなので詳細化してみても変わることはあり得ると思ってるので、何か長友安孫子説明していただくというよりは簡潔に説明していただいた方が理解しやすいのでよろしくお願いします他に説明あれば。</p>

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:15	はい。それではちょっと片桐説明させていただきます。
0:05:21	はい。日本原燃の齋藤でございます。それでは外貨 19 の資料につきまして簡単に説明いたします。
0:05:29	まず、
0:05:35	まず外貨 19 年の、
0:05:38	本体の方ですが、2 ポツの敷地内の危険物貯蔵施設等と火災元及び爆発元の選定ということで、こちらで危険物貯蔵施設等に対する評価としては、
0:05:49	他の外部火災防護対象施設。
0:05:52	に対する評価と同じ想定を置くといったようなことをまず説明しております。その上で、海外が 19 何ページ目の表で、それぞれの火災元に対してどういった危険物貯蔵施設等を、
0:06:05	評価の対象とするのかということを整理しております。
0:06:08	同様にですね第 2 の 2 において、MOX における評価対象についても、ここで示しております。
0:06:18	ページ飛びまして外貨 19 の 6 ページでございます。こちらで、3 ポツの評価方法からなのですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:28	評価の方法について、ご説明する前にですね、
0:06:32	外部火災、こういった事象を想定するのかということをごここで並べているのです。ですが、ここでは、ありがとうございました。永井代表は見ているつもりなので、主立って説明したいところとか許可、
0:06:47	あれで何か追加的に説明したいところとかを重点的にやっていただいた方が多分良い方の、何か一般的なやつは大体見てるし許可で聞いたところから変わってなければそうかなというところもあったりするので
0:06:58	もらって説明したところに絞って構わないのでよろしくお願いします。
0:07:05	日本原燃の齋藤でございます。承知いたしました。
0:07:08	そういうことで言いますとまず、我々ですね今回許可で御説明監視もしてなかったところについて、ちょっと詳細に説明しようとしております。そこが外貨 19 のまず 7 ページ。
0:07:20	フローがございますが、こちらのフローですね、これ後程ちょっと説明させていただきますが、許容温度 200 度ですね崩落油について、
0:07:34	A 重油以外の評価対象を包絡するものとして 20 を設定しております、まずその包絡評価を行うと、崩落評価を行った結果、許容温度である 200 度を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:46	超えてしまうものについては個別の評価を行うといったようなことを、 このフローで表現しております。
0:07:53	続きまして、
0:07:56	飛びますが、参考の 1。
0:08:00	ご覧ください。こちら共用温度の設定についてなのですが、こちらで許 可でどのように許容温度を整理していたのかということと、今回個別評 価で用いる 240 度について、
0:08:13	こちらで説明をしております。
0:08:18	土岐評価におきましては、冒頭、冒頭蝦名から少し説明があったように ですね。
0:08:23	再処理施設の軽油やノルマルドデカンといったものを包絡する許容温度 として、20 を設定しておりました。しかしですね、今回設工認におきま しては個別の評価対象もあるということで、
0:08:36	200 度という数字は変えるわけではなくてですね、個別の評価をして、 するにあたっては、240 度、もう 10 しかありませんので、240 度を、
0:08:46	設定するといったようなことを、
0:08:51	が大きなところかなと思っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:54	あと
0:08:56	はい。
0:08:57	日本原燃の蛭名です。本資料につきましてはちょっと急遽作ったもので ですねかなり精査が十分にできてない点があった点、ことにつきまして は
0:09:10	すいません、申し訳ございませんでした。以上です。
0:09:23	規制庁谷です現時点までの状況の確認なんですけど、まず許可で共用と 206 言っちゃってましたと、若干そこもあって、200 度っていうのを えちゃ駄目なのかなっていうところにすごいこだわりすぎて、何か包絡評 価 200 度そのあと 240 の評価っていう形になってるんですけど。
0:09:40	個別の評価の話があって言ってるけどさっきの話だと結局重要な評価し かないんだから、包括評価も個別評価も結局 240 でやってもらおうじゃ ないかっていうところもあったりするところで、これ、二段階に評価す ると何か今、意味があるんですけど
0:09:53	許可の時はミヤモトの流れを踏まえながらやると二段階になっちゃいま したってところわかるんですけど、設工認において今結局許容温度 240 度の妥当性を示した上で、最終的にそれで確認するやつもいる状況だと は思ってるんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:05	この二段階評価する意味って何かあるんですけど。
0:10:10	日本原燃の蝦名です。確かにおっしゃる通り、設工認の段階で、現状の設備の状況というのを踏まえると、楽しません 200 度で評価する、落の。
0:10:25	1 段階の評価はあまり意味がないかなというふうに確かに思いました。以上です。
0:10:31	規制庁田部井です。
0:10:34	解析とか計算の方向に置いて、概略の評価をやって、それが駄目だったら詳細っていうので、外部評価と詳細評価両方におけるやつがあるのは当然理解するんですけど設工認で。
0:10:45	ただ今回、許容温度 200 にした場合に 140 にした場合って、評価結果の温度出てる状況で、それと 2 丸ラベルが 240 比べるかって何だったりする意味はほぼもうないんじゃないかなっていう気もしており、
0:10:58	また何か後ろの方の、ちょっとさっき言う所の方の話って恐縮であるんですけど、なんか MOX は何か別に丸橋河津に両方 240 って書いてたりもする気もするので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:09	要は 2 段階評価で書く意味があるんだったらそこも否定はしないんですけど。
0:11:14	何かそもそものその 240 でやることの位置付けしっかり説明してもらう方に重点を置いてもらった方が、資料としてもわかるんじゃないかなって気はするので、そのあたりは精査していただければと思います。
0:11:26	日本原燃の齋藤でございます。土肥今受けたコメントを踏まえてですね、精査いたします。
0:11:43	規制庁谷井です他って何か説明されますか。
0:11:47	すみませんちょっと途中で話をごっちゃ申し訳なかったんですけど。
0:11:51	生徒日本原燃の蝦名です。説明としては
0:11:57	以上となっております。
0:11:59	規制庁谷井です。右下 32 ページとか説明しなくていいですか。
0:12:12	日本原燃の齋藤でございます。
0:12:14	右下 32 ページ参考 3 となっております、こちら、基本となる評価というのは、評価でご説明している通りの評価の方法。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:25	となっておりませんが、こちら仮にですねその許可の通りの評価の方法を踏まえて、評価した場合ですね 10、設定している 20 度をちょっと超えて、
0:12:38	くるところがございます。
0:12:42	そういった場合でもですですね、評価方法について、もう少し現実に即したパラメータを導入することによって、その結果がどうなるのかというのを、参考 3 で示させていただいております。
0:12:54	簡単に評価条件申し上げますと、従来の評価の評価では、不足による放熱というのは考えておりませんでした保守的な評価を、
0:13:04	行ってたんですが、今回ですね、204、200 度を超えてくるところがあるということで、もう少しですね現実的な風速を導入して、
0:13:15	評価をしております。この風速の考慮。
0:13:20	ですね結局対流熱伝達の考慮になるのですが、この考え方、この考え方自体は外から 04 の航空機墜落火災ですでに示した通りの考えとなっております。
0:13:30	その結果ですね、200、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:33	240度を大きく下回って200どうも超えないといったような評価の結果を終えております。以上です。
0:13:43	規制庁谷井です。なんでとりあえず今日本当に0度妥当性として説明していくものの、さっき言った簡易評価と詳細評価に近い話ですけど、航空機落下んところみたいに風速の話も考慮しながらやったやつの結果も一応参考として載っけましたっていう理解をしましたちょっと後で内容を確認するかもしれないですけど。
0:14:00	他の説明じゃないですかなければ確認したい点に行こうかなと思うんですけど。
0:14:06	日本原燃齋藤でございます。特段ございません。以上です。
0:14:12	規制庁田尻です。
0:14:13	そういった意味で言うと所々趣旨は、引き続いてきてしまって申し訳ないところなんですけど一番確認したいのが、その204条の妥当性のところなんですけど。
0:14:23	NSのデータシートって、約240度って多分書いていて、そこに関する説明を一応書かれてると思うんですけど、この薬っていうのは上振れの可能性だけがあるのかそれとも下ぶれの可能性があるのかっていうのをちょっと確認しておきたいです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:39	許容温度等 270 度と実際の評価温度の家、値比べると、意外に近いところともあると思っていて、この 240 っていうのがいかほど根拠だったものかっていうところを確認したいかなと思ってるんですけど。
0:14:53	これ 200 何十どうのう説明ってもうちょっとできますか。
0:14:59	日本原燃の齋藤でございます。240 度の地区に関してはその資料ご覧になってると思うのですが、
0:15:10	規制庁谷井です。6 ページに書いてあるのは当然知った上でこれだけだとわからないから聞いているところなんで書いてますっていうふうに言われると、間延ばしづらいんですが。
0:15:20	申し訳ないですちょっと途中になってしまってますね、
0:15:24	日本原燃の齋藤でございます。240 度につきましては、まずちょっと我々の、まずちょっとか考えを非常に簡単に申し上げますと、あくまで一般的な重油に関する発火点というのは 250 度からというのが、
0:15:37	2、10 着しておりますんで、それに、それに基づくとですねメーカーの SDS に記載している約 240 度というのをどうとらえるのかと言いますと、下ぶれの要素はないだろうと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:48	衛藤はということを考えて、240度を設定しております。で、多分おそらくご趣旨としましては下ぶれの要素がないかどうかちょっと補強する必要があるということだと思っておりますので、
0:16:01	そちらに関しては、
0:16:04	ネオスのSDベースに記載しているA重油というものが、特別なA重油等では、等ではなくては、あくまで一般的なものであるということがまず確認できれば、
0:16:15	というイメージを持っております現在確認中でございます。以上です。
0:16:19	規制庁谷井です。データの補強であればデータを根拠補強されようとしているところなんだと思うんですけど10aの発火点250度からっていうのはいろんな文献に書かれてるところだと思うんですけど。
0:16:31	ネオスがどういう趣旨に約240って書いたかによるんですけど、例えば添加剤入れたりしてて、発火点が微妙に下がってるんですけど可能性もなきにしもあらずだと思っていて。
0:16:42	だとすると、この約240度っていうのがいかほど下がるかっていうのは、どういったものまでというか、どういうふうに、これが設定された、設定されたのか試験結果なのかわかんないですけど、その根拠っていうのがないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:55	多分そうだろうにしか多分そのままいくと終わらないような気もするの で、約 240 度っていうのが、何から来てるものなのかっていうところの データをもうちょっと補強いただいた方がスタートの根拠だった説明に なるんじゃないかなと特に今回の 240 度っていうところに多様にいくん だと思っているので、その点に関しては
0:17:12	しっかりデータの補強等をお願いできればと思います。自分からはとり あえず以上です。
0:17:20	日本原燃のモリマツです。はいそういった観点はあると思っております ので、現在ネオスの方に問い合わせさせていただいて、こういったとこ ろまで考えて、200 何十度が設定されているのかというところは追って ご説明させていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。
0:17:35	城谷です。おっしゃる通り、持ってきてる人に聞くのが一番、何百設定 したのっていうので、そこに根拠だった証拠があるんだったらそれがま さに 240 の根拠の最たるものだと思ってるので、その点も含めてよろし くお願いいたします。
0:17:54	日本原燃先ほどございます。承知しました。
0:17:58	規制庁課です。じゃあ、今田尻の方からありました地区分許容温度のし っかり根拠を説明することっていうところ以内で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:06	少し確認させていただきます。資料、元の蛭名さんからの、
0:18:13	説明もありましたが、少し、
0:18:16	MOXと再処理で、適正にそろってないとかそういったところが結構目立ちましたのでまず、今後、
0:18:23	どんどん精査していくと思いますんで、その辺含め、
0:18:27	しっかり精査の方よろしくをお願いします。で、
0:18:30	麻生です。
0:18:31	そうになったのが、初め少し説明があったかもしれないんですけど通し3ページ目の2ポツのところ。
0:18:38	ここに、今回どういう見物の施設等の、どういう評価をするかっていう説明があるんですが、
0:18:46	理由が異なってる高校へ戻しますこういうものをしませんっていうような書き方。
0:18:51	をしていて、
0:18:53	今回この資料を作る経緯みたいなのところもあるので、その理由をしっかりと、これはやる、これはやらないっていうことを明記していただければと思います。次の改定とかでは、しっかりその辺の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:06	社内でどういうふうを考えて、これをやることにしましたというふうには考えてこれはやらないと。
0:19:12	北尾。
0:19:19	はい。日本原燃のモリマツです。申し訳ありません記載がちょっとわかりづらくなりましたが、外部火災防護対象施設と同じか、外部火災を想定するというふうにちょっとか考えておりました、
0:19:31	ただですね、危険物貯蔵施設そのものが燃えるという、燃えたり爆発したりってものの火災については、評価対象外とするという考え方をちょっと
0:19:43	書いてはいるつもりではあるんですけどもちょっとそこをもう少し明確に記載させていただこうかと思います。そのものを火災現場発言としてというのが
0:19:53	それ自体が燃える事情なので、考えておりませんという、
0:19:57	ことでちょっとわかるように記載させていただきたいと思います。
0:20:03	はい。規制庁岡です。そそのものが燃える燃えない以外にもいろいろあるかとは思いますが、
0:20:12	例えば航空機墜落火災はなんでやらないのかとか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:18	ここ、
0:20:21	僕、衝突を考慮する航空機墜落の想定は除きとなっていて次の次、
0:20:31	8 ページ目のところでは航空機墜落火災と敷地外の危険物貯蔵施設等の 火災爆発の重畳ってというのは、
0:20:37	やはり、
0:20:38	何か、
0:20:39	もう少ししっかり整理した上で3 ポツにつなげよう、
0:20:45	説明をロジック的、ロジカルにしていればと。
0:20:51	いかがでしょうか。
0:20:53	かしこまりました。航空機墜落については、す。航空機墜落の重畳。
0:21:01	ですすねそのものに衝突させるというところまでの評価をしてあるの で、
0:21:05	その航空機墜落も含めて、対象外となると考えております。で、すいま せんその数、3 ポツの評価のところちょっと記載がまたちょっと出て きてしまったところは、すみませんちょっと修正漏れが入ってしまった ので、そこは修正させていただきたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:22	考え方としては、その最終段の、その衝突して、一緒に火災爆発をする というものに対して、外部火災防護対象施設が問題ないということの評 価しておりますので、
0:21:34	航空機墜落もそのものが燃えるものとして、考えているということにな ります。
0:21:40	その辺の記載させていただきます。
0:21:43	規制庁からその辺は理解しており
0:21:46	補足説明資料の、
0:21:49	何。
0:21:53	もしかしたら、
0:21:55	はい。日本原電モリマツです。かしこまりました。はい。
0:21:59	9 ページ目のフローとかで今回、先ほども議論がありましたが、
0:22:04	他の時は第 4 評価でこうやりましたで、
0:22:07	別途等を検討してみたっていう部分はその補足の中でしっかり論じてい ただければと思うんですが、
0:22:17	この第 3.1 本の位置図はこれは、何か非常に、
0:22:24	今やってることと違っていですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:27	文章と合っていないと、例えば、米1がーなんか戻るポイントとかは、これ無限ループになるようなフローになっているんですが、
0:22:38	どういうことを意図しているんでしょうか。
0:22:46	日本原燃のモリマツです。衛藤。
0:22:50	第3-1-1図ですね、笠井元から最も近いものがまず下の方の評価に入っていきますしてその他の評価に、その他の危険物については、一旦、
0:23:02	そのほかの危険物の評価に行楽できないというところに入っていきます。で、
0:23:08	その最も近いものが崩落評価で問題ないということがわかれば、包絡で きるになりますので、他の危険物評価に包絡できないワノーとなりまして、
0:23:21	当社にはい、評価不要の方に入っていくと。
0:23:24	いうふうなフローで考えております。で、加瀬委員から最も近いものが 個別に評価しなければならないっていう場合については、他の危険物、
0:23:34	評価に今入ってるものがですね、省略できないっていうことがイエスに なりますので、その前の段階に入りは、※1の方に入りまして、もう1 回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:45	今残っているものの中から最も近いものを選んで、包絡評価をできるかどうかを判断していく、そういうフローで考えております。
0:23:56	それと他です。ここで1回フィルター掛け
0:24:00	た上でさらに稼ぎ
0:24:02	かどうか。
0:24:07	吉谷じゃ駄目。
0:24:09	なんですかね。
0:24:12	その評価されたものを財源から最も近い。
0:24:23	そうですね。その葛西元から最も近いでもうすでにランキングはできているので、
0:24:30	そういうふうにフロー聞き直します。葛西委員から近いものを選定するとし、してしまって、
0:24:40	結んそうそういうふうに見えますね。ごめんなさい。ちょっとそこはちょっと私の考えとしては、笠井委員から最も近いで、最初のものだけピックアップしてやって、他のやつはもう右に流れてやって、
0:24:53	まだ判断がついていないので、再度ですね、イコール評価されなければもう1回入ってきて、今残っているものの中から、最も近いものを選んで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いくっていうフローで考えておりました。ちょっと見え方が、ちょっといろいろあるようなので、
0:25:09	ちょっとそこはちょっといろんな方と相談して、
0:25:12	書き方を考えたいと思います。
0:25:14	はい。規制庁黒瀬ですよろしく申し上げます。あと、もう1点このフローの中で、先ほど個別評価と代表評価。
0:25:22	お話があって許容温度っていうのが今、この資料の中で2種類。
0:25:27	出てきている状況で、このフローと、
0:25:32	温度の考え方
0:25:34	うまく、
0:25:35	いなかったり、
0:25:37	今はこっちの許容温度今はこっちの共同っていうのが
0:25:42	しっかり垣見
0:25:42	られてないんじゃないかと。今、そっちのグラウンドのことを言ってるのかっていう。
0:25:48	ここがかなり曖昧な表現のところが結構ありまして。
0:25:53	そこら辺もちょっと先ほどの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:57	概要評価の時は、
0:26:01	こういうプロセスをしていましたが、
0:26:04	設置設工認の段階では重油だけになったので、もう
0:26:08	個別の評価に移りますっていうロジックも含め、
0:26:12	そういう、
0:26:14	に、
0:26:15	ダブルスタンダードみたいになっているところは今どっちのことを言っているのかっていうことを意識しながらもう少し精査いただければと。
0:26:23	と思いますがいかがでしょうか。はい。日本原燃のモリマツです。こちらですねちょっと提出した後にですね社内でもちょっと議論がありまして、旧温度というのはことを話してるのかがわからなくなるというところは、確かにございましたので、
0:26:37	例えば旧温度 12 として明確に、どっちの許容温度を使っているかというところはしっかりと説明していきたい。書けるようにしていきたいと思います。ちょっと暴落評価等詳細評価のところをですね、どっちでやっていくのかというところもちょっとわかりづらいっていうのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:52	ご指摘の通りだとは思いますが、そここのところの目標者として、しっかりと書き分け、書き分けられるようにしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。
0:27:01	期待いたします。失礼いたします。
0:27:04	規制庁課ですよろしくお願いたします。あと、
0:27:08	森林火災や石油備蓄基地火災の評価方法なんかは全部、従来と同じという認識ですが、何か変わった点等ございます。
0:27:23	日本原燃の齋藤でございます。森林火災石油備蓄基地火災ともに、評価方法は、評価から変えておりません。
0:27:32	以上です。
0:27:34	はい、規制庁からしては、その辺はまた詳細に店頭で確認してる時に一緒に、
0:27:43	資料の中の参考 3 の位置付けっていう
0:27:48	ありましたが、24 ページ目、3.3 の、
0:27:52	通し 24 ページ。
0:27:55	丹野、東条広岡。
0:27:57	古藤のところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:58	3号、
0:27:59	位置付け、ことが出てくるんです。
0:28:02	やっぱり、
0:28:03	しっかり
0:28:05	わからないと、先ほどちょっと説明を受けた限り、
0:28:11	あれですよ。
0:28:14	評価の結果を補強するというか大丈夫っていうことの根拠を、
0:28:20	補強するような意味でやりましたっていうような位置付けだったと思う んですが、そ、もう少しそういうことをしっかり目。
0:28:30	浅井。
0:28:33	日本原燃の斉藤でございます。
0:28:36	しっかりと我々の主張が明確に伝わるように記載いたします。以上で す。
0:28:42	はい、規制庁お伺いし、その三方さんの32ページ目、51ページ目なん ですが、
0:28:51	不明でも、
0:28:59	をね、複写高熱成分を引いた12.5で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:02	12.5%とか、
0:29:04	予備
0:29:07	やっていたと、ということなんですが、
0:29:10	なぜ
0:29:12	おそらく違うと思うんですが、まずその認識は、合ってますでしょう。
0:29:19	日本原燃の方、やっぱり。
0:29:21	日本原燃のモリマツです。
0:29:23	12.5につき、
0:29:26	いましては、離隔距離凶暴。
0:29:30	の、常にさらにですね保守性を持たせるために 12.5、使用しております。
0:29:36	で、
0:29:37	衛藤。
0:29:39	つその大量しか考えられない場合は 12、
0:29:44	Dですねえと。
0:29:46	一方、細野。
0:29:48	自然の、その空気とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:50	全館。
0:29:52	谷井チーフそうか。
0:29:54	流れてくるようなところについては、
0:29:57	17 を使用しております、
0:30:01	外来が 04 の方です、ちょっとそこの方せ、説明補強しております。
0:30:06	こういった流れではちょっと考えておまして、文献調査の 17、ないと考えております。オオオカをやる場合の嘘のために、その中から、
0:30:18	ほぼネッツせるんですかね、を除いた 12.5 を使っている、そういう考え方だったと思います。すいません。ちょっと手元に資料がないものでちょっとまた確認して、ご説明させていただきます。
0:30:29	はい、規制庁からその前は方針で書かれてはいたと思うんですが、この設定は、
0:30:36	整合しているって書かれると、同じことをやって、
0:30:40	同じ値を使っているよ。いうふうに、
0:30:44	見えてきてしまって、悪い数字違うなというふうになったんですが、その差差分は、
0:30:50	ということなんでしょう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:52	日本原燃の齋藤でございます。ちょっと補足させていただきますと、ちょっと
0:30:58	外来科 04 の航空機墜落火災の、必要離隔距離の評価に用いている対流熱伝達率は、
0:31:07	こちらは 12.5 を使用しております。
0:31:11	この 12.5 を使用するにあたっての考え方を海外から 04 の、同じく 12.5 を設定する根拠を説明している。参考資料で、
0:31:24	実はご説明しております。そこには、12、12.5 ではなくて、中には 17 といった熱伝達率を考慮する場合についてもちょっと文章で触れております。
0:31:37	成長加速、そこは理解していて、なぜ、
0:31:41	考え方を整合しているって言うにもかかわらず、片や 17 で片や 12.5 なんですかという質問なんですが、例えば何で今回温熱成分を、
0:31:53	同じ考え方に基づいて差し引かずに、あと入れて、私、計算されたんでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:03	日本原燃の齋藤でございます。ちょっとご確認になってしまうかもしれませんが、我々の認識としては、まず外来が04の、1人が病院の3項においては、12.5の考え方を示し質問。
0:32:16	同時に17と12の考え方も示しております。
0:32:19	17につきましてはこちらの開放空間ですね奥歯のですね、開放空間において、風も考慮できるような条件においてはこの17を使えると。
0:32:29	いうことを文書にて記載しております。一方で、今回が19における、10タンクで屋外にありますので、同様に課税の考慮もできると。
0:32:39	いったことで17を使うのではないかと考えておりますが、いかがでしょうか。超過です。そういうことでしたら理解しました。
0:32:49	もうちょっとそこを、等の介護空間と書いているんですが、外部空間を、
0:32:56	考慮して、
0:32:59	外貨04との関係ですね。
0:33:03	そこで説明してることの概要とかをもう少し書いた上で、だからここでは17を使ってますみたいなことを少し説明いただければと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:14	日本原燃の齋藤でございます。おっしゃる通りですね説明が足りてなかったとっております。こちらもう少しですね、参考に
0:33:23	航空機の参考に預けるだけではなくて、そこにどういった考え方が示されているのかということも含めて、こちらで表現させていただきます。 以上です。
0:33:32	規制庁岡ですよろしくお願いします。圧倒、マーカーだと言うたら1点だけ26ページ目の、先ほどから話しているそのノルマルドデカン。
0:33:44	の各カ店。
0:33:45	なんですが、
0:33:47	これ本当にノルマルドデカン。
0:33:50	どうでしたかねもっと高いのデータが結構。
0:33:54	こちらで調べると多くて大体240度ぐらいのデータが多くてですね1点は、立川ちょうど210度ぐらいになってて、
0:34:04	ノルマルで菅とかは、発火点が210° だったりもするので、ちょっとその辺、しっかり事実関係を確認した上で、
0:34:14	正確に記載してください。よろしく
0:34:17	もし文献

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:21	しっかり書いていただければと思います。よろしくお願いします。
0:34:25	日本原燃の齋藤でございます。まずは、
0:34:30	どういった文献からなのかとかっていうことをしっかりと精査いたします。確認いたします。以上です。
0:34:36	はい、規制庁化です。私からは以上なんでその他規制庁の方から何かありますでしょうか。
0:34:45	規制庁仲です。
0:34:48	ちょっと全体的な確認なんですけど、
0:34:53	この資料自体の位置付けとしては詳細設計として、
0:34:59	この火災、及び爆発の影響についてまとめたものと。
0:35:06	いうところで、
0:35:08	ただ、許可時にも同じような、評価というかそういう概括な評価はやっていて、
0:35:17	これはだから詳細設計として改めてということなんだけどそうした場合に、
0:35:22	許可で示したような概括的な評価から若干、
0:35:27	変えてますというところを書いてるところというのは、参考の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:34	市なり、参考の3というのが若干こう変えてるんですと。
0:35:38	それ以外は特段する評価条件としては変えてないという、そういう理解でよろしいんですかね。
0:35:47	日本原燃の齋藤でございます。ご理解の通りです。以上です。わかりました。
0:35:54	だから、
0:35:57	一応外向けから見ればですねその許可も同じような評価っていう値と見て、
0:36:04	設工認も超え同じようにやってる値と見て、何となくこう違ってるというところはわかりやすいところがいくつかあって、強度とかですねそういうところを、いやそれは実は、
0:36:16	こういうこと変えてるんですっていうことで、参考になり参考3で、変わってるところだけを、
0:36:24	説明してると。
0:36:25	そそういう立て付けですかね。
0:36:31	日本原燃の齋藤でございます。
0:36:33	その通りでございます。以上です。わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:37	若干気になったばっか参考3だけ突然なんか実は表、現実に即して統一、参考には今日から実はこんなふうになってましてというふうに、
0:36:47	何となくちょっと言い方が少し、
0:36:50	若干異なるんですけど趣旨はわかりました。そういった点でですね道を、そういう許可絡み。
0:36:57	評価を下ってきて詳細設計で、
0:37:02	こういうふうに変えましたという立て付けがですね、ちょっと
0:37:06	わかりやすいようなですね、へ、言い方なり、そういうところをちょっと注意してですねちょっとまだ精査が足りないということであれば、
0:37:17	そういうことも意識してまた継続してですね、作成いただければと思います。以上です。
0:37:27	日本原燃の蝦名です。先ほどいただいたコメント等の詳細設計段階であるということも踏まえた2段階評価の必要性とかも、
0:37:37	ゆもう一度検討が必要とってますんでそういったのも踏まえて全体的に精査したいと思います。以上です。
0:37:56	規制庁清水です。他ガイカイ
0:38:00	緊急について規制庁は原燃側から確認ございますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:07	規制庁志水です。なければ本日のこの資料について原燃側から振り返りとして、本日のコメントに対する対応方針とスケジュールについて説明をお願いします。
0:38:22	日本原燃。
0:38:25	おっきなところでは、まずは、先ほども言いましたが、詳細設計の段階であるということ踏まえて、今書いてあるような二段階の評価というのが、必要性も、
0:38:38	十分に考慮して債権。
0:38:41	いうところと、あとはですね許容温度について、しっかり妥当性をですねしっかりと補強するということと、あとは、
0:38:51	参考3ですね、参考3として示しているその詳細評価のところを、先ほどの評価の全体的な流れっていうことも、
0:39:03	関係するんですがそういったところを今一度明確にするというところ。
0:39:08	と、あとは細かい話でフローをちょっと直すだとか、あとはちょっと対流熱伝達のところで、頭が以下04。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:19	<p>の説明との関係というのを、それは説明の充実と、政策資料精査ということになるかと思えますけども、そういったことになっております。</p> <p>あとは、全体的に資料の精査をし、</p>
0:39:31	<p>ということかと考えてございます。以上です。すみません、スケジュールなんですけども、1週間ぐらいをめぐりに出したいというふうに考えてございます。以上です。</p>
0:39:42	<p>規制庁シミズですと承知しました。それで次の資料に移って内部火災の007より00-01についてですかね、原燃側から説明をお願いします。</p>
0:40:00	<p>はい。日本原燃の千田でございます。</p>
0:40:03	<p>それでは、中谷です。00説明される、ちょっと1点なんですけど。</p>
0:40:10	<p>京都が思うに別紙1と4と6について話聞こうと思ってるのでそのタイミングタイミングで1回切ってもらってもいいですかね。説明で別紙1まで説明してもらって、各僕聞いてあるとか瀬川から聞いて、別紙4やって別紙6っていうぐらいかなと思ってるんですけどそういうのは問題ないですかね。</p>
0:40:28	<p>はい。日本原燃の千田でございます。はい。それでは別紙1と4と6それぞれで切らせて説明させていただきます。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:37	お願いします。
0:40:39	はい。では、令和4年の1月21日に提出させていただいた、とか5000一位をもとに説明をさせていただきます。
0:40:50	こちらですね前回12月24日の加茂000人。
0:40:57	のヒアリングにおいてですね別紙1名ご出席をいただいておりますので、それを踏まえてですね、記載の考え方としてまず0江藤別紙1について2件ほど説明させていただきます。
0:41:12	まず1点目はですね、一生に庄野かき分けについてです。
0:41:17	先ほど申し上げた12月24日ですねヒアリングにおいて一緒に章の書き分けのところに対して、2章に記載を行ったですね影響軽減の内容というのは。
0:41:30	対策に関わる方針を記載するように読めるので再度精査するようにというようご指摘をいただいておりますので、改めて考え方と整備結果についてご説明させていただきます。
0:41:42	まず、オオガキの考え方ですけども、1章は共通項目ですので防護対象の選定や、火災区域の設定等ですね本される側に関わるものであったり

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:52	発生防止のような火災への対応に関わるような、共通的な設計方針について一緒に記載しております。その上でこれらですね、共通設計方針を受けたですね設備の主張に関わるようなものを2章に記載するという大きな考え方に基づいて、
0:42:10	再度書き分けを行っております。で、具体的にはですね前回後、ご指摘いただいた影響軽減でございますが、系統分離に対する対策方針。
0:42:21	ウノ記載であるということですので、一緒に記載することとして通すページの59ページ以降ですね。
0:42:28	こちらの方にまずまとめて記載をしております。
0:42:32	その中で、影響軽減設備として、耐火壁側高感度煙感知器についてはこれは資料を示す必要があるということで、2章側ですね、116ページから、そちらの記載を、
0:42:47	行っております。
0:42:50	えっとですねここで影響軽減設備には影響軽減対策と3の感知消火もございましてこちらについてはすでに省側に記載しておりますので、重複を避ける意味で記載を除いております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:04	またですね前回のコメントに対してはここまでなんですけども感知消火設備 B でございますがこちらについては許可整合であったり火災防護。
0:43:16	審査基準への適合を示す上でもですね、まとめて記載した方が関連性がわかりやすいと考えておりますので、こちらはまとめて 2 章の方に記載しております。
0:43:27	そうした場合にですね少し悩ましいところで
0:43:31	消火設備の記載の中で通すページの 101 ページですね。
0:43:37	101 ページ、失礼しました。等すべての 106 ページですね、の一番下のところに、
0:43:46	使用済み燃料貯蔵設備といったプールがですね消化しても臨界にならんようにというような記載があって、こっちはどちらかといえば磯側にと というような、共通側の度合いも強いんですけども。
0:44:02	これは先ほど申し上げたような考えでまとめて新居町側に記載させていただいております。
0:44:08	まず、この前回のご出席に関する対応としては以上となります。ちょっと合わせてですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:17	別紙 1 を見る上でこちらとしてどのようにあと書き分けを考えているか というところで大きくあるのが、前々回ではございますが D B と S A の 書き分けを行っておりますので、
0:44:31	こちらについては共通の資料の中で、書き分けの考え方というのをご説 明しておいてそれぞれ個別に設計方針が異なるものは書き分けること で、
0:44:44	同一の、共通設計であるようなものっていうのは及びですね、というよ うな書き方で大きくは変えております。
0:44:53	具体的にはですね 6 ページのデービーの基本方針が、
0:45:00	入ってございまして、
0:45:02	で、それに対応するような形で 15 ページからですね、上の基本事項を それぞれ記載しております。
0:45:11	で、これらはそれぞれ個別にの設計方針になるので、特別に記載してま す。で、一方で、84 ページからですね。
0:45:22	感知消火が始まるんですが、これはそれぞれですね D S A で基本的に透 析方針に変わりませんので及び別の形で、事前には書いております。ただ し投与する。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:37	電源のところなんかはこれはこういうのが、江藤設計方針が変わってきますので、ここだけは書き分けるというような形で書いております。 で、
0:45:46	一部ですね、補足が必要になってくるのが、発生防止に関わる記載でございますが、発生防止のうちですね、19 ページぐらいからですね、
0:46:00	対象に特有火災であったり、そのあとダーツとってですね、25 ページ以降に一般河川課再現自体に関わるものってというのはこれは
0:46:12	整備設備が S S 地区機械が主語となるわけではないのでこういった手法は記載せずに、基本設計方針の方を書いてございます。
0:46:23	はい。ですのではい。大きな記載に関する考え方は以上となってその上でこちらの方を作成させていただいております。
0:46:34	ちょっと説明が長くなって恐縮なんですけども、のですね考え方の方と作成をしておるんですけどもちょっと 1 点だけ見直しの過程でですね、修正というか。
0:46:47	させていただきたいところがあって、16 ページ目になるんですけども、すいません。2 点ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:54	再処理は2点になります。16ページ目なんですけども16ページの最下欄のところで、S Aは区域を設定してそこに3方策やりますよって書いてるんですけども。
0:47:09	こちらの11ページの方はですねデービーの方で、それにチームがあるところが、上から4段落目にあるんですけどこちらには
0:47:20	西郷審査基準に基づいて3方策やりますと前回ってちょっとS Aの方がそれをですね重複を避ける意味で、記載してないんですけどもただ並べてみたときに
0:47:32	意味合いが異なってくるように見えますのでちょっとこちらについては追加させていただこうと考えております。
0:47:39	あとすみません、最後に修正をした時にですね、申し訳ないんですけども、丹設備のところですね、
0:47:50	84ページですね、これ大変申し訳ないんですが、
0:47:56	84ページの上から3、3目のところで、防爆型のアナログ式の防爆型熱感知器とちょっとすみませんこの防爆型をという青字がですね下に入るものが、変なところに入ってしまったっておりますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:13	<p>ちょっとこちらは単純なミスとなりますが修正をさせていただきたいと思います。</p>
0:48:19	<p>個別率については以上になります。</p>
0:48:23	<p>規制庁の田尻です。細かな中で日本はミスとか、多々あったりするんでそういうのはもう取材してくださいね今回は指摘しないので、そこは精査してくださいねという前提のもと、</p>
0:48:34	<p>大卒のところでも今説明されたところも含めて確認させていただければと思うんですが、まずディー・エヌ・エーの話なんですけど、まず構成としては、右下6ページから</p>
0:48:44	<p>基本設計方針と書かれてる形になるんですけど、まず5ポツ1ポツ1で安全機能を有する施設でこういうもんですよこういう設計方針にしますよっていうので、火災審査基準に則りながら発生防止感知消火影響軽減ありますよとかそういうのが書かれていますと、</p>
0:48:59	<p>15ページのところが5ポツ1ポツ2で重大事故と対象施設で、2多様なことが書かれた上で、重大事故等対応していたと影響軽減がないから発生防止感知消火の話が書かれてますよという大きな方針がうたわれますよと。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:12	<p>ここまでは小分けをしたような形でうたった上でそこから多分、合わせるところはもう死亡書かずに両方にかかる言葉ですよとかっていうんで書かれてるんだと思うんですけど、</p>
0:49:22	<p>こっちが理解してるのは今言った5ポツ1ポツ1と5ポツ1ポツ2D間に多様な設計方針が謳われる形になってて両方火災審査基準等に則りながらやっていきますよという大きな方針が示されて、</p>
0:49:32	<p>同じような対策をやっていくんですという宣言がなされた上で、その宣言をしたことに基づきそのあと出てくる発生防止であるとか感知消火とかいった影響軽減になると思う。DBしかないっていうのはわかるんですけども林本DBになるんだと思うんですけど。</p>
0:49:45	<p>初回に関しては、当然両方にかかるような形で書いてるので、DBはこれ以西はこれっていうのは今日書かないですよ。ただ、SAに関して言うと環境条件とかの関係で考慮するものが違うときがあるのでそういうときにどうしても個別に書かなきゃいけないものが出てきたときであるとか、</p>
0:50:01	<p>手法として個別の設備の名前を上げなきゃいけないときっていうのは、対象が明確になるようにそういったところも含めてかけますよということかなという理解をしたんですけどそんなイメージで合ってますかね。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:12	はい。日本原燃の千田でございます。そのご理解で結構です。例えば発生防止の自然現象に関するところであれば向上すべき事象が異なりますのでS Aの方は追加で書いておりますし、
0:50:26	デービー訂正書き分けた上で追加で書いておりますというような形でそのような書き分けになってございます。
0:50:36	規制庁、佐治です。割合こういう構成するのは笠井がどっかかなと思ってるんですけど他に多様な構成にするものってあるんですけど。
0:50:46	与儀西田でございます。基本岩尾火災特化です。従前は溢水モニターのご提案としてましたがS AとD B切り離しましたんで、
0:50:56	ありませんと思ってますあとは、
0:50:59	耐震の方が、李体制の書き分けをしていますがどちらかというと全体的に切り分けをして、それぞれ書いてるはずなので、河西とかかなと思ってました。以上です。
0:51:10	生協タジリ数なので許可等と、基準においてディー・ディー・エスへも同じような要求はそれぞれD BとS Aに別の条文で書かれてるような構成になってるけど要求が同じで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:21	どっかの時もそういう形で、確認をしてきてもらってるものに関して、 ちょっとどっかにあるけどこういう整理をしましたというのがまず、と りあえず大きな構成としては理解しとけばいいですかね。
0:51:34	はい。弓削西田でございますはい。今おっしゃっていただいたように情 報要求との関係も含めて、そういう整理をさせていただいたということ でございます。
0:51:42	規制庁田尻です。先ほどそちらの方から言っていたように、その 構成であればこっちには変えた方がとかっていうのは、所々正直あると 思っているんですけど、とりあえず大きな構成の話という意味でとりあ えずやろうとしてることは理解いたしましたで。
0:51:57	その上でもう1点なんですけど先ほど共通的なと一般的な話があったか と思うんですけど。
0:52:02	ここの部分に関してなんですけど、なぜ共通的なところに関しては先ほ どの、どういったものが対防護対象になりますよであるとかどういうふ うに守りますよっていうのを発生防止感知消火影響軽減法って、一般的 な方針がうたわれていて、
0:52:17	発生防止に関しては発生防止設備っていうものは別に特段してくような 話も特になってないので、基本的な共通部分にうたいますよと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:24	<p>ただ、火災報知機火災防護対策という火災防護主事ちょっと力入れまし たけど火災用の対策設備として、感知消火であるとか、区画構築物であ るとか営業経験設備の確認の壁とかそういったものに関しては個別の設 備としても存在する形になって、</p>
0:52:39	<p>かつ、ここが多分火災とかにまた特殊なところだと思うんですけど、許 可のときからなんですけど、必要な火災審査基準を生まれていって火災 の審査基準は基本的に仕様いっぱい形になっていて、</p>
0:52:50	<p>許可の時から本文で添付に赤く形になっていきますと、添付に書いてある ものも多々あたりはするんですけど、基本的には火災の審査基準要求 を満たすためにはそれも設計として担保しなければいけないもの戦いて きていて、</p>
0:53:03	<p>何で他の条文のところにおいては、添付に書いてあるものっていうのは 割と入るにしてるものが多かったんですけど多分火災に関してはそうい ったところも、割と多く基本設計方針に書く形になっていますと。</p>
0:53:14	<p>先ほど話したように火災審査基準どうしても使用要求を変えてしまっ るところがあるので、そういったものに関しては個別要求の1章か2段 落目かおっしゃいましたがそっちの方で書くような形で今書かれてると 思えばいいですかね。</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:29	はい。日本原燃の千田でございます。まずテンプレから、結構持ってきているというところをご認識の通りでございます。
0:53:40	本基本設計方針本文に書くこととしては許可本文で書いたことと後は、基準適合性を示す上で必要なものというところなんが基本となりますので、
0:53:53	そういう意味でいきますと許可本文はそんなに、葛西にも書いてはございませんが審査基準への適合性という意味では、添付の方に大抵多く書いてございますのでそれを持ってくる必要がございますので、
0:54:07	全部の方から多く持ってきているというところでございます。一緒に庄野書き分けについては先ほどおっしゃっていただいた通りで、それを踏まえて資料に関わるもの印象の方に、で、
0:54:19	発生防止についてはどちらかというとその下再現であったり、何ていうんでしょう、防護対象設備自体に、
0:54:28	関する対策になりますので1章の方に書いているという整理でございます。
0:54:34	規制庁田尻です。とりあえず大枠としてされようとしてることは理解いたしました。ただその上で、やっぱりどうしても一緒に庄野中家庭に落ち

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>るようなやつ先ほど委員会の話をされたりして、そういうふうに検討した上で落としましたっていうのは言ったりすると思うんですけど。</p>
0:54:48	<p>細かく見たときになぜこっちがっちゃうやつはどうしても出てくる可能性はあると思ってるんでそういったところに関しては大枠は理解した上で主査っていうのは、文言精査していく中で多分いろいろ出てくると思うので、そこの修正っちゃうのは絶えずされてるかもの金戸安里も新倉さん前田りされるものかなと理解しているので、</p>
0:55:05	<p>細かくここがこっちじゃっていうやつをこの時点では言おうとは思っていないので、そういった点の審査はよろしく願いいたします。</p>
0:55:14	<p>はい。日本原燃の千田でございます。ご指摘の趣旨、理解します確かに今は先ほど申し上げた通り適合を示す上で、まとめて書いてるようなところありますけども本当にどっちが良いかみたいなのところも議論ありがとうございますので、精査させていただきます。</p>
0:55:36	<p>規制庁谷内よろしく願いいたします。あと、等の説明がないとか他んところで言ってるような全体的な指摘はこいつ当てはまらず所々あるんですけど、130 ページ目全部言うつもりもないので精査くださいねと合わせて言うと、</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:49	あとすいません、統一的な話で1点確認してみたいんですけど、右下6ページで、凡例が書かれていて、
0:55:56	波線ちゅうやつがいると思うんですけど。
0:55:59	波線とかフェーンが、特に今回、添付をたくさん書こうとするところもあってなんですけど、無人の河川が結構入り乱れていて、波線は多分、ちょっとここに内容の変更部分って書いてあって理解がしづらい形になってるんですけど。
0:56:13	あくまで記載主旨同じだけの記載は変わりますよっていうのが波線で、ある程度下線のものに関してはそのまま持ってきますよという理解をしているんですけどそのあたりは合ってますかね。
0:56:28	はい。日本原燃の千田でございます江藤、今おっしゃっていただいた通りでございますへん。内容変更部分というといろんな意味にとらえられますけどもこちらは社章なんですけども記載の内容を、
0:56:42	記載の表現を変えているという、そういった性、同定員になっております。
0:56:49	規制庁丹治です。とりあえず反映の理解はしたんですけど、ここ1個1個いやしないんですけど、波線だけ、等価線になってるけどそのままいってなかった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:01	何か、どの記載っていう感じになってるやつとかいうので、そういったところに関しては
0:57:06	ある程度中身を固めた上でどっから持ってきましたっていうところを最後、を計上していく時に綺麗にされるということをかなと思いますので、そういった点に関しても資料として綺麗なものを残すという意味ではしっかり精査いただければと。
0:57:19	ます。
0:57:21	はい、与儀西田でございます。今おっしゃっていただいた通り、ちょっとまだできて、直さなきゃいけないところありますので、そこは精査をさせていただきます現状でもMOX再処理で
0:57:32	河成の日を聞き方が違ったりですね同じ文章でっていうのもあるので、そこは精査をさせていただきたいと思います。
0:57:41	規制庁滝ですよろしくお願いいたします。別紙1に関して大枠に関して自分からは以上ですが規制庁方他に何かありますか。
0:57:53	なさそうなんです。すいません。はい。お願いします。連絡岡井細かくてすみません。規制庁のカワラサキです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:01	17 ページのところの、なお、えっとですね、許可の時はなお書きで可搬のことを、
0:58:11	僕、若干あったんです。
0:58:16	言われたんですけど、確認だけさせて。
0:58:19	なくなってるんです。都築清水です。カワラサキさんちょっと電波が悪いようで音声途切れがちなんですけど。
0:58:32	はい。すみません。今音声いかがでしょうか。
0:58:36	規制庁シミズなおります。直りましたとかよくなります
0:58:41	お願いします。
0:58:45	所の。
0:58:46	はい。17 ページのところの、なお書きのところでは許可の場合はですね過半のところを、火災防護計画に定めてと。
0:58:55	されていたところで、若干並び削られていて、位置付けが変わってないかだけ確認させてください。
0:59:07	はい。日本原燃の千田でございます位置付けとしては変わってございません。許可の方では可搬ではないものについては、区域を設定してこういった対策をとりますということをご説明さしあげて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:20	可搬についてはでの火災防護計画の中で管理するものですよというのを 書くためになおというのを書いてございます。で、ただこちらの基本設 計方針についてはここは運用に関わるような、火災防護計画に定めて、
0:59:36	感じしますよというのをここで一緒うたっておりますので、なおという ものはとってございます。
0:59:51	です。趣旨としては、S A側の不法の書類との整合が図られていれば結 構だと思imasるので、精査の段階で確認いただければと思imas。以上 です。
1:00:05	規制庁タジリです。関連してすいません1点気はする。
1:00:09	けど、今17ページ可搬の話が出てきて別紙4で聞いてもいいんですけど ど、別紙4にも可搬の話は多少出てきていて、ただ、基本的には火災防 護計画の話。
1:00:22	火災防護計画に関してはD BのS Aだとか外部火災なのか可搬衛星だろ うが意識コミデイ火災防護計画として完成するものなので、可搬であっ ても火災防護計画に関してはこっちの方に書いているという理解を今し ているんですけど、そこは理解やってますかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:40	日本原燃津田でございますその理解で結構でございます。セッションの添付の方でも回答はございますがそれはあくまでも火災防護計画の中身を記載する中に書いているという姿勢でございます。
1:00:54	規制庁田尻です。理解しましたのでガーンのもの自体に関する話っちゃうのは環境条件の方の上部勧告条件の方の条文というか、説明の方重大事故と対象施設のところの環境条件ところで説明しつつ、たら、
1:01:08	運用の話で火災防護計画っていうところに関してはここで生かして説明されたというのは理解いたしました。
1:01:18	関渡です。規制庁側から他に別紙1 関連で何かありますか。うん。
1:01:24	規制庁カミデです。コメントだけなんですけど先ほどのやりとりでS AとD Bの書き分けが、火災は特有ですっていうことではあったんですけどやっぱり耐震は近いようなところがあるので、
1:01:42	実態として、S AとD Bの差分はどこにどうあるのかっていうのでかなりか、出来栄えは変わると思うんですけど、考え方は一緒のはずですから、浅井の担当も、
1:01:56	耐震の方見たり耐震能人も火災を基にしたりっていうことでその辺りの連携はしっかりやっていただくようにお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:05	以上です。
1:02:08	はい。日本原燃の千田でございます耐震側との連携を図り、はい。共通的にですね、助成できるようなところは、対応させていただきたいと思 います。
1:02:25	規制庁田尻です。規制庁側から他にないようであれば原燃から、別紙 23 も何かあればですけど別紙 4 までの説明をお願いいたします。
1:02:35	はい。日本原燃の千田でございます別所委員さんについては別紙 1 を受 けて先基本設計方針が書き分けられたところに伴う変更を行っておりま すが全体的にですね対象設備に変更があったりとか、
1:02:49	追加となる説明が別紙 3 であるとかそういうわけではございませんので 説明は割愛させていただきます。
1:02:56	次別紙 4 でございます。列車についてはですね
1:03:05	ここで変えさせていただいたのはですね 222 ページからになりますが、 前々回の肥田がちょっとすいません記憶が曖昧なんですけども。
1:03:20	変更なしとなるですね最初に特有火災に関する対応の記載について、こ の 222 ページから、対象となるですね既設工認のですね申請情報を付加 する形で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:35	記載の方を追加させていただいております。それ以外はですね年末に電力の方にレビューをいただいておりますしてその結果をですね反映する形で精度の向上を図っております。で、
1:03:47	ちょっとこの別紙 4、あまり具体的に、考え方作成の考え方をご説明したことがなかったんですけどもこれは全体ですね設計方針に関わる部分として基本設計方針土地をなす形で、
1:04:03	207 ページから 220 ページのところまでですね、1 項から 3 項までをですね記載させていただいて、それ以降 221 事項からですね、個別のですね、発生防止対策からの記載が入ってきますけれども。
1:04:20	こちらについては、今回の対象設備に関わる設計内容に、
1:04:25	を記載をさせていただいております。
1:04:28	で、今回対象外となるような箇所については、記載のルールみたいなところになりますが 298 ページのようなところですね今回
1:04:40	可燃性ガスの話はございません。内包する設備の申請ではございませんのでこういったところは本文のところに、次回以降ということを書いて備考の方に、次回で比較結果を示すような形でということで、
1:04:56	書き分けを行っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:00	はい。ちょっとすいません一部ですね 222 ページのところに、備考にですね次回以降でしか結果を示すというような機会がないとかそういう。
1:05:10	次がちょっと見受けられましたのでちょっとそちらについては対象をもう一度精査して、修正させていただきます。
1:05:17	特別賞については以上になります。
1:05:21	規制庁田尻ですと、別紙 4 に関してはどちらが良いと記載のルールみたいなところを中心に幾ら確認させていただければと思うんですけど。
1:05:30	まずなんですけど話で 220223 のところ肋骨 1 から特養火災の話が書かれていて、特養火災の話は別にここに基準が変わったわけじゃないので切り換えの通りですよっていうのを連続して書くような形になってると思うんですけど。
1:05:44	基本的にはこの金貨の通りっていうやつも、
1:05:48	このどの項目レベルまで書くかっちゃうだけなんですけど、極端にここも 4 ポツ 1 の頭のところで、設工認申請書の後に、何月にかなんねん認可なんて民間で全部変えちゃえばそれはそれで終わるような気もするんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:01	今日、この（1）レベルというか、どのレベルまでこういうふうに変えていこうとされてんのかなというところろうの考えだけ聞いてみていいですか。
1:06:13	はい、与儀西田でございますこれルール。
1:06:15	統一されてるかどうかというのはいけません。
1:06:19	はい。
1:06:21	すいません、日本原電社でございますやりながら、ルールを作ってるここありますけど。
1:06:27	おっしゃっていただいた通り、
1:06:30	上がオーソドックスかってあるけど、外部衝撃でいくと、4.1 で頭で書いて終わりです。
1:06:36	それが多分それぞれの項目であまり項目を細かく書いてそれぞれ羅列するというのか、頭の方で書いて終わるんであれば頭の方で書いて終わるというようなどちらがいいかをちょっともうちょっと精査をさせていただきます。
1:06:51	非常にくどい感じになってるので、そこの精査をさせていただきたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:57	規制庁館です。前は、基本設計方針のところ、設計方針変えてませんって言った時点で設計は変わってないはずなんです。本文事項が変わってないから。
1:07:07	あくまでその研究という形なんで、そこまで書き方ルールにこだわるつもりもここに関してはないんじゃないんですけど。
1:07:15	若干倉内涌井のそのあたり、特に今おっしゃられたように、この間まで見てた外部事象とまた書き方がちょっと違ったりするなというところがあったりするので、そういったところとも含めて検討を進めていただければと思います。
1:07:32	はい。日本原燃の千田でございます。承知しました。
1:07:36	規制庁田尻です。
1:07:38	もう1点、これもルールに近い話なんですけど。
1:07:41	あと次回に示しますよっていうやつなんですけど。
1:07:45	基本的にこれは今回の第1回申請の説明書という形になってるので、その設備に関わる例えば壁とか、そういう対策名を書くとしたら、関わるものだけを書くというのがまず基本でいいですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:00	はい。日本原燃の千田でございます。そのご理解で、ご理解の通りでございます。
1:08:07	規制庁館です。なので、例えば
1:08:11	226 じゃなくてもいいんですけどこういった対策しますよっていうやつもう
1:08:16	第 1 回でやらなければ書いてないし、という形なので、別にロガー書いてるレベルのやつまで書かないよって言うてるんじゃないかと当然どのレベルまでそれがあるんだったら書こうとはしているけど、
1:08:27	今回の対象設備を考えた時に必要なものに絞ってかけますよという考え方でいいですかね。
1:08:35	はい。今おっしゃっていただいた通りのご理解で、衛藤の通りです言っていた 226 ページであれば空調機器による機械換気と角の方では書いてますが、
1:08:51	今回はあくまでも屋外にある冷却塔でございますので、そういったものが該当しないので今回、記載を除いているという整理になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:02	規制庁谷です。その間もただ確認なんですけど前回、角金井石川なんかの条文か忘れたんですけど添付に関しては何か、概略の方針も書きませんみたいなやつがたまにいたりしたんですけど。
1:09:15	葛西に関しては書いていただいているかなと思ってるんですけど個別の話のところさすがに書かないでそこは飛ばすんですけど、その前段の共通的な設計方針に関わるような記載に関しては添付レベルでも同じように書きますよというのが基本でよろしかったですかね。
1:09:31	はい。日本下。
1:09:36	規制庁田尻です。ちょっと音が飛びとらえたんですけど、年々聞こえますか。
1:09:45	してます。
1:09:47	日本原燃の千田でございます。すみません、少々お待ちください。
1:09:53	あっちですかね。
1:09:58	すいません日本原燃の千田でございます先ほどご指摘いただいた事項でございますが基本設計方針に対応する全体の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:09	設計方針というのは、我々の火災のところで行きますと、一番最初の方 の 208 の 2 項から 3 項のところまでが全体の基本設計方針になりますの で、
1:10:25	こちらについては全体について書かせていただいております。その上 で、4 項以降が個別の設計方針になりますのでこちらはあくまでも申請 対象のものに限って書かせていただいているという整理です。
1:10:40	規制庁タジリすりかえましたここが先ほど聞いてたりと若干絡むんで すけどだから共通的な方針に係るものに関しては今回申請対象にイメー ジ見づらかったとしても、関連するものとして 1 通り書くの D だから今 回対象設備なりグローブボックスとかっていう名前も当然出てきたりは するけれど、
1:10:55	あくまで共通的な方針としてうたってるんですけど、ただ個別設備のとこ ろは省いてますよというので理解いたしました。
1:11:01	別紙 4 について自分からは以上なんですけど規制庁側から他に何かございま すか。
1:11:10	すいません。規制庁、加来です。
1:11:13	参考までが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:16	基本設計方針相当で4行が個別ですっていうのは、
1:11:23	どういう構想になってるのかって注意してもらっていいです。
1:11:31	一番最初の方はですねすみません。木谷聞こえすみません。どうぞ。
1:11:40	規制庁コサクです。3ポツまでが一三本基本事項と言ってますけど、基本設計方針に対応するところが違うというところと、4項はそうじゃないんだって言うてるのがいまいちよくわかんなかったのもう一度内容を説明してください。
1:12:01	あつて、日本原燃の千田でございます。
1:12:05	サイトウのところですね、日本介護の基本事業というところで、統合対象の選定であったりあとはそれ以降の
1:12:19	発生防止調査表現に関する衛藤全体の考え方が大丈夫ですので、させてもらって、4行からそれぞれの発生防止班長から影響軽減の具体のものについて、
1:12:35	7、F0になっておって、そこで今回丹でございます基本設計方針の詳細を説明するという事になっているという理解でございます。
1:12:47	コサクです。わかりました先ほど説明私が誤解していたということだと理解をしました。4ポツ以降においても基本設計方針の対応があると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:59	ということで、その対応してる場所は今回の申請、なんか、申請対象だと、設備具体的になくても申請対象だと思って。
1:13:09	書くことにしていると。それ以外の個別設備について書くべき。実用なり、今後書くというようなことについては、初回の申請でわからないってということですね。
1:13:23	日本経済の志田でございます。すみませんちょっと私の説明を話して統合して、ちょっと申し訳ございません。はい。そのご理解で結構でございます
1:13:33	はい。わかりました。
1:13:36	そういったところが、
1:13:38	認識がずれがないように、カキブリとしてもですね、伝わるようになってくればいいなと思いますので、引き続きよろしく申し上げます。以上です。
1:13:47	はい。日本原燃角田でございます。承知いたしました。どうもありがとうございます。
1:13:53	長タジリ通勤町側から他に何かありますか。
1:13:58	規制庁中ですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:00	ちょっと前から思ってると思うんですね。
1:14:04	結局目次が、ちょっと1点は、
1:14:08	わかりにくいところがあって、
1:14:10	全部の添付書類がですね同じような構成であればですね大体やってれば ずっと同じなんだろうということですけども。
1:14:18	多分、このやっぱり水とか、今回の火災とか何となくタイトルも違う し、構成も違うしで。
1:14:28	そのそれぞれの中でもまた多分、また小項目みたいなのがですね空 虚とり方が違うというところで、
1:14:37	特に今回の火災みたいですね、結構大量のものであると、結局、
1:14:44	どこで何を書くのかっていう、こういう話にどうしてもなってですね、 探すの面倒だということもあって、
1:14:52	何か目次とかをですね。
1:14:55	前段で大きな項目としてこうだっというのが、
1:14:58	わかるとそういう議論をもう少しスムーズにするのかなと思いますんで ちょっとそこは検討していただければと思います。
1:15:07	麻生です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:09	私もレビューする時にですね、添付書類の目次作ってるんで、やっぱりそれを入れてもらおうと。
1:15:19	私からもお願いしようと思います。
1:15:23	はい。すみません。石原でございます。
1:15:27	目次を入れるというのもありますし以前田尻さんから外部衝撃のところでも、ご指摘伺ってる添付書類の構成とそれぞれの目的、どこに何を入れるのかっていうのを、
1:15:40	考え方の外部衝撃ですいませんなかなか手がついてなくて出せてないんですけど、作る時に合わせて、
1:15:46	今回第1回のテンプレも全部、そこにある程度パッケージにしてお出しをします。それを、多分その一瞬の頭に付ければ、全体構成もわかるし、目次もわかるのかなということもありますので、
1:16:00	至急前セットして、お話をできるようにしたいと思います。
1:16:06	はい、規制庁中橋よろしく申し上げます。
1:16:11	はい、規制庁側から他に何かございますか。
1:16:16	なさそうであれば別紙5 カラー真木を別紙6 がメインだと思うんですけど、説明をお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:24	はい。日本原燃の千田でございます。別紙C5については先ほどの別紙2款、同様でございます。今回の書き分けに伴って増えるようなものを、変更になるような部分というのはございませんので、
1:16:40	説明の方を割愛させていただいて別紙6の方に移らせていただきます。で、別紙の苦悩内容でございますがちょっと別室後からずっと戻らせていただくんですが今回修正した範囲。
1:16:55	今回提出範囲については、まず、変更点はございませんのでこちらについては割愛をさせていただきます。で、
1:17:05	6本でございますが、6-2についてはもう前になるんですけど10月5日のですねこの再処理側のヒアリングにおいて、変更前の書き方ですね。
1:17:18	今回について最初には既設工認で複数回にわたる数接液があつてまた発電炉での対応設置っていうのもあるので変更前ってどういうふうにしてあるんですかっていうようなところをですね、ご質問いただいてワンプーパーでつけて、
1:17:34	くださいというような、ご出席をいただいておりますので、406ページにですね、参考ということで考え方を書かせていただいております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:45	簡単に言えば変更ないというのは全体売りの通りですね、設工認で申請しているものであったり設計対応のものっていうのを書きますよというところで、
1:17:58	またですね、それを優先って書いているので、またもともとその安全審査指針の中で一般火災は発電所の火災防護審査指針両参考に、
1:18:09	するようにという、要求もございますのでその変更前の記載というのはその先行電力さん。
1:18:16	辻川先行電力さんの記載というのを、複数社さん、確認させていただいて、それに基づいてさ、作成をさせていただいております。
1:18:26	で、このですね、
1:18:30	次のページに、途中のページ以降ですね、この設工認申請からですね、どこへ現地に持ってきたんですかっていうのを書かせていただいておりますんで。
1:18:44	左のですね列がですね、変更前の記載内容として、それぞれ申請回数がある中で、河西の申請がある中でどこを持ってきましたっていうのを、
1:18:58	二つの部分が、それに対応するものとなりますのでちょっとこちらの方にマップをつけさせていただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:06	作成の基本的な考え方は以上でございます。
1:19:15	そうですね。あと、変更今の記載のですね内容についてなんですけども
1:19:23	ないなんですけども、変更前の範囲については1月19の閉じ込めのヒアリングの中で、従来設計から設計変更ないものっていうのは第1回の対象外であっても、変更前に記載するということで、
1:19:39	今回、記載をさせていただいております。で、その際にですね
1:19:46	コースページで392ページなんか分かりやすい例なんですけども。
1:19:56	こういったところで392ページの一番下の方に、例えば各行7で、フィルタは難燃性のものを使いますっていうのを(2)からやって書いてあったりですねあとその上の方で34で、鋼材や内蔵剤の話。
1:20:16	そうですね変更前に書いておるんですけども、ちょっと今回ですねすいませんちょっと変更前に柿木大谷出身をしておいてですし、してしまいちょっと。
1:20:26	変更後の方は今回衛藤久貝の冷却塔なのでこれが変更、ところにですね本来であれば、従来設計から変更ない。
1:20:37	今回対象外ですのでそちらの記載を混乱すべきであったんですけども、ちょっとここは抜けておってですね何か

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:46	打ち消すようなように、一遍見えてしまうので、申し訳ございませんこちらについてはですね、
1:20:54	適切な対応をとらせていただきたいと思います。で、この変更後の方でございですが、先ほどヒアリング等でですね変更後の第1件の申請範囲。
1:21:08	ところをですね少し範囲というのを考える。
1:21:13	ように小関もいただいておりますので、こちらについては
1:21:18	変更法に書く内容については少しですね考え方を、
1:21:30	はい。
1:21:31	第1回の変更と実際については範囲をですね少し見直しをさせていただきたいと思います。衛藤。まず一旦ご説明は以上
1:21:42	規制庁の加治です。ざっくりちょっと自分の理解を確認していきたいんですけど、まず379以降で別紙6-1に関して特に説明はなかったんですけどちょっと理解の確認という意味でなんですけど。
1:21:53	基本的に全体があって第1回申請が書かれてる形になっていてで、課題に関しては、ちゃんとSAを除くものはもう書きますよっていうぐらいの方針かなというふうに理解していて、で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:04	若干特集なのが手法でD B及びS A って書いてあるときも、その及びS A っていう部分を除いて、基本設計方針をかけますよとかっていう整理かなと今理解はしてるんですけどそのあたりの理解は合ってますか。
1:22:19	はい。日本原燃の津田でございます。はい。ご指摘の通りではございませんが
1:22:29	そうですねと第1回の範囲としてはS Aに関わる記載を除いて、
1:22:34	堀江とまた通すT B S映画及びで繋がってる場合はS D側を切っております。ただ、ちょっと1点だけです。異なっているのが、第1章であっても、例えば374ページ。
1:22:51	以降なんですけど、発火性物質II。
1:22:56	すいません、ガス系の話ですね、ガス系の可燃性物質については今回取り扱えないということで、こちらを今の段階では外させていただいておるんですが。
1:23:07	伊達こちらについては一生というところで共通設計方針でございますので、こちらについては、藤市長は基本的には丸々入れて、S Aに係る記載についてのみ、外させていただくようなことで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:23	ちょっと対応させていただきたいと思います。すみませんちょっと数余計なことも言ったんですけども以上になります。
1:23:29	規制庁館です。最後に止められる時間は遠くないかなと思っていて、保管と高度なんですけど、何か無駄に悩んでいいところまで削るぐらいだったら本当の方針みたいなやつは1書けばいいんじゃないかっていうところが出てたと思っていてで、
1:23:44	最初に関して言うとS A設備に関しては今回申請対象でもないバスができますよというの理解ができて、もう1個あり得るとしたら小項目が立って小項目の主語が本当の固有の設備の話になっていて、中に書いてあるも全部こういう設備だったらその小項目ごと落とすとかも理解はできるんですけど。
1:24:01	今おっしゃられたように、さっきのこの下に書いてあるいう、適切な量とかってというのはこれが最終的にのっとりながらやる基本方針設計方針の一つみたいな形に多分なってるはずなので、
1:24:11	誰この部分はとかっていうふうになるぐらいであれば各も変えたらいいんじゃないかなという気がするので、今、口頭の話だと理解をされてるような気もしたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:21	やや思いのグラフはとりあえず入れてみても別に岡基本設計方針が多すぎるって話って、本来的にはあんまない話なので、そこを何かここは書かなくていいんじゃないかっていうふうにはいちいち検討すれば時間がかかり過ぎてる気もするので、その考え方で
1:24:36	他の部分も含めてですけど検討いただければと思います。
1:24:42	はい、与儀西田でございます。共通的な方針も今そういう形で整理をさせていただきますってしますので、一緒にやらせていただいたボックスの方も、基本の考え方は一緒です。第1章は、
1:24:55	今回対象に、ほとんど全部入れると、まず一旦入れた上で若干消去法を使う場合がありますけど、インターロックとか個別の使用に係るものについては当該設備が手法の、
1:25:06	なっているものについては、当該設備申請開示でというような整理で、まずは一旦全部、第1回の範囲のボックスに入れるということを基本に、まずやっていくということで考えてございます。以上です。
1:25:17	規制庁タジリすよろしく御。
1:25:20	あ、規制庁コサクです。それで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:24	対応している時にちょっと先ほど確認しようと思ったポイント点なんですけど、施設特有の火災及び爆発の発生防止って言うところが、
1:25:38	ほぼ書いてるのは個別の設備のことなんですわね。
1:25:42	それで添付書類の話だと、次回以降ですってき以下ですって、北栄てくっていう形になってたんですけど。
1:25:52	次回以降ですと言っても、方針としては、初回であり、変更前でやりと。
1:25:59	いうことになっているので、更新範囲はやっぱり添付書類にも書かないと整合しないんじゃないのかなと。
1:26:06	思ったんですけど。
1:26:09	その辺りはどう整理されてますか。
1:26:17	はい。日本ギリシャでございます。共通で、それぞれにお話をしているのは、おっしゃっていただいた基本設計方針、先ほどのやりとりありました共通部分にかかる部分っていうのは全体がパッケージで、
1:26:33	方針でもあるので、個別設備に本当に具体にかかるもの以外は、今回、全部素材ですと、おっしゃっていただいて特に火災の施設特有の火災とかの発生防止、これ個々の設備に対する設計を変えています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:48	基本設計方針で書いたものを、ある程度方針としては、CAPE 奨励金を受けるところはまず一旦受けるような形にはしてるんですけども、個別の内容になった時にですねやはりそこを仕分けをして、その設備がフェーズ2 というような展開で整理をさせていただきます。
1:27:07	ちょっともうちょっとですね、個別の具体論も含めて整理をして、こういう考えですけどお示しできるようにはしたいと思います現状まだ、そのレベルでしかないんです。はい。
1:27:21	はい。規制庁コサクです。
1:27:25	原則っていうところで言うと、基本設計方針で変えたことぐらいは書いて、詳細は次、新生会でっていうことかなと思います。
1:27:36	基本設計方針で書いてるのに添付の方が薄いついていうのはこれまで幾つかありましたけど。
1:27:41	それだけやっぱり困ることが多いので、原則でやりつつ、
1:27:47	詳細はっていうことの記載の体系を作ってもらった方が、話が簡単かなというふうに思います。検討ください。よろしくお願いします。
1:27:58	はい。弓削記者でございます。承知いたしました。至急展開できるように、かつお見せできるように整理したいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:07	はい。規制庁田尻です。もう1点だけ自分から別紙6の2シリーズで388ページぐらいからの話が続いていく中でも、おっしゃっていたので、改めて細かくは言わないですけど。
1:28:21	絶対忘れないでいただきたいのは今回書かれたみたいに変更前に書いてるのに、変更後に何も書かないで、その前後の文章だけ書かれると、その設計方針を消したみたいな申請になってしまいかねないので、
1:28:33	変わってなかった変更なしで書きゃいいだけの話だと思いますので、そういう点に関しては10%されるということだったかと思うので細かくは言わないので審査をよろしくお願いします。
1:28:43	ちなみに今回後ろの方にしっかり日につけていただいてそれで従事させていただいたというのを理解しているのでそういったところはしっかりやられていただいたと思うんですけど、この統一的なルールのところを失敗すると、せっかくまとめたのになんかそれを逆効果みたいな形になるのもあまりよろしくはないかなと思うんでそのあたりも含めてよろしくお願いたします。
1:29:02	はい。日本原燃の津田でございます変更ほど、江藤さんにあった件本当に申し訳ございませんこちらについては1月26日社内ルール最初側。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:13	僕そうなんですかね、ちょっとこちらを改正してちゃんと変更後で説明がない場合はそこがちゃんとその旨つつということで、ルール改正されておりますので次回
1:29:26	適切なものをですね、精査したいと思います。
1:29:30	生協タジリずくだらない話ですみません葛西ってよりは、1月262、ルールができてその前までに出てきた資料は、
1:29:38	大丈夫ですか。
1:29:45	はい。与儀西田でございます。
1:29:51	可能な限り、事前のチェックキャッチアップしてるつもりではあるんですけどあやしいのでちょっと総ざらいでチェックをしようと思ってます。以上です。規制庁たベースアップ社有とかはこの時に言ったせいかそれになってたような思いもあるので
1:30:06	我々がされたのがたまたまそのタイミングで、その前からその観点で見ましたっていうだったらそれはそれで理解した上で資料は見ようと思うので絶えず状況は理解しましたので、今後ともよろしく願います。
1:30:18	あと、規制庁と、はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:20	規制庁コサクです。今の点は、今後、資料提示をする際、或いはヒアリングを始める際に、
1:30:30	共通で整理をするところをどこまで反映したものかと、というようなこと なりの進捗は説明をするようにお願いをします。
1:30:39	その点でもう、これ昨日でしたかとでしょうかね、お話したように、
1:30:49	許認可業務課だったり全体を見る人が、ちゃんとその視点でどういう状 況かっていうのを見て、担当と話をして認識を合わせると、
1:31:00	いうことをした上で対応いただければというふうに思います。よろしく お願いします。
1:31:06	はい。日本原燃浦野です。通りのご指摘受けとめております。改めてで すね、チェックとして今日いろいろ言われたこともありますので、
1:31:16	別特に別紙4の金城とです。少し聞いていただけないと思う。これちょ っとこれから出してしまってる資料ありますけども、出す前に少しチェ ックをして、
1:31:27	あとぶれないような形で出せるように数字調査さ、すいません。
1:31:34	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:35	はい。補足です。出して2週目決まってるものも、ヒアリングをしないというわけでもないので、ヒアリング前にですね、ちゃんとそこら辺の状況を確認をして、こちらに伝えた上でヒアリングをします。
1:31:48	いうように、対応いただければ結構です。
1:31:51	で、1点挙げてもらいます。資料承知しました。ヒアリングの前に、できない部分、
1:31:58	見えるようにということで、調整します。
1:32:01	はい。補足ですよろしくお願いします。内容なんですけど、この下坊00の、
1:32:08	変更が変更後全国に書き足りないっていうのは先ほどの話なんですけど、逆に変更後に書いてあって変更前には書いてない。要は新基準対応だと。
1:32:21	というような場所っていうのが、どういう考えのもとに抜いたところがいまいちよくわからなくてですね。
1:32:28	どういう判断のもとに変え、
1:32:31	新規だと思ったのかっていう考え方を説明してもらってもいいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:39	はい。日本原燃の打田でございます。すみません1口頭でということがなかなか難しいので、少し状況になりますが例えば388であれば、
1:32:52	変更後の第2パラグラフのところ、こちらは防護対象選定、火災区域を設定する上での防護対象の前提でございますので、衛藤変更がなかったものづくり。
1:33:06	でございます。下の方には火災区域を設定して、田子審査基準法って、もしますという考えであったり、
1:33:18	何て言うんでしょうねと最終溶接Bを選んで、継続しますというようなところなのでこちらの変更がないというようなところで、変更範囲ではないというようなところでございます。
1:33:32	で、わかりやすく、下関係でちょっとすみません、ご説明をさせていただきますと、397ページ目以降になって、
1:33:42	藤様ですが、等ですね、消火設備のところでございますが消火困難箇所は、
1:33:53	私消火設備をいただきまして、というところで、それとあと消火剤のスペックですね、そういったところが記載されてございますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:03	火災防護審査基準が新しく制定されて、その中で要求されている事項と いうので、変更がこうやっていないものというところは、
1:34:14	変更前の方には記載しているという、そういう整理でございます。
1:34:19	判断でございますが以上でございます。
1:34:23	規制庁小阪です。過去やってなくて追加してるのはそれは見ればだんだ んとわかるんですけど。
1:34:31	やってるんじゃないのって思うようなものが結構、結構高のみに書かれ てるような気がしてはいますね。
1:34:42	は、
1:34:44	今日
1:34:46	一番方は、100 から 388 の最初の部分ですけど、
1:34:52	防護対象設備として具体的に抽出したっていうのは今回やったことす って言われるのは理解はできます。
1:35:00	ただ、その前、
1:35:04	変更後しか書いてない最初の段落ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:07	これ閉じ込めにかかる安全機能について火災防護対策を講じるっていうのは、これは当然やっているような気がするんですけど、ここまで変更にしたのは何ですか。
1:35:23	はい。日本原燃の須田でございますご指摘の通り、もともとトチコウHを守るということで脇米が特化して書かれておったので、確かにこれはおっしゃる通りなのかなあとと思います。
1:35:37	今回ですねここを対象を選ぶ上で、対象機能を明確にして書いたというところで辞職単に見たというのが藤。
1:35:48	はい。
1:35:49	はい。
1:35:51	伴清弓削理事でございます。そういう意味でですね、まだちょっと精査をしないといけない部分があると思いますちょっと私が見ていただく 391 ページの、を契機に破碎処理施設の火災爆発防止の活発化発生防止、
1:36:07	また漁業とかもやっていきますしますと、火災区画とか火災区域ってその次の文章のワードに大分捉われて、引きずられて、
1:36:19	変更後に書いてあるようなものがあった多い気がします。
1:36:24	もともとの設計でどこで考えてましたよね、最初井戸ください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:28	とかは、基本的にはもともと聞いたところありませんと言っているが ら、僕は項がたくさん出てくるのはおかしい話ではあるんで、ちょっと その辺、もう一度ちょっと中で精査をさせていただきたいと思います。
1:36:40	はい。規制庁小阪です。おそらくそういうことなんだろうなあと考えた ので、こう分けた理由を聞いたっていうところですよ。私も同じ認識でい て、
1:36:52	もし、しかも火災区域とかっていう言葉は現状の変更前にも書いてある 部分があったので、
1:37:01	ある程度前に書くっていうのは統一してもできるんじゃないのかなと思 います。で、どうしてもこの言葉だけが引っかかってっていうんであれ ばその言葉だけ抜いて、前に書いて追記を。
1:37:13	変更後ですと。
1:37:15	いうことも可能だと思いますので、従来やってなかったんだというふう に見えるようなのはやっぱりよくないなと思いますので精査お願いしま す。以上です。
1:37:28	はい。日本原燃の喜多でございます。はい、承知しました変更前の生産 相対させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:36	清長館です。前他のところでとか言ったことがあるんですけども、売った気がするんですけどかもしんないですけど、要は今回、原燃なんか工事いろいろしてたりすると思うんですけど、火災関連で何今工事しようとしてますって言ったら、要は設計変更が生じるものってある意味多分包括できると思うんですよ。
1:37:52	感知器の種類ふやしたり異なる種類がどうのこうのとか、影響軽減の確認の壁がとか、なんかそういう形とか、要は設計会社なんでしたっけっというところが結局変更前後で抽出されるようなものだとは思っている ので、
1:38:07	一般則みたいなやつは、確かに明言されたかどうかっていう疑問点は出てくるかもしれないんですけど、荒田やってるものをやったりすると思うんでそういったところ踏まえて精査いただければ少なくとも昔がど ういう設計方針だったかかっていうのをBS集めた上で、
1:38:20	やられてるふうには見ているので、そういった点も含めて精査いただければと思います。
1:38:28	遊佐でございます。承知しました。対応いたします。
1:38:32	規制庁田尻です。下坊-00 関連で規制庁側から他に何かございますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:40	なさそうであれば最後補足資料に行こうと思うんですけど、原燃から何か説明あったりしますか。
1:38:48	はい日本原燃イワダテでございます。
1:38:51	00の02のボックスの資料の方なんですけれども、基本的には再処理のこじつけたコメントについてはMOXも基本的に廃止をして対応しよう と。
1:39:02	するんですけれども、ちょっと1点だけですね、0002の中でご説明を 差し上げたい部分が5あるんですけれども、今ご説明してもよろしいで しょうか。どうぞ。
1:39:13	はい。本件にイワダテでございます。そうしましたら最終藤堂実ですね 令和4年の1月21に提出させていただいた火砲0002につきまして、
1:39:24	1点だけですねご説明させていただきます。別紙1の部分で通しページ で言うとは40、45ページになるんですけれども。
1:39:34	共通お客共通事項の項目のところですね、床下の系統分離対策の ところの記載があるんですけれども。
1:39:45	ですね、45ページの中基本接客中のA棟Bポチのところに記載ございま す中央監視室床下の教訓対策と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:55	今ここに関してですね、許可の記載をそのまま持ってくる形で、床下に関して3時間の耐火なのか、分離、またはそれから6メートル離隔プラス感知消火、または1時間なり、何かプラスで管理しようかと。
1:40:12	いずれかでやりますよというのは許可の時に今日、設計方針固まり切れてなかったというところもあるので、若干または繋いで下記載をさせていただいておったんでそのまま許可整合という観点でまずは書いたんですけれども。
1:40:25	ちょっと提出後にですね、ちょっと今一度精査しまして、今設計上はですねある程度方向性が見えておりまして、ちょっとそれを踏まえてですね、今この場で書いたところを、1時間の隔壁プラス干潮かと。
1:40:39	いったところの方針としてちょっと明記をする方向でちょっと修正をしたいというふうに考えてございます。で、文章の中身につきましては、本日の最終の資料の方でも、1時間の各各クラス間超過という趣旨の、
1:40:53	ところで記載させていただいてるところがございまして、ちょっとそれに合わせる形ですね、それを踏まえながら修正をしたいというふうに考えてございます。すいません。説明は以上になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:03	成長たりです。今のお話っていうのは影響軽減対策としての大枠の方針として基本方針をうたってるところでは3時間耐火1時間耐火自動消火、6メートル離隔自動消火を三つ書いてるけど、
1:41:15	ここは中央監視室床浮田の影響軽減対策という形で特定の場所の話になっていて、個別に特定できる話になるので、一応あれ使わなくても、もう具体の対策として設計を訴えるのでそこに関してはその設計に合ったものが記載しようとしてますとかそういう話ですか。
1:41:32	はい。原燃イワダテでございます。一言で言うと綾野ちゃんタジリさんが今おっしゃっていただいたご認識の通りです。
1:41:38	規制庁という個別の話で具体化するものを具体化するっていう話かなとも終わりましたので一応状況は理解いたしました。
1:41:47	規制庁コサクです。念のためですけど。
1:41:52	限定をした場合、今後設計変更しようとしたら変更認可申請が必要になるということですけど。
1:41:59	現状その場で方針を変えてもおかしくはないところがあって、
1:42:06	そこをどこまで考えますかっていうところなんですけど、限定でいいですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:14	上限でカサモですけど。
1:42:16	衛藤。
1:42:18	この詳細設計の基本設計方針として、
1:42:22	この3方策っていうのを基準通り、どれか使えますよっていう記載だったので、
1:42:27	ちょっと、
1:42:28	僕は関星が固まって何かその通り書いた方がいいって私がコメントして、
1:42:34	直したところで、ちょっと変更認可になるっていうのは認識しておりますので、
1:42:38	ちょっともう固まった設計方針で書かせていただきたいと思います。
1:42:42	はい。規制直属です。そそういうジャッジをされているということであれば、構わないですね。
1:42:54	田尻です。江藤ビルに関連他になればあわせて補足、もう説明何かあればお願いします。
1:43:04	はい。二本木イワダテでございます。そうしましたら下部の個別の補足のほうですね、ご説明をさせていただきたいと思います。こちらにつき

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ましては令和3年の12月22日ですね、ご提出さして、提出させていただいておりました、
1:43:18	大きくは二つございます一つは全体的に表現についてルール等を踏まえて表現を適正化しましたというお話が1点でございます。もう1点はですね、通しページで、
1:43:30	この資料の通しページでいくと、211ページになりますけれども、補足説明を一つ出させていただきます。こちら昨年ですね10月5日のヒアリングにおいてですね、添付の説明書の方、ごめんなさい下方の00の別紙をですね。
1:43:48	こちらの方で、具体の点、基本方針からの展開ということで記載をさせていただいてる中で、
1:43:56	先ほどの章構成で言うと1から7の、基本方針とか完治発生防止課長会狂言対策と、あと8ポツの火災防護計画。
1:44:05	でありますけれどもこちらの関連というところで、1回申請の範囲をお示しできるところ、示せるところあるんじゃないかというところで、1回に申請に変えたところになりますけれども、再処理MOXでそれぞれ対比をさせた資料を添付させていただいたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:20	<p>いうところでございます。具体的中身につきましては別紙4で記載している内容を踏まえて比較表にしてるものですので、それを対比させてるところですので詳細の説明は割愛させていただきたいと思います。説明は以上になります。</p>
1:44:35	<p>規制庁田尻です。衛藤幾らか確認で細かな中身ってのはあんまないんですけど訂正されてるという話ではあったんですけど。</p>
1:44:44	<p>例えば、1個しか言わないんですけど右下7ページ8ページとかのところ で、基本法にポチえっと7ページの2ポツで基本方針っていうふうに謳 ってて、</p>
1:44:55	<p>中身見ると同じようなことを多分2回繰り返しちゃったり、右下8 ページに①っていうふうに行くと、</p>
1:45:03	<p>その機能の喪失により公衆または従事者に過度の放射線障害を及ぼす恐 れがあるものを、江藤工場または事業所外へ放出されることを抑制しと か日本語も破片みたいな感じのところがあったりするんで、</p>
1:45:15	<p>精査はしてください。中身にあんま関係ないんで精査されるという前提 で突っ込まないようにしてはいるので、精査終わりましたというよりは 引き続き精査いただければというのがまずコメントに近いんですけど1 点目。</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:30	はい原理イワダテすみません精査を引き続きさせていただきます。
1:45:35	規制庁谷井ですでもう1点が少しだけ中身に関わるんですけど211ページ以降で火災防護計画の話を書きましたっていうところの絡みなんですけど。
1:45:45	要はどこまで書くかちゅう話なんですけど、さっき0秒シーズンところで、可搬型CO火災防護計画ですねって添付2の火災防護計画で変わる話書いてますねって話をしたところなんですけど。
1:45:57	電通ではわりかし。
1:45:59	次回に飛ばすこともなくなんかザーッと書いてるようなイメージだったんですけど、補足は何かそれぞれ飛ばすんですかね。
1:46:10	日本原燃の木田でございます。ご指摘の点、別紙4のところの基盤最後の方に高い防護設備。
1:46:22	申し訳ございません。細胞計画についてこれはもうパッケージものとして時点で書いてございますので。
1:46:31	その手前側の個別事項4項以降ですね、ここでは今回の申請対象設備のことしか書いてございませんので、そこで値になるものとしてそうすると一番最後の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:46	火災防護計画の方はいっぱい書いてるけど前段の方は、ちょっと設備が申請される値としか出てきませんので、今回の申請範囲に限って書くと、このような 217、219 の記載になるというところでございます。
1:47:05	規制庁田尻です。どう整理するかだけの話であると思うんですけど設備に係るものに関してはその各次回申請ですけど、火災防護計画って、
1:47:15	極端に火災防護計画のこの部分を作りましたこの部分作りましたって徐々に徐々にふやしていくっていわば最高計画全体として作っちゃってるもんじゃないかなって気がするんで、1日に分割しなくても説明もできるんじゃないかなという思いで聞いているところで。
1:47:28	先ほどおっしゃったように個別設備のところはともかく火災防護計画としての話は先ほどの添付のところでも、
1:47:34	あらかた 4 基目を読めるぐらいの記載が書かれていたので、
1:47:39	特段のこだわりがあるんであれば別に何か分割するっていう話をしたいだけでもいいんですけど。
1:47:44	火災防護計画物なんか毎回毎回この部分は今回、この分は 2 回申請でやってやる意味もあんまない気がするんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:52	意図があまりないのであれば全部つけていただいても構いませんというのを一応コメントまで。
1:48:02	この原燃の飯塚でございますご指摘の趣旨、と理解しましたおっしゃる通り火災防護計画は必達の負けるものでございますのでちょっと見せ方はですね住谷線少し検討させていただきます。
1:48:18	規制庁タジリですよろしくお願いたします。衛藤葛西関係で自分から営業部が規制庁側から他に何か確認する事項等ありますでしょうか。
1:48:28	すいません規制庁コサクですけど、先ほどの続きで申し訳ありません。加古 0002 の 45 ページです。
1:48:37	先ほどの 1 時間耐火云々のところは選択肢を絞るということでもいいんですけど。
1:48:44	添付のところその次に、自動消火設備を設置する場合はってところが、
1:48:54	志賀谷坂ということになってるんですけど。
1:48:59	これわあ、
1:49:01	実際にやるんですかやらないんですか。やるんだとしたら何 D C 形二番でいいんでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:08	はい。日本原燃、イワダテでございます。今のご指摘の点ですけれども、まずはちょっとやりますよという宣言自体としては長田さんおっしゃっていただいた通り書くんですけどちょっと、
1:49:22	今、志賀谷井のところについては、ちょっと議事の整理としては
1:49:29	やることはもちろんやるんですけども、まずは紹介しますというところの宣言を、実は方針を示させていただいて、その時の追加の考慮っていう、この観点で、そこは添付で具体的な話としてお示ししたいというふうに考えておりました。以上です。
1:49:49	規制庁小阪ですそれは
1:49:53	本文添付の考え方としてどういう線引2の仕方をしたのかっていうことなんですけど、いかがですか。
1:50:07	はい。日本原燃イワダテでございます。本文添付の線引きというところで、ちょっと、
1:50:15	すみませんそれ、ちょっと全体整理の話との乖離がちょっと出た、減っちゃうかもしれないんですけどもちょっとところで考えてましたのは、
1:50:24	衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:25	ここは今日はこの項目が共通項目というところで
1:50:31	共通項目というところで設備を設置して、設置しますというか、方針としてこれを取りますよっていうところまでが基本せ、いわゆる本文また基本設計方針の部分かなというふうに考えておりました。
1:50:48	規制庁田尻です。窒素ガス使用することもどこでも読めないんですけど。
1:50:56	ドバイ日本原燃イワダテでございますガスを使えますよっていうところは訴える 2 章の方に、
1:51:04	なります。
1:51:06	通しで言うと 71 ページにもあるんですけども。
1:51:13	71 ページのところでは目的、7.1. 1 計算消火設備というところの中で、
1:51:22	調達を活用するということを書いてございますけれども、ここで言う基本設計方針の結果が、
1:51:29	3 段、
1:51:31	百名のところ進んでいただくとですね。
1:51:36	もうちょっと、ちゅ間の会議では非常にわかりづらいところはあるんですけども、本 3 段落目の上から、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:44	9、14名あたりのところになるんですけどもここでは事象発生床下っ ていうところで、記載をさせていただきまして、ここで固定式の消火装 置を設置しますというところで消火するというところは書いてございま した。
1:51:59	いや、景況タジリさんなんて窒素が二酸化炭素かっていうの特定をされ ずっていうことですかね。一応確認だけなんですけど今言ってるのは、
1:52:07	失礼しました。そういう意味で言うとすいません窒素ですっていうとこ ろはちょっと今の基本設計方針だと読めないところが、ルールある。あ りますねはい。なのでちょっとそういった意味ではバスの時計とかそう いったところは今の、先ほどのコサクさんのご指摘のところ、
1:52:22	そこの考慮というところなんじゃないかというところかと思いたすの で、そこを踏まえて基本設計方針ベースにするかどうかはちょっと整理 したいと思いたす。
1:52:32	はい。補足です。よろしくお願ひします。今、田尻が少し補足で聞いた ようにですね、他の場所読めて抱き合わせD、宣言はできてますと。
1:52:44	具体的な適用については全部でっていうことであれば理解できるんです けど、その辺りをよく整理をして対応してください。特にす。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:55	MOXの場合は若干弱いんですけど、中央制御室だとか操作室っていうところではあの人が、
1:53:03	確実に入れるようになっていう、安全機能があって、その対応として書いてる部分だと思いますので、確実に読めるようにはしていただきたいなと思います。よろしくお願いします。
1:53:17	はい土俵際でございます審査基準という気も踏まえて精査をさせていただきます。
1:53:25	規制庁田尻です。他に規制庁側から何かありますでしょうか。
1:53:31	発想はそうなんで原燃の方から今日の振り返りと今後のスケジュール、あと何か聞きたい点があればよろしくお願いいたします。
1:53:40	はい。日本原燃の記者でございます。知りたいとして、
1:53:47	法であったり河川であったりそういった細かいところの精査というような時に、何だろうな、資料共通でございますので割愛させていただいて、別紙1についてはBS上の書き分けについて耐震側の記載をですネトミタ上で再度精査をさせていただきます。
1:54:06	レッションについてはですネ変更なしの記載のところをですネこちらもですネ他条文との記載も見た上で

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:17	主、内容精査、あとは目次をつける形で検討したいと思います。
1:54:23	別紙 6 については、
1:54:28	衛藤基本設計方針の第 1 回班糸瀬衛藤変更に各部分のですね焼骨な、共通的なものはもう入れていきましょうということで見直しをさせていただきます。
1:54:40	あとはそうですね。6-4 で、
1:54:46	あとはあれですね、変更前に記載があって変更がないところ、あとは変更後にしか書いてないものでも、まだ変更前に、
1:54:56	今までやっていたようなところというのものもあるありますのでそういったところを精査して見直しをさせていただきたいと思っております。個別については
1:55:08	サイトウ計画のところワンパッケージ合田というものを踏まえてもう少し資料の見せ方として、どこまで書くかというところを検討させていただきたいと思います。
1:55:20	とか棒については、以上でございます。規制庁館です。一応最後の話としても要は何を基本設計方針として担保して、何まで書かないのかっていうところの整備、例として先ほどの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:32	床下の消火の話ではありましたがそういう点も踏まえて整理をいただければと思います。あとはスケジュールをお願いします。
1:55:42	はい。日本原燃の千田でございます。基本設計方針書くべきところを精査しません。池田。大変申し訳ございません。衛藤。
1:55:53	はい。対応させていただきます。スケジュールについてですけれども訴訟がちょっと来てもよろしいですか。
1:56:04	はい。規制庁館です。ちょっと統一的な話もあるので即答できなければそこまで求めないんですけど、わかったタイミングでも大丈夫です。
1:56:15	はい、与儀西田でございます。ちょっと他との横並びも含めてちょっと整理をさせていただくということでスケジュール関係は別途回答させていただきます。
1:56:25	筧町タジリ理解しました衛藤ほかに減額は何か確認事項とありますか。
1:56:34	日本原燃の千田でございます。こちらからの確認事項はありません。どうもありがとうございます。はい、規制庁D O S I R I S それでは本日のヒアリングこれで終了したいと思います。それでは録音
0:00:00	はい、録音開始しました。
0:00:05	はい。録音開始しました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:09	規制庁の武田です。それではただいまから、日本原電とのヒアリングを開始いたします。
0:00:15	本日のヒアリングは、令和2年12月に申請があった設工認申請につきまして、これまでに提出があった資料をもとにヒアリングを行います。
0:00:25	まず規制庁側の出席者紹介いたします。
0:00:29	本庁側からの出席者は、
0:00:32	島ハセガワキシノさんだけでよろしいでしょうか。本庁会議室はキシノです。キシノ1名です。
0:00:39	ありがとうございます。
0:00:42	WEBからの参加者を紹介いたします。
0:00:47	まずつつうかね。
0:00:49	ハバサキカミデモリノ。
0:00:53	明田。
0:00:54	以上になります。
0:00:56	それでは日本原燃の方から、出席者の紹介と、議題の構成、説明範囲、達成目標について説明をお願いいたします。
0:01:07	はい。日本原燃中浜です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:10	日本原燃側の参加者をご紹介します。
0:01:14	まず、事務局としまして、ストウ、
0:01:17	マツダ、
0:01:19	オオガキ、
0:01:20	ムラノ、
0:01:22	タカハシ、
0:01:23	フジノ、
0:01:24	シミズ、
0:01:26	赤松。
0:01:27	タニグチナカハマ。
0:01:30	説明者といたしまして、
0:01:32	フナコシミヤモト。
0:01:35	ムラカミ。
0:01:37	ウノ。
0:01:38	イナガキ。
0:01:40	おかしい。
0:01:41	ウラバヤシ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:43	クドウ。
0:01:44	ムラタ。
0:01:46	オガセ。
0:01:47	スガワラ。
0:01:49	オオダテ。
0:01:51	ホシノ。
0:01:52	ヤマグチ。
0:01:54	サガワ。
0:01:55	キクチ。
0:01:57	トミタ。
0:01:58	ヨシダ。
0:02:00	ニシヤマ。
0:02:02	ナカムラ。
0:02:03	イワブチ。
0:02:05	ナツメ。
0:02:06	コマツ。
0:02:08	ナカムラ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:10	チダ。
0:02:11	タカハシ。
0:02:13	メトキ。
0:02:15	大竹。
0:02:17	伊藤。
0:02:18	カサモ。
0:02:20	あとウェブからの参加で、荒田。
0:02:24	関西電力様から野元様が参加いたします。
0:02:30	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、
0:02:35	画面表示させていただきます。
0:02:38	まず補足説明資料の、アイシン建物 08 番。
0:02:43	h 新 00-01、別紙 4-2。
0:02:47	及び、それに付随します耐震地盤ゼロイチ耐震建物 21、
0:02:55	別紙 4-1。
0:02:58	及びその、アイシン詭弁 22。
0:03:02	以下別紙 4 シリーズの方のご説明を。
0:03:06	させていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:08	あと、最後ですけれども、補足説明資料。
0:03:12	耐震建物 15、
0:03:15	申し訳ありません一つ抜けましたけれども、地震の 00-02%の別紙 4、
0:03:22	及び小。
0:03:23	田井最後に耐震建物 15 の順でご説明し差し上げたいと思います。
0:03:30	よろしければ、
0:03:31	補足説明資料耐震建物 08 からご説明させていただきたいと思いき れども、いかがでしょうか。
0:03:40	規制庁の竹田です。説明ありがとうございます。それでは耐震建物 08 の方から説明をお願いいたします。
0:03:49	はい。日本原燃のオガセでございます。耐震建物 08-R11 として資料 本日受け出しておりますけれども、こちらの地盤モデルと物性値の設 定についてという資料でございます。
0:04:01	こちらのバージョンでございますけれども前回ヒアリングの際にいただ いているコメントを踏まえまして逐次線形解析に関するところの減衰定 数の設定条件のところ、これがページの 43 ページのところございま す。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:15	こういったところにつきまして現状どういう考え方に基づいて設定しているかという話を踏まえて記載のほうを充実していること、あとはもう一つご指摘といたしまして70ページ以降になりますけれども、この逐次線形解析を用いた際の建屋応答。
0:04:29	これまでは地盤も地盤の応答に対して、考察を行って、その上で等価線形解析による評価結果に影響がないというところをお示ししておりましたが、
0:04:39	別紙として建屋応答の方までお示しするというところで資料の方を追加させていただいてございます。その他下線引いているところで各所に修正箇所あり、あるんでございありますけれども、こちらのロジックと変わるものではございませんで、ぶりとか、言葉遣いの変更そういったところになっているというものでございます。
0:04:56	説明につきましては簡単でございますが、以上でございます。
0:05:03	規制庁の竹川です。ありがとうございます。
0:05:06	それでは規制庁側から、本資料につきまして確認がありましたらお願いいたします。
0:05:44	規制庁の千野です。はい。特になぜないのであればちょっと私の方から1点確認させていただきたい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:52	14 ページ。
0:05:54	2 ですね。
0:05:57	4 ポツに第 2 回申請以降のっていう、
0:06:00	言葉概略として書いておりますけれども、
0:06:04	これについてわあ、今後どういうタイミングで、
0:06:10	この具体的な内容とか、
0:06:13	説明されることを考えなのか、何か見通しがありましたら教えていただけますか。
0:06:22	はい。日本への投資でございますこちらの方の対応に関しましては今現在、第 1 回の事故を踏まえまして当社の方で、第 2 回方の検討用モデルについて検討を実施してるところでございます。こちらの方の、
0:06:36	具体的な内容に関しましては第 2 回目申請をさせていただいた段階におきまして当社の方からこれ以降の第 2 回申請以降についての内容につきましてご説明させていただきたいと。
0:06:48	いう形の方で今後進めさせていただきたいというふうに考えてございます。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:53	規制庁の千野です。ありがとうございます。基本的には第2回の申請以降になるということですかね。
0:07:03	はい。おっしゃる通りでござ日本でトガシでございます。おっしゃる通りでございます。はい。
0:07:07	わかります。
0:07:11	はい。とりあえず、私から以上になります。
0:07:20	規制庁竹田です。その他、規制庁側から文書について確認ございますでしょうか。
0:07:31	いないでしょうか。
0:07:35	それではですね、場所については特に追加の修正等は
0:07:41	修正を求めるようなコメントはございませんでしたので、こちらの確認としては以上とさせていただきます。
0:07:50	それでは次の資料の確認に進みたいと思います。
0:07:55	次の資料は対し、
0:08:00	太子一番の01でよろしかったでしょうか。
0:08:06	失礼しました。地震0001の別紙4にですね、先にでは、地盤支持制度に係る基本方針について確認をしたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:16	それではこの資料につきまして根井の方から説明ありましたらお願いいたします。
0:08:23	日本原燃の工藤です。この資料につきましては、別紙4-2につきましては、添付書類の4-1-1耐震設計の基本方針に基づきまして、
0:08:33	発電炉の比較をした上で、添付書類の4-1-1-2と。
0:08:38	地盤のCTOに係る基本方針展開しているものでございます。
0:08:41	この4-1-1-2のうち、解析用物性値、また地盤のモデル等の設定は、地盤0、地震00と、関連しますので、
0:08:52	地盤の00と、地震の00を統合した形で、両方に添付する形式としてございます。患者様、説明は以上となります。
0:09:05	規制庁の竹田です。ありがとうございます。
0:09:07	それでは、今週について、規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
0:09:15	はい規制庁ハバサキです。よろしいですか。
0:09:19	投資、
0:09:21	385 ページですよ
0:09:26	極限支持力度の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:29	説明のところで、再処理施設に関しては、
0:09:35	建築物の構造、
0:09:38	T K C の 81988 年版を使われていると思うんですが、
0:09:43	今、遠慮されているのは 01 年版なんですけども、これ 1988 年版を使う理由について説明して欲しいんですが、
0:10:01	はい。日本原燃工藤です。こちらにつきましては、
0:10:07	300 人。
0:10:10	すいません。失礼しました。4 ポツのですね、2、地盤の支持力度と、次のページ、
0:10:19	にあります、
0:10:21	こちらですね、記載してます通り、この白クドウにつきましては、既設校における使用前検査を実施している場合は、
0:10:32	その値を検査の成績書に基づきまして、算定して設定するという ことで、障害検査を市が実際にやった時期。
0:10:42	あわせて、その式を使うということで、古いものとません。この古いほうの 1988 年の設計指針を使うと、
0:10:54	ということで記載させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:59	規制庁ハバサキです。今の説明は理解しましたが、今の話ってというのは許可人にそういう形で通っているということですか。
0:11:36	日本原燃の尾野でございます。
0:11:39	こちらの方ですね申請時がですね平成 13 年 7 月に 01 年でございますして、その時にはですねこの時の許容支持力という考え方でとっているという、
0:11:54	その時の設営、設工認の比較としてはですね、この使用前の値で通ってるといふことでございます。
0:12:03	規制庁ハバサキです。
0:12:07	今の説明であっても、今回、
0:12:11	コイン通る数上では、この 88 年版というのはさっきも言いましたけれども、学費等の対象になる。
0:12:19	と思うんですね、現状 201 年版が遠慮されてるもので、これ、資金の中心が一緒ならば、そういう説明もできるんでしょうけど。
0:12:29	88 年版と 2001 年版はこれご存知だと思うんですけども事業者の方も支給は違うし、どちらかという、というか結果的にというか、
0:12:40	危険側の評価ですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:44	それを、88年版を使うっていう明確な根拠が、
0:12:51	ない。
0:12:52	説明をしてもらう必要があるっていうのと、これバックイトウとしての対象になるというふうに思うんですけども、その点事業者等考えられますでしょうか。
0:13:10	はい。日本への投資でございます。浜崎さんのご指摘のところ計算としての基礎指針との位置付けの方で、吸収力の値が変わるといったところは当社としても認識しております。
0:13:22	ちょっと我々の方としてちょっと悩ましいなと思ってるところがですね 公団側の検査に行った際におきまして、当時の当然岩盤試験に基づいたところでの商売検査結果といったところで、
0:13:36	うまく、各市町の意見3のところの判定値が、法人設工認の記載値をして、実施されているところがございまして、こちらの方の検査の連続性といったところを考えたときに、
0:13:49	現状のような形の方でその当時に実施していた時のですね、用地の方を設工認の方でもですね記載しておいた方が後段側の方での検査の記録との整合性が繋がってくるといったところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:03	現状このような形の方で記載させていただいているといったところがございます。
0:14:08	現状のですね接地圧と旧主務の関係でいきますと当然、知事を栗田医師は10分の余裕を持ってございますのでどちらの式でやったとしても、特段そちらの方がNGに変わるかっていうものではないんですけども、そちらの方の検査の連続性のところでちょっと、
0:14:23	現状の左の方さしていただいといたところが、当社の今整理の仕方になってございます。
0:14:32	はい。規制庁浜崎です。高橋さんの説明まではわかりましたが、この扱いを、今回この基本方針にしてもですね
0:14:49	このこの記載のところだけ十分説明はされ、
0:14:56	どっか他の資料とかで説明されてるんでしょうか今のお話っていうのは、
0:15:07	はいに本年度はしてございます。現状ですねちょっとこちらの方の記載で特段、別途記載しているといったところは今現状ございません。
0:15:17	規制庁ハバサキですわかりましたそしたらやはりですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:23	そこをきちんと整理をした上で、今の事業者の考え方、我々として認め、認可できるのかどうかを検討しないといけないんですねちょっとそこは、
0:15:35	別途きちんと説明を求めたいと思うんですが。
0:15:40	対応していただけますでしょうか。
0:15:44	萩尾峰トガシでございますこちらの方は当社としても悩ましいところでもございましたのでちょっと当社の考え方といったところを整理させていただきましてご説明の方はしたいというふうに思っております。
0:15:57	清家箱崎です。
0:16:00	先ほど鳥羽さん言われた古藤は、私、こちらでも理解してます少なくとも、4Bに関してですねただ申請対象に関して、2001年版の式を使ったとしても、
0:16:14	特に評価には影響ないというのは、理解してるんですけども、例えば、次回以降の申請上、何か不都合があってこういう88年版使ってるのかどうかですね、いろんなことをこちら、
0:16:29	間がますのでですね、そこをしっかりと説明。
0:16:33	責任果たしてもらいたいというふうに思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:38	そういう観点ですねちょっとここある意味重要なところですのでしっかり対応の方をお願いします。私からは以上です。
0:16:50	日本原燃野呂でございます。承知いたしました。
0:16:57	規制庁の竹田です。
0:17:00	どうぞ神谷さん。
0:17:02	カミデです。
0:17:03	関連するところなんだと思いますけど、385 ページの、
0:17:12	二つ目のパラのところで、
0:17:15	最後の方なんですけど、実用炉と比べるとジャパン言いつぶりが違って いて、
0:17:23	再処理は地盤の極限支持力度に対してっていうことで、
0:17:29	実用炉の方は、
0:17:33	極限支持力に基づく許容限界って言っているんですけどこの辺って、
0:17:39	その実態上同じものなのかなののかっていうのがよくわからなかった んですけど説明いただけますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:47	日本原燃工藤です。こちらの最初にこの記載につきましては、規則等に倣いまして、このような記載にしております。意味合いとしましては、
0:17:57	発電炉の方と同じだというふうな認識でございます。
0:18:05	はい、規制庁カミデです。わかりました。意味合いとしては同じだけど先ほどお話ししたように中身の話に行くと、差分があつてつていうことだと思いました。とりあえずこの部分はわかりました。
0:18:19	あと、
0:18:21	390 ページお願いします。
0:18:31	390 ページで、
0:18:38	4 ポツ 1 のなおガッキーですね。
0:18:41	MMR は鷹架層と同等のつていうのがあるんですけど、この辺の、
0:18:49	エビデンスというか、定量的に、同等以上ですみたいな説明つて、どこかにありましたっけ。
0:19:05	日本原燃工藤です。こちらに同等という記載はですね、他に記載というところはないんですが、基本的にはですね、MMR につきましては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:16	一般的な工場の地震としましては設計基準強度は、15 から 18 名というところで、なっております。またNR、一応MMRのMMR方につきましては、
0:19:29	もう大体、体積重量ですね、単位体積重量につきましても、同等ということで、両者ともですね。
0:19:39	同等の利権性の有してると。
0:19:42	いうところがございます。
0:19:47	規制庁カミデです。
0:19:50	確かに、
0:19:51	ぎりぎり計算してどうだっていう話ではなくて今おっしゃったようなところで、それなら同等以上かなって一般的に思えるところろうなんだと思うんですけど。
0:20:05	今おっしゃったそのMMここで言っているMR、日本原燃が言うMRってどれぐらいのレベルのものなんだっていうのが、どこにも出てないと、さすがにこの記載だと。
0:20:19	多田の言い分になってしまうんですけど、その辺りマンメイドロックについて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:26	あれ仕様表で何か書くんでしたっけ。なんかそんな話もしてたような気もするんですけど、もしくは工事の方法のところにこういう記載がありますよみたいな。
0:20:37	ことでもいいんですけどそのあたりちょっと説明できますか。
0:20:42	日本原燃工藤です。こちらMMRの強度につきましては、せん断別に仕様上のところで、強度についてはですね、謳ってございます。
0:20:55	はい、規制庁カミデすわかりましたその辺も含めて全体を見ればわかっていうことで。
0:21:01	理解しました。
0:21:06	あと 390、391 ページですけど。
0:21:15	6.1 の、これもなお書きのところなんですけど、
0:21:22	ここに冷却塔の話が出てるんですけど。
0:21:29	今後いろいろ施設が増えてきたときに、
0:21:35	どういう、
0:21:37	記載ぶりになるのかっていうのが、あんまりイメージできなくて、
0:21:41	各施設に対して、
0:21:44	このなお書きがどんどん増えていくというイメージなんですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:19	規制庁カミデ、
0:22:21	それじゃ日本原燃土橋でございます。こちらの真壁さんのご指摘の、折井のところちょっとそのモデル関係のところ新しい物性値関係といったところで、もし設定する必要性が出てきた際においては、
0:22:37	この部分のなお書きといったところがまた手合いのところが増えていくというようなところになってくるというふうに思っております。
0:22:49	あと、規制庁カミデです。別紙1 農話のヒアリングの時も他の条文のヒアリングまた今日の午前中もそういう話はしてるんですけど、
0:23:01	第1回で、どういうことを書くのか、基本的な部分はちゃんと書いて個別具体のところはみたいな。
0:23:12	話を、全体整理してっていうことの、これもう一部の例だと思うんですけど。
0:23:21	ただこのなお書きについては、この3軸試験による云々かんぬんっていうのが、
0:23:29	その前のパラグラフに含まれてるかどうかよくわかんなくてですね。
0:23:34	基本的な考え方は

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:37	どうなんだっていうところがよくわからないんですけど、その辺も1パラ目と2パラ目で言ってることの関係も、ちょっと説明いただけますかね。
0:24:02	はい。日本への投資でございます基本的に最初の文章で述べているのが、基本的にそうそう構成というか磁場モデルに対しての層の構成の部分の方を述べさせていただいているところでございます。
0:24:19	なお書きの部分といったところがここがひずみ依存特性といったところで走行性に応じたところで与える物性値といったところを展開させていただいている、文章になっております。
0:24:36	規制庁のカミデです。実用炉で書いてあるところと比べる比べてみると、
0:24:44	あれですかねここに冷却塔の主冷却塔を主語に置いてるところはおかしいだけで、別に冷却塔抜いてしまって全体の方針としてしまった。
0:24:57	言えば、それでいいんじゃないかとも思ったんですけどその理解は合ってますか。
0:25:07	はい。日本原燃富樫でございます。私が冷却とそうですねいえ冷却なお書きのところが冷却塔が主語というよりは、ここはガン

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:17	ファンの物性値によって決まるところになりますので、そのがんの名称を書けば事足りるんだと、いうふうに思います。
0:25:27	ですのである意味発電所のところと言っている久米層って言うところがあるので、ある意味その部分が当社の方に行くと、高岡層の中の岩種のところを記載すれば
0:25:38	その対応関係ってのは取れるというふうに思っておられます。
0:25:44	はい、規制庁カミデです。わかりましたこの辺も
0:25:49	全体の共通ルールから波及してくるところで
0:25:55	ここだけではなくて結構あると思いますざっと見てますけど、
0:26:02	今回ここだけじゃなくて他にもないかっていう全体精査をいただければと思います。ここに関しては冷却等級主語をなくしてしまう。
0:26:15	全体の話を、その間に対しての説明っていうふうに清が、その下の、また和気もなくなって、第1回で全体の方針を示せるっていうことだと理解してますので、
0:26:27	そういうところが他にもありそうなので、精査をお願いします。
0:26:36	日本原燃クドウです承知しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:45	はい。規制庁カミデです。そういう意味では 6. にも似たような感じ で。
0:26:53	一番下に今回申請対象施設以外のってなってますけど。
0:26:59	ここも冷却塔に限定しないでっていうふうに書けるんじゃないかと思 いますので、
0:27:07	そういう点で、精査してくださいということですけど、よろしいです か。
0:27:33	日本原燃工藤です。共通になり、なるところにつきましてはですね、こ ういう第 1 第 2 回以降
0:27:43	その施設に応じた申請というふうにはせずにですね、共通というふうな ことがわかるようにですね、修正等をしたと思います。
0:27:56	はい、規制庁カミデです。ちなみに 6.2 については最初のところは全体 の方針として直下または近傍のって、
0:28:07	行って、
0:28:09	それはよくてということですね、冷却塔 B はっていうところが、
0:28:16	ここでそこまで言うべきなのか。
0:28:21	この辺は個別ってということになるんですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:25	何か。
0:28:26	あんまり綺麗に書かれてるような感じがしないので、そのあとにまた、 また書きでF L I Pのところとかってというのはまた全体の話になってい るような気がするんで。
0:28:40	共通の方針をまずちゃんと述べて、例外的なものの個別のものがあれ ば、その下に書いて、さらに、次回でもそういうものがありそうなとこ ろは、
0:28:53	それ以外はまた近藤っていう記載の、そういう構造になればいいんじゃ ないかと思いますので、全体。
0:29:01	考えを統一して、見てもらえればと思います。
0:29:05	よろしくお願いします。
0:29:08	日本原燃工藤です。はい。ちょっと共通の部分と、個別の部分がちょっ と混在しているので、ちょっと整理しまして、記載したいと思います。
0:29:23	と規制庁カミデです。別紙4-2について私からは以上です。
0:29:34	藤規制庁の竹田です。
0:29:37	ちょっとページが戻ってしまっって恐縮なんですけれど、385ページお願 いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:47	ここに、
0:29:49	2 ポツの基本方針の、
0:29:51	3 パラグラフ名なんですけれど。
0:29:55	通しで地盤の極限支持力、
0:29:59	を設定する方法として、
0:30:02	基礎指針にもこの資料公式に基づいて、算定する方法と、また書きで、 平和サイバー試験、
0:30:13	結果を用いて設定するとあるんですけれど。
0:30:16	このまた書きにしている理由というのは何なのでしょう。どういう使 い分け。
0:30:22	をされているのか、ちょっと説明いただけるでしょうか。
0:30:30	日本原燃工藤です。こちらにつきましては、390 ページにも書いてござ います通り、使用前検査で実際の直下での、
0:30:41	この試験結果が用いられているものにつきましては、そちらを使うと。 一方で日本の J E A G にもあります通り、平板裁可試験であると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:54	いうところもありますので、使用意見平板裁可試験でやられている部分があるものにつきましては、そちらを使うというような使い分けでござ
0:31:12	います。
0:31:12	規制庁の竹田です。例えば、使用前検査、
0:31:17	の結果と整合させているという、
0:31:20	ことですか。
0:31:23	日本原燃工藤です。整合ということではなくてですね、使用前検査でら
0:31:36	れているものは、こちらが正としてござい数値としてありますので、そ
0:31:43	ちらを使うとでしと、
0:31:43	いうこととございます。
0:31:43	規制庁の竹田です。わかりました。
0:31:46	そういう使い方をされてるということは理解をしたんですけど、この
0:31:57	385 ページの記載。
0:32:01	がですね当間発電所の比較。
0:32:01	並べてみたバーい、
0:32:04	当間発電炉の場合は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:07	これはまた書きになってますんで、式の支持力試験結果試験を実施している場合は、この試験結果を用いるということになっているので、
0:32:18	若干書きぶりが違っているかと思imasので、この差分については、
0:32:24	備考のところで説明をいただき今の説明を踏まえて、説明をいただきました いんですけど、よろしいでしょうか。
0:32:31	日本原燃工藤です。はい。備考を修正して明日わかりやすいようにしたいと思imas。
0:32:42	規制庁の竹田です。お願いします。
0:32:44	私からは成長カミデです。
0:32:49	今の話は最初ハバサキとお話をしていたところにも関連するところで、
0:32:57	使用意見使用前検査の対応っていうところについてはきちんと事情を含めて、事情だったりあとは技術的妥当性みたいなところをちゃんと、
0:33:09	整理いただいて補足説明、一本起こすかどこかに入れる。
0:33:16	か、耐震地盤ゼロイチとかにもあるのでそこに盛り込むっていうことで もいいですけど備考だけではなくてですね、ちゃんと説明いただければ と思imasのでよろしくお願いします。
0:33:31	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:32	農業面クドウです。
0:33:34	こちらにつきましては、補足説明今おっしゃっていただきました地盤耐震地盤ゼロイチにですね、詳細の算出の方法とかありますので、
0:33:46	こちらにですねその使用前検査を使う。
0:33:51	そういった背景だったり、そういったところの理由を加えさせていただきたいと思います。
0:34:06	池崎委員。はいどうぞ。社長浜崎ですよろしいですかちょっと同じところで何度も安心なんですけど先ほど富樫さん。
0:34:17	は、説明の中で事業者としても、そこ、悩ましいところだ。88年版の適用の話ですけども。
0:34:26	似たような話っていうのは、
0:34:30	今回きょ、
0:34:32	極限支持力度はCで、遠藤君、されてるされてないっていう話なんですけども。
0:34:40	他次はないんでしょうかこれ、すべて規制庁側でチェックっていうのはなかなか難しい。ある意味、事業者側から、これは課題として悩ましいというふうに思われてたら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:53	事業者側からコース説明なり、
0:34:57	を求めてもらわないと。
0:34:59	すべてチェックし尽くせないというふうに考えるんですけども。
0:35:04	現時点で何か他に。
0:35:06	わかってるものといえますか。
0:35:09	疑義を感じてるようなものってありますか。
0:35:19	日本円トガシでございます。
0:35:22	耐震の計算からいくと、当然最新の基準に基づいて、遠藤されているもので計算といったところは展開して、
0:35:32	いきます。この先もご存知のように最終的な鉄筋の量であったりそういったものとかってというのは別に既存のものとのアウトプットが変わるものではないので、そういった、
0:35:43	意味でいきますと、ここの地盤の支持力度といったところが紐付け方が
0:35:50	昔の計算書に基づいて昔のものは判定値がそう書かれているといったところがあるので、
0:35:57	今当初の中でちょっとこの部分で悩ましいなといったところで、今、
0:36:03	私どもしたの。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:05	もってというのはこの地盤の支持力度のところでございます。
0:36:09	このところは現状特に、検査との連続性といったところでも特段検査側の方からも上がってはきていないという認識です。
0:36:20	すいません。日本原燃沢です。
0:36:22	悩ましいところは今トガシった通りないんですけどちょっと補足として、機電側で、これまでの議論の中でもお伝えしてますし、今日やる資料の別紙の4-1の中でも書かせていただいているんですけども。
0:36:35	再処理施設用の鋼材っていうところでそこは、当期認可の第2回の値使えますよっていうことは、これまでもお話をさせていただいておりましたので、
0:36:47	そこは別に悩ましいというか、こういうものを、再ん時で側にもありますよっていうところで補足させていただきますというところでした。以上です。
0:36:56	はい。規制庁浜崎です。今の2人の説明は理解しましたが、今後ですねどのような点がもしありましたら、やはり事業者の方から、そこは積極的にこちらの方に、
0:37:10	説明するような形で進めてもらいたいというふうに思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:16	私からは日本円トガシございます承知いたしました。
0:37:27	規制庁竹田です。その他別紙4-2について確認ございますでしょうか。
0:37:37	よろしいでしょうか。
0:37:39	藤先生、この種につきまして修正方針について、原燃の方から説明をお願いします。
0:37:45	回収方法がなかったかどうか確認をお願いします。
0:37:49	日本原燃工藤です。こちらの申請方針ですけれどもまず、機械情報につきましては、とは、発言はございませんでした。
0:37:58	修繕方針でございますけれども、都市拠点指示六道のところにつきまして、指針のですね、古いものと新しいものとありまして、
0:38:11	そちらの使用前検査との関係でですね、伊勢どちらを使う、その背景と いったものとかですね、そちらを整理してですね、修正したいと思いま す。
0:38:22	また、地盤モデルのところにつきまして、共通的なところと、工事課の ところというところの書き分けというところにつきましても、
0:38:34	整理してですね、修正等をしたいと思えます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:38	以上です。
0:38:48	規制庁の竹田です。はい、ありがとうございます。
0:38:52	それでは、別紙 4-2 に確認については以上とさせていただきます。
0:38:58	それでは次に確認する資料としましては、
0:39:05	耐震地盤の、ゼロイチでしょうか。
0:39:09	こちらについてそれではエネの方から説明をお願いいたします。
0:39:15	日本原燃の工藤です。こちらにつきましては、表紙の下にですね、注記で書かせていただいておりますけれども、
0:39:24	前回ですね、9月30日に、東レビジョンの0ということで提出させていただきました。10月7日にヒアリングに受けた内容のコメントは、レビジョン1としてですね。
0:39:35	提示し提出してございます。これを今回ですね、非常にということで、二重下線でですね、付け足すところにつきましては、青にですね、体裁を修正して、したものでございます。
0:39:49	またこの資料につきましては、10月のですね審査会合等で受けました、舞い降り近傍の埋戻動の設置等に対するコメントにつきましても、しているものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:00	説明は以上となります。
0:40:06	規制庁竹田です。ありがとうございます。
0:40:09	それではこの資料につきまして、規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
0:40:22	所長の岸野です。
0:40:25	この資料について何点か確認したいと思います。
0:40:29	まず、通しの9ページの方を見ていただきたいんですが、
0:40:34	(3) の見出しの下のパラグラフの中で、
0:40:38	2行目に、液状化強度比R Lと相関性のある指標抽出の上比較を行うと いった説明がありますけれども、
0:40:47	一方で10ページの方には、
0:40:50	この、
0:40:52	R Lとの相関性のある指標だけではなくて、下の方に、埋め戻し等の 施工管理なんかも含めての説明があります。
0:41:03	ですので、9ページの説明というのは、
0:41:07	このR L。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:10	R L と相関性のある指標の比較だけで説明というのではなくて、埋め戻し材料及び施工管理の観点からも均一観点から均一であること。
0:41:21	これは先行で女川でもですね、施工管理の観点も含めて、均一ですというような説明がなされている。その一部を今引っ張った。
0:41:32	ですけれども、
0:41:34	ここでも同様にそういった説明をするべきではないかと思うんですが、事業者の見解はいかがでしょうか。
0:41:42	日本原燃の宮本です。千野さんおっしゃる通りですね、液状化の強度比 R L 等、施工の観点からの均質ケースから、一様であるっていうような、
0:41:57	ことで、9 ページの方をもう少し、記載の充実させたいと思います。以上です。
0:42:04	規制庁の岸野です。はい。9 ページはそういう対応をしていただければと思うんですが。
0:42:09	それに関連して、16 ページ、下の方にですね。
0:42:14	埋め戻しどの 99 年以前と以降で、材料基準とか、締固めしようが、
0:42:22	変わってますよという説明が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:25	あります。
0:42:26	で、材料基準なんかを見ますと 99 年以前は段丘砂で、2000 年以降ってのは、ブレンド材鷹架層と六ヶ所層のブレンド材となっていて、
0:42:37	一読すると材料が違うんじゃないかと。
0:42:40	いうことも、
0:42:42	思えるんですけども。
0:42:44	これを踏まえても、均一であるといえるの。
0:42:49	この違いによる液状化特性への影響ってのはどのように評価されてるのか教えていただけますか。
0:43:01	日本原燃野呂でございます。
0:43:03	1990 年以前とですね、2000 年以降で、
0:43:07	実際のもですね材料の中心としましてはですねここに書いてございますよ うな、中位段丘、或いはそのブレンド材としてございますが、実際にストックファイリングで、
0:43:18	最優分含有率をですね管理しながらやってるということで、大体のですね ね流下曲線ですとかそういうものをですねそろえてるというふうなことで、 均一材料としてるというふうにご考えてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:34	清町の木嶋です。大体わかりました。
0:43:38	以前もちょっとお聞きしたと思うんですけど、ストックファイリングっていうのは、
0:43:42	そういった現場での粒度調整の作業のことを指しているのでしょうか。
0:43:50	日本原燃の小野でございます。岩盤とかですねそういうものを砕いたりしてですね大体同じ粒径のものをですね、山積みにしとくことストックパイルと言っております、
0:44:00	その山積みにした山の中からですね、大体粒径ですとか、細胞培養率ですとか合うようにですねそれを混ぜ合わせることで等で均一にするというふうな手法でございます。
0:44:14	清町の岸野です。はい。よくわかりました。
0:44:16	でしたらですね、16 ページの下の表にあるように、一読して材料が違っているというような説明にとどめるのではなくって、とせそれも施工管理もしくは材料品質管理になるかもしれませんが、
0:44:31	その方面で粒度がほぼ同一になるように、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:36	設定していると。おそらく目標とする粒度の範囲はこれでそれに収まるように現場でのストックファイリング等により調整しているといった説明が、
0:44:47	必要かと思imasるので、それがあって初めて、材料としては均一であるというふうにいえるかと思imasるので、その説明を加えていただければと思imasるがいかがでしょうか。
0:45:00	日本原燃の宇野でございます。今沖野さんがおっしゃったような池戸です、ストックファイリングですとか粒度調整ですとか、そういう言葉を入れて均一であるというふうな文章にさせていただきたいと思imasる。
0:45:12	施設西日本営業部の三原です。ちょっと 11 ページを見ていただきたいんですけど、1990。
0:45:21	99 年以前と、2000 年以降ということで、水色と緑のところ区切っております。それで液状化強度の試験 1 号、
0:45:33	赤でお示ししてるんですけど、これ両方側から取ってきてますんで、液状化のパラメータを設定しておりますんで、
0:45:43	両方のものを品質管理したものを、評価してるということで、おつき合いアロン付け加えさせていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:51	規制庁の木嶋です。はい。
0:45:54	材料的には同じ粒度にそろうように調整しているということで、2材料のエリアからそれぞれ液状化共同と。
0:46:04	できるということは理解しました。
0:46:07	で、結果、材料は違うようだけれども、液状化強度に与える影響というのは99年以前と2000年以降とで、沢ありませんというそういう結論になると、理解しましたがそういうご説明だったのでしょうか。
0:46:24	植野湊です。木戸さんおっしゃってくれた通りのご理解で、いいかと思えます。はい。ありがとうございます。わかりました。ではそういう整理をしていただければと思います。
0:46:35	16ページ少し戻りますと、関連してですけど99年以前は締固めしようとして高温、今管野式ですかね、で管理していて、
0:46:46	2000年以降は締固めで管理していると、指標が99年以前は強度を直接はかっているのに、2000年以降は締固め度といって乾燥密度で、
0:46:58	評価していると思うんですが、この違いも応益ジョーカーの影響、液状化強度に与える影響はないと評価しているということによろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:10	日本原燃の湊です。おっしゃる通りですね、指標が変わったからといって、の液状化経済への影響はないと思っております。
0:47:20	所長の岸野です。その根拠となります。
0:47:24	入ってというか、それは何かあるんですか。単なる思い込みではなくって、同等とみなしてよいという、
0:47:34	何か物の本にあるですとか一般的にこれとこれを合わせておけばほぼ同じ強度になりますといえるものなのか、そういったところを教えていただけますか。
0:47:47	日本原燃の尾野でございます。
0:47:49	締固めですね、仕様は異なりますが、1990年以前はですねポータブルコーンでこれ換算式ございますけども。
0:47:59	大体0.2MPa程度の強度を有するということで作成してございます。実際に締固め度、2000年以降ですね、管理の時に、こういうふうなものをとってございませぬが、
0:48:13	実際にですね戻しの強度特性を調べてその回帰を取ったものをですね以前からお示ししてございますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:23	この下のところですね、ちんと 50 メーター相当でありますと、大体 0.1MP a 程度の強度を持つということで、実際の液状化といいますか、強度特性的にはですね。
0:48:36	大体同じぐらいの主影響度を持つと、先ほど言いましたように粒度も大体同じということであれば、液状化強度の方もですね、大体同等であるというふうに判断してございます。
0:48:51	規制庁の岸野です。はい。よくわかりました。以前から示されている今日のこの相関式っていうのは具体的にどの資料にあったどれを指しているんでしょうか教えていただけますか。
0:49:09	この強度式問題ございません。この強度試験につきましてはですね。
0:49:14	事業許可申請書の方に出ておりまして、今回この資料の方には示してございませんので、後程今日ですね、これはせん断強度でございますが、それの方もですね、添付させていただきたいと思います。
0:49:31	瀬崎です。はい、わかりました。えっとですねご説明いただいた内容を理解できるものですので、その事業許可申請書に記載のデータなんかも引用しながらですね。
0:49:43	具体的に東京都の面でも同等とみなせるっていう辺りをですね、説明を加えておいていただければと思います。お願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:53	はい。遠藤でございます。宇野です。了解いたしました。はい。瀬崎さんです。続いてですね、資料の 10、通しの 10 ページをお願いします。
0:50:05	したいのですけれども。
0:50:13	下線を引かれている文章についてなんですが、ここの記載ってのは 10 月 12 日の審査会合での指摘を受けて記載を追記修正された箇所かと。
0:50:28	思っていますけれども。
0:50:31	その 10 月の会合の時はですね、ちょっと今手元にはないですが会合資料で言うと 19 ページにあったズーなんですけどね。
0:50:40	今回、検討している A4B 近傍のサイリウム分団唯一が、液状化強度試験を行った箇所のサイリウム分含有率も、よりも低い。
0:50:54	こと。
0:50:55	すなわち A4B 近傍の方が、液状化しやすい可能性があるのではということ、会合では指摘したと。
0:51:03	これに対してですね。
0:51:07	この 10 ページだったかと思いますが、
0:51:13	同じ深度で鳥栖 F C と裁量分がより A F C と、N 値が獲られているものに限定して、R L を算定したというような説明があったかと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:28	府民わけです。
0:51:37	すいません。
0:51:41	すいません。
0:51:45	えっとですね、ちょっと続けさせていただきますけど。
0:51:53	今回のこの資料の中の記載でですね、同じ深度でA F CとN値が獲られているものに限定して、R Lを算定したということなんですが、
0:52:01	この算定したR Lの中に、会合で指摘した、A 4 Bにおいて、敷地全体と比べて低いF Cっていうのも、評価できているんでしょうか。
0:52:12	それともデータがなくて、R Lの評価からは、外したということなんでしょうか。まずこの事実関係を教えていただけますか。
0:52:28	日本エヌミヤモトで、F Cが小さいものも入れて、R Lの評価を行って、R Lについてはこの営業日については、日本へのミヤモトです。高いという結果を獲られています。
0:52:42	規制庁の岸野です。はい、わかりました。それであればですねちょっと一文で済ませるのではなくって、具体的にそのR Lの算定の基になった江口F Cなんかの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:52	元データもまとめて示していただいて、この結果このA4B近傍のF C が低い部分についても、R Lの値としてはこうなるので、
0:53:02	トータルとして問題ありませんということが、明瞭にわかるような説明 をしていただきたいんですけど、いかがでしょうか。
0:53:10	日本の宮田です。承知しました。ここの記載をもう少しデータを拡充し ながら、文章の方も記載をちょっと追加させていただきます。
0:53:21	はい。お願いいたします。データを拡充して丸めていただいたんですけど、 今言われ、言ったようにですね、R Lのもとになる根拠データをち ゃんと明確に示していただけ。
0:53:33	ねばと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
0:53:39	日本原燃の宮で承知しました。
0:53:43	規制庁野地です。続いて同じく10ページですね。河川。
0:53:49	が引かれている。
0:53:51	上から4行目に括弧書きで深部で $n = 36$ があるが、局所的。
0:53:58	というふうになっていますけれども。
0:54:01	局所的だから問題ない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:03	とするのは、これは合理的な説明なんですか。どういうお考えなのか教えていただけますか。
0:54:13	日本のようです。先ほどの岸野さんの質問とちょっとダブるところがあるんで、ちょっとN値等、NGだけじゃなくてですねこのF Cの大学にかかったりするのもあるんで、そこら辺をちょっとデータを整理しながら、ここをちょっと限定するような文章になってるんで。
0:54:30	この記事をちょっと改めたいと思います。
0:54:33	規制庁の岸野です。はいお願いしたいんですけども、それは10月の会合で、そういった整理を
0:54:39	お願いしたつもりでして、それはそれ以降特にそういったご準備はされてなかったということなんですか。
0:54:53	会合でもそういった整理ポーリングデータ柱状図などと照らし合わせながら、物性なんかも確認してみたいな云々、
0:55:02	ちょっと正確に覚えてませんがそういったことに言及して指摘をしていたと思うんですけども、そういったことをちゃんと受けとめて今回この生整理というか資料が出されてきているものと思って。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:17	できたのですけれども、そこまではまだ対応はしていない。これからやるという、そういうことになるんですか。日本原燃の宮田です。整理の方が終わってますけど。
0:55:28	ちょっと、先ほど言ったように、岸野さんがご指摘したように、ちょっと文章だとかデータの拡充がちょっとできなかったっていうのが整理自体は終わってるんですけどそこができてないんで。
0:55:42	ちょっと補足資料になるんですけど、検討も全部終わってますんで、データの拡充と先ほど言った文書の拡充といったことで、お示ししていきたいということで、私の方から、先ほど述べさせていただきました。
0:55:57	規制庁の岸野です。はい、わかりました。作業は進んでるけれども資料には反映してませんという、その辺りの事情がよくわからないんですけども、会合から三瓶須田って出てきた資料に反映されてないというのがちょっと。
0:56:09	対応として遅い、もしくはの会合に対する会合の指摘に対する、真正面からあんまり答えてないような感じもしますので、そこをちゃんと対応していただければと思います。よろしくお願いします。
0:56:24	二本木三輪です。一応検討はですね、一応ここは、
0:56:29	ではおってですね、鳥井近江と能城グラフをちょっと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:35	ですね。
0:56:39	15 ページのグラフが、これ、一通り全部データをまとめたやつなんですけど、15 ページのこの下の図が、
0:56:48	それで岸野さんの方からのご指摘ですべてちょっとデータをまず示してくれということだったと思うんで、そこら辺がちょっと確認ができなかったってところで、私の方で説明させていただきました。
0:57:00	清町の木野です。わかりました。一応 15 ページに集約はされているということなんでしょうけれども、これ、一読しただけでは、事業者が説明しようとしてる内容の、
0:57:11	詳細が掴めないところがありましたので、そこは改めてですねこのデータの内訳になっているデータも含めて詳細に説明をしていただくようにお願いします。
0:57:21	わかりました。グラフだけの傾向だけじゃなくて、データの数字もお示しするような形で、資料の方を整理したいと思います。二本木の宮本です。
0:57:30	はい、お願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:32	それで、すみません、先ほどちょっとまだ言ったのはですね、長谷川管理官が意識られまして、そろそろ参加できそうだっていうことなんですが、今少し、
0:57:44	一旦席を外されましたので、もうじき戻られると思いますので、
0:57:49	戻られましたらちょっと会合資料の対応の方等お願いしたいと思えます。
0:57:55	それまで、あと2点ほど確認をさせてください。
0:58:00	同じ資料の18ページ。
0:58:03	です。
0:58:09	中ほどに下線が引かれていて、試験前数のうち約7割程度が繰り返し軟化と判断されることから施設全体の埋め戻し同ひずみが漸増する粘り強い挙動を示すことを確認したという一文を、
0:58:22	わざわざ追加してきたのが、ちょっとよくわからないんですけども。
0:58:28	このページ以前の説明。
0:58:32	内容からすると、先ほどのF Cが低くてもR Lの観点から問題ないとかですね、保守性に配慮した説明がなされてきたと思っていたんですが、
0:58:44	ここで全体見て7割が、大丈夫だから全体大丈夫ですって。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:49	また元の、
0:58:54	説明に先祖返りしているようなのは、これまでの説明と矛盾をしているように思うんですけども。
0:59:01	3割が液状化を示している試験結果であることを踏まえて今回の解析条件というのを保守的に設定しているということがあるかと思いたいで、ここについて説明を再検討していただきたいと思いますがいかがでしょうか。
0:59:22	二宮です。姿勢といいながら、こちらで粘り強い、
0:59:28	といったようなちょっと自己矛盾した文章になってるというご指摘だと思いますんで、一貫してちょっと説明ができるように、ちょっと記載の改めたいと思います。
0:59:38	はい。お願いいたします。
0:59:41	日本原燃浦です途中で申し訳ありません。審査会合資料の関係の話なんです関係者、今、ちょっと席外してる状況にございますので
0:59:53	的につきましてはこちらからダンスさせていただいてそれからハセガワ管理課おいでいただくということでいかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:59	はい、わかりましたそれでも結構です。どれぐらい時間かかりそうでしょうか。
1:00:04	で10分か15分になると思います。はい、終わりました。できるだけ速やかに参集いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。
1:00:14	はい了解いたしますそれでは後程お声掛けさせていただきます。よろしく願います。
1:00:22	この資料についてあと1点です。
1:00:25	先ほどからですね
1:00:30	話題になっていましたの支持力度に関する記載が29ページにございますけれども。
1:00:37	ここではですね、岩石試験とか、
1:00:42	名称は出てくるんですけども。
1:00:45	具体的な岩石試験とか支持力試験の試験方法、或いはJIS規格等ですね試験の詳細については一切触れられていないので、その説明を加えておいていただきたいと思うんですがいかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:00	はい。日本原燃工藤です。こちらにつきまして試験方法を、試験については、示してございます。またただ、試験の計算式とかに示してございますけれども、方法等につきましても、
1:01:13	追加して説明に伺いたいと思います。以上です。それでもらえばいいか。よろしいですか。どうぞ。
1:01:23	すいません。
1:01:31	規制庁岸です。すいません。今ちょっと
1:01:34	管理課とお話してたので、すいません、後半の方つき漏らしてしまいましたもう一度お願いしてもよろしいでしょうか。
1:01:43	はい。日本原燃工藤です。こちらの方法ですね試験の方法、試験、どういうふうにするかといったところにつきましては、試験方法名だけしか書いておりませんので、
1:01:54	試験の方法 3、3、
1:01:57	の方法ですね。まず詳しく記載させていただきたいと思います。
1:02:04	清町の岸野です。お願いいたします。
1:02:06	試験方法名は書いてあるっていうんですけど、ごめんなさい。どこに試験方法名が書いてあるか教えていただいていた方がいいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:18	2行目クドウです。ポツ1の直接基礎の支持力算定式でのあります通り、JCSのですね、一番の平板裁可試験方法。
1:02:30	こういったところが試験名となっております。はい。ありがとうございます。規制庁の岸田です。それは49試験の結果だと思います岩石試験の試験名称はどこにありますか。
1:02:45	逸見工藤です。
1:02:46	失礼しました。残席試験につきましては、こちら明確に書いてございませんので、記載を伺いたいと思います。
1:02:54	規制庁の喜納です。はい。お願いいたします。試験名称及びJISないしはJCSかもしれませんが試験企画も明確にして、こういった内容の試験をやったのかという。
1:03:06	説明も追加をしていただければと思います。ご検討のほどお願いします。
1:03:17	日本原燃工藤です。検討いたします。
1:03:24	規制庁の金です。すいません。1個飛ばしておりました。18ページに戻っていただきたい。
1:03:31	けども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:39	上の方の表の中でですね。
1:03:41	液状化、繰り返し軟化、サイクリックモビリティ。
1:03:46	といった言葉が出てきてますけれども、
1:03:50	これは多分わかる人にしかわからない内容かと思いますので、
1:03:55	専門家の方が読んでもわかるようにですね、液状化、繰り返しなんかサイクリックモビリティの違いを、
1:04:03	説明を加えておいていただければと思うんですが、可能でしょうか。
1:04:09	日本原燃工藤です。こちらにつきまして、ちょっとすみません簡単に記載をさせていただいておりますので、もう少しですねこの事情の説明をですね、加えたいと思います。
1:04:23	はい。よろしく願いいたします。本資料に関して、岸の方からは以上になります。
1:04:32	規制庁の竹田です。その他、規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:04:45	規制庁の竹田です。
1:04:47	それでは、ちょっとお話3日、私からも確認をさせてもらいたいんですけど。
1:04:53	5.3 でしょうかね。ページ34ページとかになると思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:05	ここで新地盤設定における代表性保守性の説明がありまして、
1:05:13	当初、前回のヒアリングの時に、
1:05:19	基礎指針の式に、
1:05:21	基づいて設定した支持力っていうのが、後ろのページ、
1:05:29	37 ページですかね、37 ページで示されている許可。
1:05:35	に載っている、岩盤支持力試験結果と比べて、随分、
1:05:40	差があるということで、
1:05:42	その
1:05:44	基礎指針の式で基づいて算定した結果が保守性であることとかの説明 が、説明されているものだと思ってるんですけど、そこはまず認識合っ てますでしょうか。
1:05:58	はい。日本原燃工藤です。こちら麻生ですね前回のコメントを踏まえま して、加えさしてもらった部分でございます。そう、こちらのところで ですね保守性等をですね、説明してございます。
1:06:15	規制庁の武田です。はい、わかりましたありがとうございます。
1:06:20	それでですね、この記載を見ていると、
1:06:25	コサク内の能力開放とかそういったものを考慮。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:29	すると、
1:06:32	現状の試験結果で用いて設定しているというのは実数よりも、保守側の 制定になるんだと。
1:06:38	そういう説明はされているということは理解できるんですけど。
1:06:45	底盤最下試験結果との乖離があるという観点での考察がまだ十分にされ てるとは思わないんですけど、こういった辺りを追加していただくこ とは可能でしょうか。
1:07:01	はい。日本原燃工藤です。こちら許可のハバサキ試験の値等のその乖離 につきましてはですね、ちょっと説明の方をですね、
1:07:12	加えるのを検討させていただきたいと思います。
1:07:19	日経城野タケダ
1:07:20	はい。
1:07:21	沖さんの方ですね
1:07:23	説明を追加していただくことをご検討お願いいたします。
1:07:28	私からは確認以上になります。
1:07:32	その他、規制庁側からございますでしょうか。
1:07:38	規制庁の木村です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:40	はい。すみません。先ほどお伝えした 29 ページに関して 1 点補足させていただきますね。
1:07:46	思います。先ほど岩石試験とか、49 試験の試験方法 J I S とかの規格を説明してくださいねということで申しあげましたけど、今 0。
1:07:57	0 時といいますか申しあげたことだけに対応するというよりは、どういった現位置でですね、どういった指示を、どういった箇所を選定して支持力試験を、
1:08:09	やったのかとか、岩石試験に用いるサンプルは、どういった箇所からどのようにして採取して持って帰ってきたのかですね、そういったことも含めて、今回の試験の方法。
1:08:21	まあまあ妥当であるっていうことをですね、詳細に、具体的な根茎方法とあわせて、説明をしていただいた方が、
1:08:34	今回のその妥当性を判断する上で参考になるかと思いますんで、それを念頭に置いて、できるだけ幅広く説明の方を加えておいていただければと思います、よろしいでしょうか。
1:08:46	日本原燃の小野でございます。最終位置ですとか、試験方法、設定方法について詳しく述べたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:55	ただですね平板脆化試験との乖離につきましてはですね。
1:09:00	その当時、獲られた赤い包絡線から設定してるんですが、その辺の差についてはですね、いろいろとこれから検討したいと思いますが、
1:09:10	どういうふうにして説明するかということで、ちょっと少々検討させていただきたいと思います。よろしく申し上げます。
1:09:19	伊勢網島です。はい、わかりました。ご検討のほどお願いします。私から以上です。
1:09:29	規制庁竹田です。ありがとうございます。それではこの資料につきまして、日本原燃の方から修正方針とあと不開示情報がなかったかの説明をお願いいたします。
1:09:41	日本原燃工藤です。まず、こちらの説明に行きまして、医師会情報の厚木等はございませんでした。修正方針でございますけれども、
1:09:52	まず、9 ページ、
1:09:57	ですね、こちらの代表性液化化試験の代表性網羅性というところに、今回追加した内容の記載、冒頭にですね。
1:10:07	品質管理の部分というところが十分に説明されていなかったもので、こちらの説明の拡充をいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:15	いまして、
1:10:16	16 ページですね。
1:10:19	こちら、はい。
1:10:22	品質管理の方法でございますけども、こちらストックファイルによって、均一になるようになっていて、調整していますといったような内容がわかるように説明を加えたいとございます。
1:10:37	あとそのオオヒガシ推薦だけをですね、こちらの算定の方法というところを追加させていただきたいと思います。
1:10:47	ちょっとあとまたあと、元データですね、R L 値ですね、R L 値につきましては、搭載日が利率が低いところの、
1:10:59	所副、含まれていますといったところわかるように、元データを示す等で工夫して、わかりやすくしたいと思います。
1:11:08	あと 18 ページ、
1:11:12	でございますけれども、こちら今回、机上関係液状化強度判定値を示す方法について述べたところでございますけども。
1:11:22	説明の内容がですねちょっとわかりやすくなるように説明を伺いたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:31	最後に、
1:11:34	20、8 ページ以降の保険白クドウにつきましては、試験方法、あとは採取した1の妥当性であったり、あとは許可との乖離の部分につきましては、
1:11:46	ちょっと検討させていただきたいと思います。説明以上です。
1:11:57	はい。規制庁竹田です。ありがとうございます。
1:11:59	それでは、第一番ゼロイチの確認は以上とさせていただきます。
1:12:06	当審査会后資料、担当の方はまだそろってないのでしょうか。
1:12:14	もうそろいそうでしたら管理官にお声掛けしようと思いますけど今の状況を教えていただけますか。
1:12:20	はい。日本原燃村瀬です。今、ストウオオガキフナコシ、サトウがおりますけども
1:12:27	出血シャーがもう少しできるという状況でございます。
1:12:36	すぐ来ると思いますので、ちょっとお待ちいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:44	すぐということであればこちらも、管理官及びしておられるまで多分一、二分かかるので、もうお呼びしてこようと思いますがよろしいですか。わかりました。それでは赤石岩手いただいて、
1:12:55	はい、すみませんそろいましたのでよろしくお願いします。わかります。じゃあ、お呼びしてきます。お待ちください。よろします。
1:14:07	今管理官来られました。
1:14:15	も入れちゃっていいですか。
1:14:17	ハセガワですけれども。
1:14:22	3個でもらったさ資料2-1とか見てるんですけど。
1:14:31	どんどん悪化してるよね。正直な感想を言わしてもらえると、我々が、
1:14:39	何て言うのかな。
1:14:43	ちゃんと説明してもらいたいなあとと思う。まずは、鉛直方向の影響の、
1:14:49	話っていうのと、あとは、
1:14:55	液状化するとかしないとか、その真ん中に何か解が出てきちゃうのかとかっていう、その二つの話だけにちょっと着目して、トミタ場合に、
1:15:11	もともとね、これ、何にそってやらないといけないかっていうと、皆さんだっさ、去年の年末に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:20	あれだけ一生懸命なんかやって、計画を立てたわけじゃないですか。
1:15:27	その計画通りにちゃんとできてるのかっていうだけなのに、
1:15:33	何だかよくわかんない方向に、
1:15:38	説明がどんどん動いてるような気がするんだけど、いずれにしろそんなこと言ってもしょうがないから、
1:15:48	どうしようかな。
1:15:50	大柿さんいるんですか。
1:15:54	はい。日本原燃和気でおります。はい。うん。そしたらさまず鉛直の方向のさ話っているのをさ、資料じゃなくて大垣さんの口からさ。
1:16:06	簡単に言ってみて、どういう、これす。
1:16:08	した説明シナリオになってんの。
1:16:12	はい。
1:16:14	昨日から宮下県ですけれども、久慈ツガネこれおっしゃってんじゃなくて、全体のシナリオよ。
1:16:23	はい、わかりました。資料の話言ってるんじゃないから、資料なんか見ないで言って。
1:16:29	はい。我々の今の説明シナリオとしてはですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:35	今回、設計モデルを構築して、その保守性だと、妥当性保守性を検証するわけですが、
1:16:45	その元には我々としてその各項目を設定する際に、水平方向の応答に着目したと。
1:16:56	それはをやる妥当性をまず言うために地平成分のですね、企業の割合を、他の指標方向以外の成分と比較して、
1:17:09	まず水平方向成分が無機ようが支配的であることを示した上で、その考えに基づいて設定した各項目について、
1:17:19	妥当性保守性を検証したと。
1:17:23	なんでちょっと冒頭者のCSMの支配的な一つの昨年12月の審査会合の説明に、ちょっと追加してる部分でありますけれども、基本的に妥当性保守性を検証する項目は、前回審査会合の通りでございます。
1:17:37	その中で、保守性のですね、周辺構造物の影響の説明の中で、
1:17:47	我々
1:17:51	支配的だということで、水平方向についてまず考察した上で、その上でさらに円柱構造についても確認するというので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:02	新たに延長確認モデルを構築してですね延長確認モデルと比較によって、鉛直方向成分前、鉛直の応答のですね、影響をし、調べていると。
1:18:14	で、その理由としては我々、ロッキングの影響によるものだというのを、分析した上で、
1:18:22	その、それがですね、最終的に我々が求めている応答値に対してどの程度の寄与をするかということについては、別途、
1:18:35	確認した上で、最終的には、
1:18:38	鉛直応答だけに着目すれば、確かにロッキングの影響のを、
1:18:43	影響小さく評価する設計モデルでは、そこは小さく出るんだけど、その申請が支配的であるということから、我々対応としては、
1:18:54	の、十分その方針の中に、その延長事は小さいというものが含まれることによってですね我々としては、地域モデルをそのまま、
1:19:05	今回の地震応答解析モデルとして使うという結論を導くというシナリオになっております。
1:19:13	言ってることが何かさ。
1:19:15	あんまりよくわかんないんだけどさ、で、今言ったことっていうのはさ、この資料の中にさ、そういうシナリオで入ってるの。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:26	はいそういうシナリオに基づいてここに書いてあんの。
1:19:32	えーとですねまず
1:19:38	資料下と 11 ページ目にですね、
1:19:44	妥当性検証の場建設制の中で、その 3 ポツの四つ目の矢羽根ですけれども、
1:19:52	フレーム杭基礎モリノフジノを構造設計において、追い出し西部の地震荷重が支配的であり、本評価では成果に着目した評価を行い、
1:20:04	妥当性については、3 項中で確認したということでこの 3 項中に、
1:20:11	延長確認モデルを用いた検討とですね。それから、
1:20:17	それが、それ、それを踏まえた上で
1:20:22	参考人ちょっとさせていただくと、38 ページ目ですけれども、38 ページ目の参考 10 でですね、
1:20:33	園長確認モデルによる、確認の結果確かに炎上等だけに着目すれば、設計モデルは、一応確認前に比べると、
1:20:44	鉛直方向成分を小さく評価するわけですけども。
1:20:48	次の 40 ページ目。
1:20:50	ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:51	水平成分。
1:20:53	と、それ以外の成分との比較をした上で、
1:20:56	40 ページ 41 ページですね、した上で、42 ページにまとめておりますけれども、水平成分の寄与が支配的であるということから、我々、
1:21:08	このロッキングの影響を小さく評価する設計モデル。
1:21:14	については、
1:21:22	解析に用いることに問題ないと、最終的にはその確認をですね。
1:21:31	17 ページ以降で行っております。
1:21:38	馬込さんのページを目指しまして、どうぞ。
1:21:42	そうですね。
1:21:47	すいません 7 ページが振って 22 ページですね、22 ページの総合的な検証の中で検証者との比較によって、
1:22:03	はい。ちょっと。
1:22:05	具体的な確認の内容っていうのは 51 ページの参考飛びますけれども
1:22:11	参考の、
1:22:14	16 ですね 51 ページの参考の 16 日と付けましたが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:19	水平成分以外のウノ成分を、応答値として、水平成分に換算した値を炎症モデルと設計部で比較して、
1:22:33	案合算した、応答値としては、CFAMの寄与が大きいために、設計モデルはエンシャムモデルに対して保守的の結果を与えると。
1:22:44	いう結論を導いてそのことを、25ページのまとめ。
1:22:48	書いているということになっております。
1:22:55	なんか全然何かよくわかんない。あっち行ったりこっち行ったりして、
1:23:04	です。ちなみに一切18ページとかに何か機器、意味不明な上下の比較とかしてるけどそれが、
1:23:13	申し上げますちょっとこれは本来、
1:23:17	うち8ページ。
1:23:20	ちょっと消すところメッセところはちょっと間に合っておりませんで。
1:23:24	これは寒いですものでさ、何で我々に見せてるの。
1:23:29	間に合っていないだったらやめたほうがいいじゃん。
1:23:33	はい申し上げます。はい。山野委員。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:42	だからさ、何か突貫とかでさ、何かやってるみたいだけどさ、きちっとしたりさ理解されないままさ、何か我々が中途半端にちょこっとコメントただけでさそこだけ次食ったってさ、それは駄目だろう。
1:23:59	大柿さん、そういう仕事止めにマッシュ止めましょうよってさ、言ったんじゃない。
1:24:09	はい。
1:24:14	シナリオ、従来から大きく変えたつもりはないんですが、だから最初からシナリオがさ、美しくないんだよね。
1:24:29	何かそれっぽいことは言ってるんだけど。
1:24:37	何か変なんだよね。ずっと入ってこないのよ。
1:24:43	別の言い方をするとね、濃度よのどごし良くがまあねのどごしを耳にしたとえね、なんかなるほどなあっていうそういう感じには、
1:24:54	聞こえないんだよねって言うことは何しろ水平と上下を表の寄与率を比較すると水平がでっかいんですって。
1:25:05	っていう感じだよね。
1:25:14	だからそこ全体がさあ皆さんがさ、ちゃんと理解して、そしたら一気に貫でやるのにまた資料があっち行ったりこっち行ったりなんかしてさ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:24	説明のシナリオじゃなくてさ、我々で何ページって何ページってまた戻ってこっちな、最後は現行の 8.2 は何か 50 何ページの意味不明な文章にたどり着いちゃうわけでしょう。
1:25:43	資料構成はさ別にね言わないけれども、でも今回その最初に言ったところからさ、なんかさ我々ずっとこれこの問題でさ何度かさ確認してるけど、
1:26:00	なんか微妙に違ってんだよね。
1:26:09	でね確認するけどさ、そもそもさあ、
1:26:14	年末の時の説明の時には、皆さんもさ上下の話のね、何か書いてたよねちょっと資料今手元にないんだけどさ、一方ねそれと合わせて我々もさ、鉛直の話っていうのは指摘したよね。
1:26:32	はい。いただきます。鉛直方向の地震の影響とかね。影響っていう話と設計の反映っていうさね、すごい大きく言うとき、二つあるのよ。
1:26:45	この、いわゆる設計に使うモデルがまずいいかっていう問題と、それ使って設計した時にどうだっていう問題が二つあってさ。
1:26:55	まず 1 個目の検証の話って言うとき、もともとこの継承モデルっていうのはさ、失点系を使ってるんだよね。建物に対して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:05	なんで上下動の影響っていうのがちょっと出にくいんじゃないのかって いうのが、我々のそもそもの問題意識があって、それは12月の段階で 共有されてたんじゃないかなと。
1:27:18	いうふうに思っていて、それで上下動の中でも特にこのロッキング振動 の影響っていうのが失点系ってやっぱり出にくいんじゃないのってい う、
1:27:30	ところが、そもそも、問題意識があったんだよね。
1:27:35	それはいい。
1:27:37	はい。それにしておりますんでその認識はどこに書いてあるの。
1:27:46	はい。それはですね
1:27:52	はい。
1:27:54	2、25ページのまとめとして書いており、まとめにスタートになくてま とめになっちゃうの。
1:28:06	すいません。そういう意味ではない。スタートにそれが無いのに、何で まとめられるのかがわからないよね。だからね、そもそもですね、今そ んなふうと言われるのであれば、もうおかしいのよ。
1:28:19	説明の連続性がないんだよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:23	はい申し上げたがないんですね 17 ページ。
1:28:27	いやだからね。いやもうね。だから、今のさ、問題意識なりが、一番先にスタート、説明のスタートにないといけないんじゃないのって。
1:28:38	言ってるんだけど。
1:28:41	それはちょっと違ってんの。
1:28:44	大柿さんの、それはちょっと。
1:28:46	大井山崎さんの考えとはちょっと違うんですかって聞いているだけ。
1:28:52	いやおっしゃる通り、スタートにございますちょっとすみません
1:28:57	写真もすべきところですけど 17 ページの設定の考え方の中で、周辺構造物の設定の考え方として、
1:29:04	周辺構造物をモデル化対象としないことで、地震強度を拘束する効果が低下し水平方向の土地は大きいなと考え、裏を返せば、鉛直方向の土地は赤石ないんだよ。
1:29:16	そんな僕ら頭良くない。
1:29:21	だからさ、ね、スタートはそもそもさ、ね、昨年末の、だから前回の審査会合で皆さんが書いたし、
1:29:32	ね、我々が指摘した事項なんだよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:42	それがちゃんと明確になってないとき、何の話してるかわかんないじゃん。裏を返して説明するの。
1:29:50	僕らはこの人は資料の見方っていうのはさ何、裏の裏とかずっとそういうところまで見ていかないといけないの。
1:29:58	根井。
1:29:59	そもそもそしたら説明資料として適当なの。
1:30:11	はい。すいません。そういう意味では
1:30:13	そこがきちんと、今、現状から考えていないのは事実だからスタートがちゃんとしてないからさ、ね流れがはっきりしないんだよ。
1:30:22	こんなの全部oneパートで全部まとめて欲しいよね。だってさね指摘事項への差なりさね、問題点の差ですなその解決なり、
1:30:33	検証結果ね、要するに影響評価なりの結果なんだよね。
1:30:41	はい。
1:30:46	なのにさ、違うところにみんな丸め込んちゃったりするとき。
1:30:51	やっぱわかんないんだよね。
1:30:55	だからそもそもさ、ね、そういうさ、モデル自体がさ、ね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:04	疑義が生じていたわけだよね。こいつ解決しないと全体としてのさねモデルがいいかどうかってわかんない。
1:31:16	話を先に進めるとね。
1:31:19	そういうさ、上下動の影響が出にくいモデルがね、今検証してるわけだよね。
1:31:29	ただこのね影響の程度をとかはっていうのはさ、
1:31:33	ね、皆さんが何かどっかでね、ページであったように門型の方が、割と出やすいよねっていうのは、一般的にはわかるんだよね。
1:31:44	だからそれと、何か比較したんじゃないの、参考資料なんだかで、
1:31:50	そうすはい。
1:31:52	だから流れがそうになってないよね。あっち行ったり、
1:31:55	これも、だからね、上下動の影響が適切に反映できるというふうに考えてる皆さんがね。
1:32:05	ね、門型のフレームと、さらに地下の構造物、どうどうとかの拘束を考慮したモデルと。
1:32:16	と比較してね、失点系モデルが過小評価になっちゃうのか、それーとも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:26	いやそんなことないですよと。
1:32:29	同じように、それなりに、
1:32:32	考慮できてるモデルなんですよとかっていうのを説明しないといけなく てさらに過小評価みたいになっちゃうんであれば、その影響って、
1:32:43	どんな、どのぐらいなのと、やっぱり失点系モデルくっつけたやつじ ゃ、設計できないんじゃないって。
1:32:52	いう疑惑を解消していかないといけないんじゃないの。
1:32:58	そうではい。
1:32:59	だからそれが今回、いやだからそういうふうな作りになってないじゃん ね。
1:33:06	それでね一緒なのか、ちっちゃいのかおっきいのかね。ちっちゃいとこ 大きいだったらどのぐらいのね。
1:33:16	程度問題なのかっていうのを、ちゃんと考察するんでしょ。何かしてん だよね。
1:33:25	はい。
1:33:28	じゃないの。ね。そうですね。はい。でも結果だけ見るとね、当然門型 と支店系だけで、合力みたいな形で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:39	ね、全部一緒ボタンになってる。その応答結果だよね。
1:33:44	ていう応答結果だけ見ちゃうと、
1:33:47	やっぱり支店系モデルっていうのが、の方がちょっとちっちゃい、結果を与えるっていう、そういうことがわかったんじゃないの。
1:33:59	そうです。はい。でもそういう流れになってない電力については、
1:34:04	ね、まず、
1:34:07	だからさっき言っちゃ駄目なんだよ、ゆっくりだからさ今ね、確認だからさ。
1:34:12	ね。
1:34:15	だから、今ね資料はそういうふうな流れに僕ら見えないんですよ。
1:34:22	ここでねどういう結果ね、要するにここはさ、そもそもね失点系モデル。
1:34:30	本当に大丈夫かって言って、ちょっと紋型と比較してますって言ったら、やっぱり典型の方ってちょっとちっちゃいんですよと。
1:34:39	ということなんだよね。じゃあね我々が出店ケースじゃまずいんじゃないっていうさね、というふうにまた疑問をわくところを、いや、とりあえず単にね、応答結果だけ見ないでくださいよと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:56	いうことを言いたいわけでしょ。
1:34:59	なんでそうです。構造物全体に与える影響っていうのはね。全体水平動と上下動の連成Aになるんで、
1:35:10	ね、実態的にどういうふうに、水平と上下がね。
1:35:16	5、56 になってるかっていうのを、そこまで確認しましたっていうことなんじゃない。
1:35:25	はい。そうです。そうするとき、その確認結果っていうのは、具体的にこうですっていうね、そういう説明になるんじゃないの。
1:35:39	それがまたどっかっちゃってさ、何かよくわかんないんだよね。
1:35:48	わかる。
1:35:50	話の順番です。
1:35:52	流れと、はい。
1:35:54	はい。そうするとねそれがそうなんだとね、水平の方が相当ね、支配的になってるんだっていうのを我々に事実を突きつけないといけないよね。
1:36:11	はい。じゃないの。
1:36:14	そうですはい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:17	今度でもさ、ね、水平の方がおっきくて上下ってあんまり無視してもいいですよというふうにはやっぱならないんだよね、この時点ではね。
1:36:29	ただ分かっただけだよ。
1:36:32	わか分かっただけで、
1:36:38	失点系使ってもいいとはならないんだよね。
1:36:42	そこでね、そんなにぼんと飛ばないんだよ。
1:36:46	はい。
1:36:48	ていうところが大事なんじゃないの。まずはね、そこまでの問題意識ってわかってる。
1:36:55	はい。
1:36:58	そもそも、まあね、事実関係としては水平と上下を、
1:37:06	見てみると水平動の方の企業率が高い。
1:37:11	ていうことはわかりましたってことで、あとだから今度はサス具体的な設計ってさ、何なのっていうところだよ。
1:37:22	そういうのも勘案しないといけないんだけど、少なくとも今回、
1:37:27	皆さんは何ていうの設計用モデルって言うのはからすると検証用モデルなんだけどさ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:35	使って設計に使っていいモデルっていうのは、失点系なんだけれども、 水平動の方っていうのは、
1:37:44	そこそこ保守性を持っているんですよって。
1:37:48	ということなんでしょう。
1:37:51	違うの。そうですけど。いやそうです。はい。根井。じゃそのさ、そう ねそれなりの保守性持ってるっていうのは、どこでわかるの。
1:38:03	資料で言いますと、
1:38:07	今の資料で言いますと 40 ページですけども、
1:38:11	45 ページまでいかないとわからないんだよね。
1:38:16	ちょっとすいません。参考に移して、そうじゃないじゃん、これです ね。
1:38:20	うん。はい。
1:38:23	だからさ、いやこれそうじゃないんだよね。
1:38:29	これ、これをもってさ、なのか、これ全体なんじゃないの、今回の検証 全体の話なんじゃないの。
1:38:42	だからそもそもさ、モデル自体がさ、水平方向がさ大きくなるように さ、いろんな配慮したんでしょう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:51	そうすはい。根井。その話がさ全然書いてなくてこれですって言っていました、これ。
1:38:59	これだけじゃないよね。
1:39:04	そもそもさ、5 ページ目見てよ。
1:39:12	5 ページ目はさ、ね、実態を見るとさね実態をちょっとね漫画チックに書くと、改良地盤があったりMMRがあったり、杭があたり、
1:39:25	労働があたりね、そういうことをしてるんだけどね。そうじゃなくて、
1:39:33	すごいそんなのみんなとっばらっちゃって、
1:39:36	ね、応答が大きくな、なるように、いろんなそういうのをやってきたんじゃないの。
1:39:44	だから、最初に言ってるじゃん。皆さんずっとだ、タイトルがモデルの妥当性保守性の検証と書いてあるじゃん。
1:39:52	じゃない。
1:39:54	そうすはい。なのにその説明のすっかさされないままさ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:59	ね、ちゃんとそこでまとめがないままでもさ、一方で、上下動っていうのはね。浮腫性はないところがね、どっちかどちらかっていうと過小評価になってるってということなんじゃないの。
1:40:15	うんそうですねはい。だからさっき言った40何ページがねっ水平方向の浮腫性ですじゃないよね。
1:40:26	今回のモデル全体の話からさ、その説明してもらわないといけないんじゃないの。
1:40:47	はい。はいおっしゃる通り我々モデル自体を性方向が大きくなるように、
1:40:55	作ってますので、
1:40:59	そのことをもっとはっきり書いて、
1:41:05	そうですねで、
1:41:08	具体的な、
1:41:09	考察としては、先ほどの40ページにありますけども、成分のやつで、ページとかみんな捨てたらいいじゃん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:21	だからさ、ね、またさあこれで武蔵良さつくせっかく作ったからって使おうと思うとさまた6でもないことなんだよね。1回捨てた拾えるものは5表からですね、拾ってくるぐらいでやらないと。
1:41:35	そうするとき今のね、話からすると、
1:41:39	製造については、保守ですね、そこそこの補修性を持つように、
1:41:49	モデル億ね組んだつもりですと。で、実際の今回検証してみたところ、これこれこういうふうに、値そこそこ水平動っていうのは保守的な。
1:42:01	評価を与えるということが、確認できたっていう説明を、これは根拠を持ってちゃんとしてもらうんだよね。
1:42:10	まずね。
1:42:12	考察としては、
1:42:14	一方で上下動に関しては、ロッキング振動なんかの影響が、やっぱり失点系モデルっていうのは、ちょっと出にくいモデルであった、これもまた事実だよね。
1:42:30	はい。
1:42:31	違う。
1:42:33	そうすはい。あそこさね、モデル全体をちゃんとさ、ね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:40	俯瞰して言ってもらわないといけないんだよね。
1:42:43	ね。なんだけれども、構造物に全体に与える応答っていうことだよね。
1:42:52	ていうのはそれほど大きくはないのか、大きいのかわかんないんだけど さ、皆さんとしては小さいって言ってんだよね。だからそんな大きくな いことが、
1:43:04	確認できましたっていう。
1:43:08	ということなんでしょう。
1:43:11	そうすはい。だからそこにじゃあね、根拠何って言ったら根拠これで すって。
1:43:19	ていうふうにそうやって説明の順番があるんじゃないの。
1:43:25	はい。
1:43:29	違います。
1:43:32	いや、おっしゃる通りすはい。でもそうになってない。
1:43:38	ただ説明の順序とか、組み立てがさ、ね、資料から見るとあっち行った りこっち行ったりさ。す。
1:43:50	そうやってみないといけないんでしょう。
1:43:53	それが我々にとっちゃう前ね、すごくわかりづらいよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:00	そんなそんなくなんかできねえし。
1:44:08	じゃないの。
1:44:10	ね。そうですね。それでも別にさ、
1:44:17	善し悪しについてはわかんないんだよね。
1:44:24	結局今は事実だけがわかってるだけだ。
1:44:28	だよ。このモデルって本当にいいのか。
1:44:32	ていうと、
1:44:34	実はわかんないんだよ、ここではね。
1:44:40	事実だけはわかったんで、少なくとも、何かよくわかんないけど適当な地震は2は選んでやった結果がそうであっただけ。
1:44:53	これたまたまかもしれないし、
1:44:56	よくわかんないんだけど、何となくね、ロッキングの影響っていうのがそういう値がどう拘束効果とか、それからモデル上、
1:45:08	ロッキングしやすい形になってるとか、なんだけど、それはすべての地震に対していえるかまだよくわからない。
1:45:17	理由だけでね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:18	あと、次にさ今度設計にそれをさ本当に使っていいかどうかっていうのを、ここで改めて。
1:45:27	考察をちゃんと加えないといけないんじゃないの。
1:45:32	それがさ、結果なんじゃないの。
1:45:35	検証のね。はい。
1:45:39	そうするとき、ね、設計って何っていうと、この竜巻防護ネットの加工の設計っていうのは、最終的には当然、
1:45:49	竜巻キーのネットがさ、あってそいつちゃんと守れないといけないよね。それに耐えられるっていう意味では、竜巻荷重と、
1:45:59	そういう面になんかさ、飛んでくるもの。
1:46:03	とかそういうものに対してちゃんと個別加工たっていないといけないよねっていう話と、それから少なくともS sの地震動をね、
1:46:13	に対して、冷却塔に影響を及ぼさない。
1:46:18	ていうデコイIIを達成しないといけないんだよね。
1:46:26	最初に梅津これ最初に戻るわけよ。
1:46:29	それと今回の検討結果だよ。
1:46:34	ていうのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:37	ね、設計でどう考えるかだよね。少なくとも現段階では、そんなに上下の影響を大きく、よもともと水平が支配的になっていて、
1:46:50	水平、動に対して、それなりの保守性を持ってから、せえでさらに上下動がそんなに影響してないから、
1:47:02	何か自分たちとしては設計に使えるんじゃないっていう、そういうことなんだろうね、きっと。
1:47:11	うん。はいそうです。
1:47:12	だからそういうね、事実関係を理解した上で、使えば、
1:47:20	その結果、
1:47:23	これを使って設計する時の、ある種、留意点だよね。
1:47:29	水平は保守的かもしれないけど、上下はそうになってないから、
1:47:35	これで、このモデル使って設計するときには、そういうことをちゃんと理解して、計算結果なんかを見ないといけないなあと。
1:47:47	いう、それを見て総合的にね。
1:47:52	そいつらをこうね、どう判断するか。
1:47:57	ていうところを、
1:47:58	設計の段階で改めてちゃんと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:02	吟味しないとイケないと。
1:48:05	そういうことをすればこのモデルを使っても、
1:48:09	差し支えないんじゃないかっていう。
1:48:13	そういうことなんじゃないの。
1:48:17	はい。そうだと思います。はい。だから今の笹尾でそうですって言うてもさ、そんな考察どこにも書いてねえじゃん。
1:48:29	今書いてないですからね。それを書いてない false を持ってなかったからさ、ね。だからシナリオがおかしいって言うてるんだよ。
1:48:39	だからこの話付簡単に言うとね、何かさねいろんな簡略化したモデルっていうのを、設計に使っても大丈夫かどうかっていうのを検討してきた。
1:48:50	なんか水平の方はそこそこなんか補修でキーに、
1:48:56	なんてそうだし、いいんじゃないかみたい、結果はこう見えたわけだよ。一方で上下っていうのは、ちょっとそれ過小だよってのが、結果として見えちゃったんだけど。
1:49:08	ただね、過小かっていうと、いやいやそんなことなくて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:14	ね、その比率見てみると、実は対比上下ってそんなに効かないんですよ。
1:49:20	いうことだよね。でもやっぱり過小にはなってるんで、これで設計するにあたっては、そういうところの計算結果の見方っていうのは、そういうところにちゃんと留意して、
1:49:33	確認しないといけない、要するにそういうことをすれば、このモデル設計に使っても大丈夫なんじゃねえかなと思ってスっていう、そういうことなんじゃないの。
1:49:45	はい。
1:49:46	そうだと思います。はい。でもさっきそんな説明してないじゃん。
1:49:54	だからね、最初に説明してもらったね、大柿さんのシナリオ東北が今ね、確認してたシナリオは随分違っちゃったよね。
1:50:05	途中のパーツはさ、ね、おなじ品物使ってるけどさ。
1:50:11	結論がまるで違うじゃん。
1:50:25	結局さ最後の総合的に判断するっていうのは、じゃあなんで総合的とかっていうと、今言った留意点っていうのをよく見ないといけないよね。そうすると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:35	今回の場合ってというのは、要は波及的影響を与えないってことを、 が確実にちゃんとね、担保できることを説明するわけだから。
1:50:46	確保全体として見たときに、S s に対してどうなのと。
1:50:53	その時にロッキング振動のその過小な部分も踏まえて、この設計のク イテリアってというのが今どこにあるかわからないけれども、少なく も、
1:51:05	ね、
1:51:07	弾性を保持しなくてもいいかもしれないね。多少、組成したとしても、 こういった倒れたり、何か要するに、
1:51:17	冷却塔に影響を及ぼさないということが説明できることだから、そこと の関係で、
1:51:25	この上下動が過小に、
1:51:28	出てしまうかもしれない、いことを見ていくんですよって。
1:51:36	何かそんなことなんじゃないの。それはだから今度は設計の時の考察と して、そういうことをやりますというのが、モデルの検証での、
1:51:48	まとめだよね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:50	まとめの総合的といったところの、若干そこに具体性を加えると、そんなようなイメージ。
1:51:58	なんじゃねえかなあっていうのがね、皆さんの資料を見て、すげえ忖度して、
1:52:07	ね。
1:52:08	浦野浦野浦野儀間でさ目読み取るとすると、
1:52:13	ね、そんなふうになるとどう言いたいのかなあって思ったんだけど。
1:52:19	なんか大柿さんが違ったんだよね。
1:52:27	はい。
1:52:33	もうその設定の前の段階一方では対一の中で設計モデルの妥当性保守性を言い切らないといけないという、
1:52:43	考えて後、シナリオ作ってたもんですからちょっと。
1:52:46	はい。最後の結論ところで口上げてしまいました。いう結論だけじゃないじゃん食い違いは、だからし、結局シナリオ全体なんだよ。
1:52:57	ね。だからね、結果に食い違いが出るっていうのは、それはちょっとおかしな話なんだよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:04	ね。それは最初からさ頭からさ、ねおかしいから違う結果うんじゃうんだよ。
1:53:20	だから計画とかそもそものね、このさね上下動がもしかしたら個別過小評価でうねだから問題視してたんでしょ。
1:53:30	だからやっぱり問題は問題なんだよ。
1:53:35	ね、問題は問題ないんだけどね。よく吟味してね考えて、もし仮に設計、13%全部やったもんやっても、
1:53:47	同じようなことになればね、その結果は、設計に使ってもいいかもしれないなあという、そういうことなんだよ。
1:53:58	失点系のモデル使っても大丈夫だなんて誰も言ってないよ。
1:54:06	ね。
1:54:11	こいつ過小評価するかもしれないという、そういう怖さをちゃんと理解した上で、見ないとね、駄目だっていう結論なんだよ。
1:54:23	でもね、はなからね使っちゃいけないっていうことまでも、
1:54:28	ないかもしれないなど。
1:54:32	いうそういうことなんじゃないの。
1:54:37	はい。だから問題があればねそこの食い違いなんだよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:00	違うの。いや、だからさ、ね。
1:55:03	はい。どっちが正しいのよ。大垣さんが最初に説明したさ、話土佐奥確認してってさ、違っちゃった話とさ。
1:55:13	原燃はどっちなのよ。
1:55:22	すいません、目指す方向は一緒だったはずなんですけどちょっと、
1:55:28	私の説明が行きつ戻りつっていいですか
1:55:32	大分、でもさ、行ったり来たりしてもいいんだけどね、所詮結論違ってたじゃんっていう。
1:55:43	どこ行って何したってさ、ね、一気に説明したって結論違うし、最初から思いも違ってたんだけど、どっちが正しいんだって聞いてるだけだよ。
1:55:56	はい。芦川管理課のシナリオは正しいと思います。正しいの正しいっていうのは、何だかよくわかんないんだけど。
1:56:03	大柿さんはそうやって思ってたけど説明がうまくできなかったの。
1:56:09	そうではないと思うけどね。
1:56:12	はい。資料に反映したのがすべてですので、資料がわかりにくいということは、とりもなおさずやっぱりシナリオ自身が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:23	正しくなかったってくれると思います。
1:56:27	いいよ。
1:56:30	行ったり来たりしてるっていうことやっぱストーリーなった説明をねそうそう。
1:56:36	だからさ、これはただ一つの問題としてさちゃんと片付けないとね一連の流れの中で、しっかりちゃんとよね考察加えて、
1:56:46	やってもらわないといけないということですよ。わかった。
1:56:50	これで窓口にやるんだったら、また同じことを、審査会合でやればいいだけだから、それはそれでいいですわ。
1:57:00	次の問題ね。
1:57:03	次の問題はS A A S下さ、これさ、ね。
1:57:08	原燃はさ、ね、透磁率F A Xの。
1:57:13	うん。そういうふうに今俺ですね。
1:57:15	資料見る限り見えたんで。
1:57:22	はい。
1:57:23	9 ページ、31、35。
1:57:27	何ページだっけ、21 と 1315 が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:32	そうそう。
1:57:33	21 ページとき。
1:57:36	35、5 ページだけで我々は 35 ページってやつ方ねまず優先され、これ 計画だからね。
1:57:47	岡崎さんね。
1:57:49	はい。これ去年でねっちゅう間に収まることを確認しますせて、何か 二、三日前の資料見るとさねエイトマンなかーのさ、BワンとかBツー っていうところはさ、
1:58:03	なんか一部さ、ねえ、液状化とか非超過よりさ、何か数値的には大きか ったりなんかして姿出てたんですと、今日見るとさみんなそんなのな くなっちゃってるけどいいと。
1:58:17	いえ、委員会社会です。
1:58:20	これも先ほどと同じ考えで、まず水平の企業が支配的だということを確認 したことをもって、御説明は、
1:58:32	はい。いや、だからさあね、全然そんなのさ、なんかね論理だってねえ じゃん。そもそもまずさっすね水、今の鉛直の話。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:42	ただでおかしくなっちゃってんだからね。もうこのストーリーが駄目だ っていうことはわかったよね。
1:58:49	はい。
1:58:50	じゃない。
1:58:53	少なくともさね、結果から見たらさ、B一部差はね、BワンとかBツー 数字だけ見たらさ、
1:59:01	ね。
1:59:02	おっきい結果与えてるよね。
1:59:06	はい。
1:59:07	でしょ。
1:59:08	ええ。
1:59:11	それに対してさ、ね、ちゃんと真っ向からさ、ね、下。
1:59:18	技術的な見地からさ、考察がされてねえじゃん。
1:59:23	事実関係各社っていうんじゃ。
1:59:26	だからもうこんなのはさ、もう当日さ、事実隠したのかっていうしかな いよね。
1:59:40	そういう意図は全くなかったんですけどすみません

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:44	<p>ちょっとこちらが考えが非常に浅はかだったと思います。だったらさねそのままね、これでやるしかないよね。</p>
1:59:56	<p>弁解があるならさ、審査会合の場で、ちゃんと言ってもらうしかないんじゃない。</p>
2:00:07	<p>少なくともさね皆さんをさやりたいことっていうのは、少なくともネイビーワンとかBツーっていうところに、設計的に、</p>
2:00:20	<p>設計上なんてのかな配慮しないといけないような、要するに設計上のインプットだよ、こいつのアウトプットだよ。</p>
2:00:29	<p>解析上のアウトプットってのは設計上のインプットになるんで、設計上のインプットオガセ、具体的に設計でマルかバツかを定めるわけだから。</p>
2:00:39	<p>それに対して、この状態がBワンとかB IIという状態のものが、設計に寄与してしまうのかっていう。そこんところをしっかりさ、やってもらわないと考察してもらわないといけないわけでしょ。</p>
2:00:54	<p>だから、少なくともBはBツーっていうのは、設計上配慮する必要がない。</p>
2:01:01	<p>がないかもしれないかもしれないけどね。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:06	そうしないと全部4ケースまでやらないといけないからケース数減らすためには、この段階で、この状態はありえないんだと。
2:01:16	いう考察をしてもらわないといけないよね。
2:01:20	ね、論理的に考えてこの会は、ここに甲斐が来ることはありえないって というのが、まず多分最初のね命題なんだよね。
2:01:30	その次に、液状化した方が、非液状化のどっちにかた眠くんですなの か、両方を変えを与えるケースがあるんですなのか、それよくわかんない んだけど。
2:01:44	ね。
2:01:47	この江田935ページの、何か想像図だけを見るとね液状化。
2:01:53	するケースが最も厳しく、すべての中で厳しいケースを論理的に与える んですよと。
2:02:01	ということが考察できれば、
2:02:04	設計で使うのは液状化だけのケースを使えばよくて、そこで出た結果に ついて上下動の影響というのを、ちゃんと結果出てきたときに、
2:02:16	しっかり考察して設計的に大丈夫かどうかというのを考察すればよく なるよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:24	はい。
2:02:24	なんかそういうところがさしかりさ、ご説明できてないじゃん。
2:02:31	ね。一番大事な数字隠しちゃってんじゃん。
2:02:36	ね。だからもう、こんなのはもうさあ、話にもなんないよね。
2:02:46	はい。
2:02:47	何か限界あるの。
2:02:51	いや、数字を出したことについてはちょっと、誤りだったと思います。 はい。ただ結果としてですね必ずしも液状化の場合に、
2:03:02	すべての土地がMACCSとは限らなくて、液状化でMACCSとるものもありますので、当社としては何だっていうんじゃ我々は、
2:03:12	中間中、喜多っていいんだけど中間地区とその中間の中間の間じゃないのかっていうそういう議論がね、常に存在してるわけだから。
2:03:23	ね、少なくとも皆さんは真ん中を期したいわけでしょ。
2:03:29	はい。ね真ん中消したいんだったら、ちゃんと真ん中はありえないんだっていう。
2:03:35	考察をしっかりしないとイケないよね。そういう客観的な事実をもっと基づいてね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:42	はい。
2:03:49	でもその客観的な事実っていうのが、何か強いオペラからめくったところではなかったよね。
2:03:57	ないどころかその考察がまるでねえじゃんっていう。
2:04:02	一番大事な考察がまるでないじゃんっていう。
2:04:11	ていう印象なんだけれども。
2:04:19	それは正しいの正しくないの。
2:04:24	えっとですね考察については、
2:04:28	4344
2:04:32	45 に、一連の考察を、4344 です神野せてるんですが、ざっくり集い、
2:04:45	えっとですね当社中間状態、いわゆるBツー
2:04:51	は、
2:04:52	最大応答の分布ですとか或いは過剰感、間隙水圧分布でも、中間状態にあると、ここはよくない。
2:05:03	いうことを示して、
2:05:08	あくまでも中間状態が、最大値があっただけで、何か意味不明だったんですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:21	だからさ、なんかさ、思いだけが先行しちゃってんのよ。
2:05:26	上下にそうなんだけどさ。
2:05:29	思いだけ先行したって、伝わらないですよ。
2:05:35	だからさっき言ったさ、丁寧にね、事実関係をさ積み重ねてさ。
2:05:41	音でやってかないとさ、さっき上下でやったじゃないですか。
2:05:46	ねえ、同じようにしてさ、考えていかないと、丁寧にやってそれでそれをねあと事実を置いていくだけだから。
2:05:59	だからまあね、浮かれ言わせるとこの問題はね問題が隠蔽されるような資料構成になってる時点でね、もう焦点が当たって、
2:06:11	あたってないわけですよ、光がそこに当たってないのよ。
2:06:19	それを回避するようなね、何かグチョグチョした説明でしか見えないんですよ。
2:06:29	いずれにしろさ、もう月曜日だからどうする。
2:06:35	すみませんもう一度ちょっと見直しをさせていただければと思うんですけども資料見直しを、
2:06:42	どうすんの。
2:06:44	そういう意味では、ちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:47	昨日ののヒアリングに応じた資料をベースに、表のヒアリングで渡さない。
2:06:55	にね同じこと言わせるんね。だから今まで作った資料なんて、もうさあ使わなきゃいいじゃん。
2:07:05	だからなんでちゃんと最初から組み立てようと思わないの。
2:07:13	だから最初からちゃんと組み立て直してね、そこに客観的な事実を置いていくね。その客観的事実っていうのが今までの資料の中にあればそれ使ってもいいけど。
2:07:27	ね、今までの資料を何か小細工しようと思ったら、それは無理だよ。
2:07:34	だってやり方がおかしいんだもん。
2:07:39	パッチワークを当てようとするところくなことにならないですよっていつも言ってるじゃん。
2:07:45	今日も言ったよね。
2:07:47	はい。
2:07:49	ね。だからもう大垣さんがそういうふうなサージ管ないからとかさ、ねそんなふうに思ってやるとね結局時間がないから中途半端な資料で申し訳ないって言って。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:01	ね、中途半端な資料はねと。
2:08:05	プラスにはならないんだよ。もうマイナスでしかないんだよ。だったらそんなのやんない方がよっぽどマシなんだよって。
2:08:13	これでやろうよ。
2:08:17	これでやればいいじゃん。
2:08:23	だってそれ、そういうのを出してきたんだから。
2:08:26	これで自信持ってやってくださいよ。
2:08:33	はい。
2:08:40	だって大柿さん責任持ってこれやったんでしょ。
2:08:45	はい。そうですね。だからこれは原燃の医師なんじゃねえ。学校の資料は。
2:08:53	だったら、医師貰けばいいじゃん。ちょっと僕が事実確認してやっぱりそうですとか言ってさ、ねえ。
2:09:00	そんなろくに資料見てない人間からさ、ちょこっと言われただけでさ。
2:09:06	ねこのトピック言われたらそれが現年なんだよ。
2:09:16	大柿さんの慎重さが相当欠けてるんじゃない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:21	大柿さんもさみんな一緒なんだよ。結局、早くやりたいとか結論急ぎ過ぎてさね。
2:09:29	どんどんどんどん、何かおかしな方向に行っちゃうんだよ。
2:09:36	毎回言ってるじゃん丁寧な仕事をしてくださいねって。
2:09:55	だから毎回さ、なんかさ、ね、ちゃんと上手に丁寧な仕事してさ、ちゃんとやればさ、ね。
2:10:05	大きな話にはならないのかさ、結局何も進まないで1回が過ぎていく。
2:10:11	今回もまた一緒だよな。
2:10:20	だから、急がば回れとか丁寧な仕事をしてくださいねってさ、根井もずーっと言ってるのにさね。
2:10:29	結局岡崎さんもさおんなじさ部類に入っちゃったわけだよ。
2:10:38	残念だけがそういうことで、
2:10:43	資料出しタケダしてもいいけどさ俄で作ったって、ねえ。はい。
2:10:51	ね。そんな上手くいかないですよ。
2:10:57	恥かくだけだよ。
2:11:03	はい。ただ白杵でもいいけどさ、それを皆さんとさ、内野担当と話し合ってくださいよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:12	はい。
2:11:13	所詮ね。うん。
2:11:15	土日使ってさ何か資料作ったって所詮それはそんなもんだぜ。
2:11:28	ちゃんとさ、なんかさ、結果をさ、しっかりさあね、受けとめてさ、考察しない限りさ、自分たちの力でさ。
2:11:38	いろんな、
2:11:39	そういうね、結論を導いていかないと、
2:11:43	説明の時にはまたさおかしなことになっちゃう。ちょっと変化球つけた質問でもしたらさ、それは1頃じゃないの。
2:11:55	我々は皆さん以上にさ皆さんから出てきたデータであるけれども、多分皆さん以上に物を見てるかもしれないよ。
2:12:06	だって我々審査だからさ、最終的にはさその善し悪しをさもし90つけたときにはね。なぜ0がいいかについて、我々は根拠を持ってちゃんとさ、
2:12:17	説明できなきゃいけないんだからさ、その意味では皆さんと一緒にだ。
2:12:27	だから、丁寧に、1個さ、納得いくまでちゃんとやるんだよ。
2:12:35	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:37	ちょっと他社に丁寧さが欠けていた。
2:12:40	思います。
2:12:45	やめるか、
2:12:48	そんなふうで、すみません
2:12:51	それにしても、でもいいし、
2:12:56	あとは、末永本橋田井。
2:12:59	うん。これは何でもいいよ。
2:13:03	すみません。日本原燃の須藤でございます。はい。すみません今回お出しした資料がとても
2:13:13	変な形になっていて大変申し訳ありません。ありがとうございます。入口委員。はい。
2:13:19	井手いや入口のところですね、手出しをちょっと開き違えているところがありますんで。
2:13:26	この資料につきましてはですね差し、主、ちょっと修正いたしましてです、再度出させていただきたいと思います。
2:13:37	で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:40	その修正の段階ですとてもちよっと追いつかないという話であれば ですとてその時はまたちよっと考えさせていただこうかなと思いますの で、
2:13:49	ちよっと今回出した資料に関してはですね、1回取り下げさせていただ ければそれはないんですよ。それやってみて、我々も意見しちゃったか ら、取り下げるはない。
2:14:04	いや、取り下げて修正させていただければ、修正はよくわかんないけ ど、31日の審査会合に、事務的に間に合うのであれば、
2:14:16	それは排除しないのかもしれないけどこないだみたいに、分ね、負を争 うようなことでさうちの人間をさ、
2:14:26	どたばたさせないでくださいね。
2:14:30	はい、わかりました。
2:14:32	はい。その辺はしっかりと、それを後さ、何か問題を履き違えてたと言 うけれども、この話はそもそも、
2:14:43	昨年の末の審査会合の中で、
2:14:48	原燃みずからが説明したのに対して、その結果を示してるだけだか ら、そもそもそこがもうおかしかったんじゃないのって。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:59	というふうに、言いたくなっちゃいますよね。
2:15:03	経緯からすると、そう思われても仕方ないんじゃない。
2:15:08	だから結局原燃は本当にこの問題を理解していたのか、我々の問題意識。
2:15:15	見ているのを理解していたのかってところが、多分最大の問題なんですよ。
2:15:27	だからそれをしっかり理解するしない限り、この問題は実は左舷年では解決できないかもしれない。
2:15:35	かなと思ってるので、いずれにしろちょっと事務的に、洞道だったら、これ修正を、間に合うのかさ、その辺の事務的な話はちょっとしてもらえばいいと思いますけど。
2:15:49	直したいんでっていうんであればそこの配島ではしないです。
2:15:54	ただ、限度ありますよと。
2:15:58	それと後、もらった資料は、ちゃんと公表はさせていただきます。
2:16:08	はい、了解しました。はい。
2:16:10	あとは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:11	事務的な話はよろしくお願ひします。ありがとうございました。ちょっと4時間、
2:16:18	はい。
2:16:30	こちら本庁会議室です。今、管理官は退席されて、今、
2:16:36	会議室のキシノ1人となっています。
2:16:42	規制庁の竹田です。
2:16:44	それでは、
2:16:47	今後の進め方はどうしましょうか資料の修正にも入らないといけないということにはなるんですけど、原燃から、
2:16:55	ちょっと今日どうするかなど、
2:16:58	提案ございましたらお願ひします。
2:17:05	治療基準。
2:17:09	はい原燃の沖でございます。
2:17:12	うん。
2:17:13	今日どうするかということですか。
2:17:16	結果資料を読む取り扱いいいということでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:22	成長だけですね、資料の扱いにつきましてはこの帳じり知る会合資料としては本日のヒアリングでの資料として使わせていただくんですけど。
2:17:33	今日この後のヒアリングで、メニューがまだ残っているんですけど。
2:17:38	予定通り進めてもいいでしょうかということです。
2:17:50	日本原燃村野です。
2:17:52	資料、審査会合資料関係とメンバーが異なりますので、ヒアリングは
2:17:59	急崖たところから再開させていただければと思いますが、よろしいでしょうか。
2:18:07	城野竹田です。衛藤規制庁メンバーもそれでよろしいでしょうか。
2:18:19	施設を作るですけども、
2:18:21	今、
2:18:22	ウランおっしゃ通りこちらメンバー違うということなんですけれども。
2:18:27	規制庁の方は、審査会合の御説明資料確認する。同じ人間がやっているので、
2:18:33	これから市町直されるということになると、我々も会議に向けての準備をやり直さなければいけない、なることが想定されるんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:42	その点は配慮してもらえますでしょうか。
2:18:45	はい。日本原燃村瀬了解いたしました。ご都合に合わせます。
2:18:51	あと、ちょっとこちらの都合次第ということになるかと思うので、
2:18:59	堤です。ということであればちょっと時間内ですね、ヒアリングに時間超えているので、一旦休憩して、休憩挟ん後でちょっと方針を聞かせてもらうということよろしいですか。
2:19:11	はい。かしこまりましたありがとうございます。それでは休憩時間を決めていただけますでしょうか。
2:19:16	十分程度でいいですか。
2:19:18	16 時再開ということでお願いします。はい 16 次お願いします。
2:19:26	はい。竹田さんお願いします。
2:19:28	はい。規制庁武田です。それではすいません録音の停止をお願いします。
0:00:01	はい、録音開始しました。
0:00:05	原子力規制庁の竹田です。それではヒアリングを再開いたします。
0:00:10	それでは次の確認資料としましては耐震建物 21 になります。こちらの資料につきまして、原燃の方から説明をお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:21	はい。日本原燃の安保でございます。
0:00:24	資料番号耐震建物 21 R5、令和 4 年 1 月 4 日に提出したのになります けれども、
0:00:31	燃料加工建屋の隔壁に係る変更点について説明の方させていただきます。
0:00:37	表紙の方にも記載をしておりますけれども、重要区域については記載 を、
0:00:43	本文の方に概要を記載した上で詳細については別紙の方に記載するとい うように
0:00:49	工数の見直しを行っております。
0:00:51	あと全体的に記載の充実化等を行っております。
0:00:54	説明としては以上となります。
0:01:01	清町の竹田です。ありがとうございます。それではこの資料につきまし て確認がありましたらお願いいたします。
0:01:09	はい。よろしいですか。規制庁浜崎です。私の方から 1 点なんですけど 36 ページ。
0:01:15	静的地震力の算定方法の新旧の比較の話なんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:21	基準面のところなのですが、これ資料、今回施設工事のところ、前回の資料はですね基準面が確か地表面相当とかいう表記になってたと思うんですが、今回地上1階床面相当というふうに改めてます。それで、
0:01:36	ちょっと確認したいのは、今回の静的地震力の算定はどのようにされているのか。要は、基準名よりも下ってというのは地下振動を使うと思うんですが、
0:01:49	実際これ、TMS L 56.8円って、GL面より1.8メートル上がってますよね。そこも地下振動式を使って計算してるんでしょうか。その点説明してください。
0:02:20	わかんないですね。
0:02:22	はい。日本原燃の菅原です。すみませんちょっと確認の上、ちょっと回答させていただきたいと思います。
0:02:32	はい。規制庁ハバサキつちょっとわかんないという声が聞こえたんですけども要はですね基本は基準面GL面ということで、静的地震力って判定するもんです。
0:02:45	場合によっては、基礎上にするだとかいうこともあるんですがそれは基本的に保守性という観点で、そういう先行例があるんですけども、今回、実際のJNNよりも上がったところを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:00	基準面にしたことっていうのは、それは保守的なのも、あの表設定にな ってるのかどうか。
0:03:06	で、側面地盤ばねの扱いだとかもあるので、ちょっとこの静的地震力を 今回設工認でどうやって設定してるかということに関して、
0:03:17	詳細な説明を次回してもらいたいと思います。
0:03:21	よろしいですか。
0:03:24	はい。日本原燃菅原です。はい。承知しました。
0:03:30	はい。規制庁浜崎です次回といいますか、準備ができれば説明の方お願 いします。私からは以上です。
0:03:41	武田です。その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:03:49	藤規制庁カミデです。9ページの記載、今回追加になったところすけ ど。
0:03:57	書きぶり。
0:04:00	が、主に、
0:04:01	になってるところなんですけどこれ、変更内容っていうのは確か2、既 設工認、カラー、
0:04:10	の変更っていうとこういう書き方になるかもしれないんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:16	確認ですけどもともと安重の範囲っていうのは、
0:04:21	新規制基準以前の前から、安重の範囲。
0:04:26	は決まっています、
0:04:28	今回、極新規性基準の許可においてそれをS+だっってこう明確化したっていうそういうことなんですよね。
0:04:41	はい。日本原燃の安重でございます。はいご認識の通りでございます。
0:04:50	規制庁深見です。なので前の工認の時も、Sとわざわざ言っはいいなかつたけど、その部分系の安重とし、
0:05:01	物、物として、ちゃんと設計してたっていうことで、今回改めて耐震クラスが明確化したっていう、そういうことです。
0:05:14	はい。日本原燃安重でございます。はい。
0:05:17	秋にこの際から安全上重要な施設にしていたというところは変わらず、今回、耐震重要度分類をSクラスと明確にしたというところで、はい、変わりありあという認識では問題ございません。
0:05:30	はい、規制庁カミデです。そうするとな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:34	中身としてはもともとやっていたことの明確化みたいなところだと思うので、ちょっとその辺りがわかるように書いてもらえばいいと思います。今の記載だと、
0:05:47	もう重要度分類とかいろいろ変わりましたみたいなように見えてしまいますので、
0:05:54	ちょっと下全体の書きぶりですかね、そういうふうにしてもらえればと。
0:05:59	と思いますが、よろしいですか。
0:06:03	はい。日本原燃の安保でございます。はいそういった趣旨がわかるような記載に見直しをさせていただきます。
0:06:11	はい。規制庁深見です。なるべく丁寧に、既許可の分類表はこうなっていて、
0:06:18	新しい許可の、分類表がこうなっていてそれに対応してるっていう形だと思います。
0:06:26	なのであれですよね 9 ページの一番上にプルトニウムを非密封でって書いてあるところも、これも重要度分類表の言葉そのまま持ってきたと思えばいいんですよね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:41	はい。日本原燃の安保でございます。はい。そちらからもできております。はい。
0:06:50	はい、規制庁カミデですわかりました。
0:06:53	あとそういうことであれば、もう一つ質問なんですけど、
0:06:59	閉じ込めで言うと、
0:07:03	閉じ込めの条文に行くと工程室っていう言い方をしている、
0:07:08	耐震は重要度分類との関係で、
0:07:15	この重要区域って耐震で名称を売ってますけどその範囲になってますけど。
0:07:20	Jを区域以外の、次工程室の閉じ込めの範囲みたいなところですよその辺はどのような重要度。
0:07:30	になってるんですかね。
0:07:33	はい。日本原燃の安保でございます。単純に工程室と言った際には、この粉末を取り扱うグローブボックスを設置する部屋だけではなく燃料分を取り扱う部屋とかも生まれてくると。
0:07:46	いうところで重要区域との間違いがあるということになっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:55	はい、規制庁カミデです。その辺は、Cクラスに当たるっていうことで すか耐震って話をすると、
0:08:30	あ、すいません日本原電イトウです。
0:08:34	兵藤からご説明してますように重要区域、安全なところについてはSク ラスになっておりますけれども、
0:08:41	それ以外のところでは、遮へい能力あるところはBになるんですけど も、それ以外のところはCクラスになると。
0:08:48	いう整理になります。
0:08:54	はい。
0:08:55	藤規制庁カミデです。わかりました。
0:08:59	大体、あとですね、1点気になるのが、
0:09:08	今回、
0:09:10	9ページの説明は、床、壁、天井三田の、
0:09:17	コンクリートの話をされてるんだと思いますけど。
0:09:22	その扉とかですね。
0:09:25	その変形。
0:09:27	どういう扱いと考えてますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:34	はい。日本原燃の安保でございます。
0:09:37	扉等に関しましては
0:09:41	松江奥井の取り込みに関しては期待をしていないというところで、あくまで真壁。
0:09:48	を対象ということに考えております。
0:09:54	規制庁上出です。要は扉がなくても閉じ込め性が担保できるとそういう考え方をしてるってことですか。
0:10:15	はい。日本原燃の安保でございます。
0:10:18	こちらの重要区域につきましては重大事故時においても
0:10:22	用意の上しがたいというところでして、重大事故が火災による、
0:10:27	火災の駆動力による、
0:10:30	粉末脳
0:10:32	移行というところになりますので、
0:10:35	基本的にMOXの監査役も、
0:10:38	そんなにそれほど大きくないということも踏まえまして扉等に期待しなくても、閉じ込めは担保できるというふうに整理をしております。
0:10:49	藤規制庁カミデです。さっきDも同じ話ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:58	はい日本原燃の郷でございます。D Bにおいても同様でございます。
0:11:06	規制庁カミデです。だんだん耐震から離れてきたので耐震性っていう意味では当然やる、R Gで担保っていう感じはするんですけど。
0:11:18	本当は、
0:11:20	私のイメージしたのは当然扉とかも、やっぱり閉じ込め性っていうのは、機能を持っていてと。
0:11:26	いうことなんだけど、今回燃料加工建屋の申請においては、構築物R Cのところだけでそれはまた、
0:11:37	次回で説明っていう感じなのかなあと聞いてみたんですけど、ちょっとイメージと違ご回答だったので、
0:11:46	その辺、また、私の閉じ込め関係の基本方針とかも見つつですね、そのヒアリングに出て何かあれば、聞いてみたいと思います。
0:11:58	私の方からは以上です。
0:12:03	規制庁の田尻ですと、今の説明の絡みなんですけど、今別途出てくる案というの資料を見たときに、一応、
0:12:12	栗城野末平面図が書いてあって四角学校のところが安全上重要な施設の範囲ですよっていう形になっていて、そのところだと別に壁だろう

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	が扉だろうが意識困ってるようにも見たんですけど今のお話の安重でもないという話ですかそれとも体制
0:12:27	の関係でそうだったんですかねなんかちょっといけないって意味がよくわかったんですけど。
0:12:39	すみません日本原燃の伊藤です。
0:12:42	今の整理ですと扉については安重ではないというふうな整理で考えております。はい。
0:12:52	伊勢小太刀です。今出てきてる間の資料で何か今回添付みたいのが生活されていて、そのところでの線引きはそうならないような気もするので、近田池谷。
0:13:02	または有のヒアリングをやると思うんでその時でも構わないので審議についてまた説明いただければと思います。少なくともこの以下の部屋で構成する区域っていった時にとびあがのぞけるような記載に萬上なんてないような気もしていたので、そのあたりどう考えてるのかっていうところは、また説明いただければと思います。
0:13:19	はい。日本原燃伊藤ですはい、了解いたしました。
0:13:34	規制庁竹田です。その他規制庁側から確認ございますでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:44	よろしいでしょうかそれでは原燃の方から、むしろについての修正方針と不開示情報発言がなかったか、確認をお願いします。
0:13:54	はい日本原燃の安保でございます比嘉情報についてはございません。あと、修正といたしましては、
0:14:02	当事業区域の設置変更内容の出だしの部分につきまして、
0:14:12	当間。
0:14:13	もともと大木2課からやっていたことを、耐震クラスについては明確化したといった趣旨がわかるようになるべく丁寧な記載をするというところで修正をしていきます。
0:14:23	以上です。
0:14:25	何件目の春原です。それから静的地震力につきましては基準面の取り方が、その保守的なものになっているかという観点で詳細な説明をするというところも対応いたします。
0:14:47	規制庁の竹田です。はい。ありがとうございます。
0:14:51	それではこの種についての確認は以上とさせていただきます。
0:14:56	その次は地震0001の別紙41でしょうか。
0:15:03	それはこちらの資料について、原案の方から説明お願い。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:12	日本原燃は規制庁カミデです。すいません。中断後の進め方なんですけど、通す話しましたっけ。
0:15:22	はい。日本原燃村野です。審査会合の資料の方を若干修正させていただきたいと思います。目標、提出の目標時刻 5 時 30 分で、
0:15:34	お願いしたいと思っております確認の残業時間が、やはり入るところかもしれませんが、申し訳ありません。5 時 30 分。
0:15:42	に、お出しすることで作業をやりますので、ヒアリングはその前に、
0:15:46	を終えるような形にしたいと思っております。
0:15:49	以上です。
0:16:02	日本原電村杉ご都合ゆ、いかがでしょうか。
0:16:11	規制庁カミデです。5 時半のもので、セット。
0:16:18	ということでよろしいですね。
0:16:21	はい。その予定でございます。内容的には、先ほどの長谷川管理官、いらしたときに、
0:16:31	少しご議論させていただいた原著くうの方向の説明の流れが少し悪いところ、少し言葉を、必要なページに達していくということと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:42	あと、数字が消えてる表があるみたいなところありますので、基本的には元の資料に戻して、
0:16:48	コメントを反映したものにするという、2点で、大きく2点でございます。
0:16:55	以上です。
0:17:00	はい、規制庁カミデです。それでどうなんだって気もしますけど図、ま ずありました。
0:17:09	H y a l o 具自体は、
0:17:12	ホワイエ 5 時半まで。
0:17:15	かけたくないなというところがあってですね。
0:17:19	できれば別紙 4 のあと別紙 4 シリーズなんですけど、別紙 4-1 であっ たり、
0:17:29	あともともと、
0:17:30	希望があった、別紙別紙じゃなくて耐震貴殿の幾つだったかあれですけ ど、事故時荷重の話みたいなもの。
0:17:40	ぐらいや。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:41	てっと思ってます。別紙シリーズほかにもいっぱい来てますけど、基本的な水平展開で直さなきゃいけないところがほとんどですから、簡単に。
0:17:51	ポイントだけ話をして、なるべく早めに、
0:17:56	今日は終わりたいと思ってますけどそういう進め方でいいですか。
0:18:03	日本原燃六ヶ所です。
0:18:05	そのような進め方でよろしく願いいたします。
0:18:08	すいません。日本原燃佐川です。今のカミデさんのご指摘に高谷り方に対しまして、提言としましても、別紙1と4-1っていう関係で親と子っていう関係でそこにすべて盛り込まれてますので、
0:18:20	そこからの展開というところで、5ではないんですけど、基本の3以降というところはカミデさんがおっしゃる通り水平展開という形で、
0:18:28	コメント反映されできると考えてございますと、って言って補足したかったのが対新規で22っていうところでそこについては、今画面に出ますけども、
0:18:38	別紙4-1の中でその事故時荷重というところの話がありまして、本補足説明資料は、今まで1度も出していないので、4-1と、この耐震基準

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	に 12 っていうところをやらせていただきたいというところになってございませう。
0:18:51	なのでカミデさんのやり方でやらせていただければと考えているというところでございます。以上です。
0:19:00	はい、規制庁カミデですわかりました。それで、4-1 ですけど
0:19:06	もうあらかじめ読んでますんで何か特別説明が必要であれば、お願いしたいんですけど特になければ、こちらから始めますがいかがですか。はい。
0:19:18	いや、それはさっき言ってあげてもらえば。
0:19:26	これ印刷なんかそうすりゃあ、すいません、九州電力さん、ミュートにしてくださいよろしいですか。
0:19:42	すいません。日本原燃菊池です。こちらからは特にございませんのでよろしく申し上げます。
0:19:50	はい。規制庁、上出です。じゃあ、再処理の方自身 0001 R 11 の別紙。
0:19:59	A 4 の 1 から話をします。
0:20:06	すいませんちょっと資料を出しますんでお待ちください。
0:20:16	まず 312 ページなんですけど、初めの方なぜ鉄学校。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:24	本文があって添付がないってのはこれ、どういう。
0:20:28	構成になってるんでしたっけ。
0:20:40	少々お待ちください。日本原燃菅原です。この部分につきましては基本設計方針をまず順番通りに並べ、
0:20:52	上で、該当するところを、横のですね、添付書類4-1-1のところの、
0:21:01	ちょうど該当するところを、比較するんですけども、その該当する箇所が出て、
0:21:09	来るところで再建をするということで今並べています。ですので序盤の方の地盤のところは、
0:21:19	一旦その実際さ、基本設計方針の順番で、ここの位置に最初出てきてい るという関係になっております。
0:21:34	6 規制庁カミデです。
0:21:37	ちょっとぱぱっと進みますけどこういう感じになるんだったら何か説明 書きを入れといてください。
0:21:44	ということです。あと 315 ページですけど、
0:21:51	1 発概要の最後に 32 条 33 条たんですけどここは 5 条は地盤、6 条は地 震による損傷の防止って書いてあって 3233 の後はないので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:07	この辺は粒状は多分入れるんじゃないかなと思ってますんでそういう精査は
0:22:13	まだ全体書いてないんじゃないかと思ってるので気づきとして伝えておきます。
0:22:21	日本の懸念季節承知いたしました。
0:22:31	はい。あとその下のなお書きもですけど次回工事申請する添付書類。
0:22:40	4 から 6 ってますけどこの辺の名前を入れてちゃんと説明をするようにお願いします。
0:22:51	日本原燃福士です。了解いたしました。
0:23:01	ストウ規制庁カミデです。あとですね。
0:23:10	327 ページ。
0:23:19	この一番下の青キーが、先ほどちょっと話出たのかもしれないんですけど。
0:23:26	金貨を呼び込むん。
0:23:30	ていうのが、なぜこれでいいのかっていうのがよくわかんなくて今回の、設工認申請で宇和系されないように工夫されてるんですけどそのあたり、教えてもらえますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:51	少々お待ちください。
0:24:27	奥山です。はい。すみません。宮部佐川です。これ開発共同のところに なってきました今担当者いないのでちょっと間違っただこと言ったらまず いので1持ち替えがさせていただきます。そこの条文の扱いにつきまして、 はい。
0:24:43	はい、規制庁カミデズわかりました。次進みますけど。
0:24:48	ちょっとすね 364 ページ。
0:25:01	この辺君、機能維持のところなんですけど、例えば気密性だったり遮へ いだったりっていうのを、
0:25:10	基本的な方針も、董事会なのかっていうところは、
0:25:17	他の条文の水平展開ものだと思いますけど。
0:25:20	申請施設がないから基本方針を示さないっていうわけではなくて、おそ らく前広にっていう中の一つだと思うので認識しておいてください。
0:25:32	はい。日本原燃菅原です。はいこちらの方もはい認識いたしました。
0:25:40	はい。規制庁上出です。
0:25:47	あとは 373 ページなんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:01	3パラ目、青字の部分ですけど、また書き部分で設備として共通して使用できるっていうのが、
0:26:12	これは何を説明しようとしてるのかよくわからなかったんですけど教えてくださいませんか。
0:26:22	日本原燃菊池ですと。
0:26:24	こちらにつきましては時計さん。
0:26:27	の、四方ですとか、
0:26:30	そのフォーマットですね、いうものについては、どう、
0:26:35	この機器、ポンプ類とかっていうのは共通して使えるものがあるっていうところで、その計算方針を、
0:26:43	下に三行に書いてます指示方針であったり耐震計算書の作成の基本方針。
0:26:49	の方で共通的なものを示しますっていうところを、記載させていただいております。
0:26:58	藤規制庁カミデです。
0:27:01	使用できるっていうのが多分、
0:27:05	資料作成者が使用できるっていうだけで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:10	共通、そもそも計算式がどうなのかっていう話だと思うんで日本語がおかしいとか新基本方針に示す言葉として、適切にしてもらえればと思います。そういうのも、
0:27:24	他にもありますので、ちゃんと一通り読んでですね、適正化をお願いします。
0:27:33	はい。日本原燃佐川です。今野上さんのご指摘に対しましてはその目線っていうところで、当事者なのか受け取る側なのかっていうところですべて展開して直してきてるつもりです。だけど抜けましたすいません。
0:27:46	今ご指摘ありました通り他のところも同じような観点ですべて直していきます。以上です。
0:27:54	はい。規制庁カミデです。
0:27:57	あと 375 ページの一番下の青字で A という抗力の話が出てますけど、これで発電所で
0:28:09	似たような記載があるんじゃないかと思ったんですけど、最初にオリジナルになっちゃうんでしたっけ。
0:28:37	規制庁カミデですその辺調べておいてください。次行ってよろしいですか。376 ページですけど、どう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:48	真ん中の青字ですね。授業増加の話があるんですけどこれ、前はなかったと 思っていて、
0:28:58	何、どういう。
0:29:01	のが見つかって、記載が増えたのか、説明いただけますか。
0:29:12	日本原燃菅原です。確か前々回まではですね
0:29:19	もともと今回申請のA4Bを想定した場合にこういった事情はないとい うところで、記載していなかったんですけども。
0:29:30	そういった目線ではなくて、
0:29:36	全体として島全体を見渡したときにこういった方針、
0:29:42	少し変えた方が良くというふうに考えまして今回ちょっと幅広に書かせ ていただいたというところです。
0:29:57	規制庁カミデです。
0:30:04	今のこの記載だけ入れても仕方がないと思うんですけど。
0:30:12	そうですねあんまりやりとりしてもあれなので
0:30:16	具体的にどういうものがあってっていう話を説明できるようにしてくださ いってということと、あと、方針として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:25	どうするのかっていうことをちゃんと出してください。一応そういうことで検討をお願いします。
0:30:36	はい。日本原燃菅原です。はいちょっと意見をいたします。ちょっと具体を出すと、ちょっと次回のところにもかなり踏み込まないと、
0:30:48	具体述べられないというところもありますのでちょっとその辺りもちょっと踏まえてもう少し考えさせていただきます。
0:30:57	規制庁カミデです。どの施設がっていうよりは、何をするのかっていう話でおそらくその重量増加してるものは普通2、
0:31:07	計算書で反映すればいいんじゃないかと思うんですけど、おそらく何か違うイレギュラーな方向でやろうとしてるんじゃないかと、精査つてますんで、そういう例であればどういう方針で、どういう方法でそういう交流をするのかっていうところを、
0:31:25	話を記載をしてもらってということだと思ってますのでお願いします。次に進みますけど、381 ページで、
0:31:39	この記載がちょっと浮いてるような感じがしたんですけどこれ本文、
0:31:46	の方針も今書いてないですし、
0:31:49	あれですかね許可にもあんまり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:53	このそのものはなかったような気がするんですけど、これふやし態度って何かありますか。
0:32:03	日本原燃菊池です。
0:32:05	こちらの記載をさせていただいたこととしましては再処理の特徴的な部分としてせないってところの、
0:32:13	保守が困難な部分に対して設計上どういった考慮するかっていうところを、記載をしております。
0:32:24	何。
0:32:29	なのでちょっと
0:32:31	許可からの紐づけというよりは浅井処理の特徴的な部分の設計の考慮と いうところで記載をさせていただいた文章になります。
0:32:42	山根様です。少し補足させてください。
0:32:45	この今野土が言った話に対しまして、これは既認可も許可もなかったですってというのはまさにその通りになってございます。前回ってのが、 9月10月に本基本方針の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:58	確認をやらせていただいている時に、再処理の特徴的なものが書かれてないというところで、藤カミデさんの方からまず指摘ありましたと。その後、コサクさんの方から指摘ありまして、
0:33:11	セル内に対する設計というところの考慮事項もないよねっていう指摘がありましたので、我々案が考えたじゃなくて既認可の時はなかったんですけども、こういう配慮をしてるっていうところを具体的に書く必要がありますよねっていうところで今回、
0:33:26	明記したっていうのが背景になっております。以上です。
0:33:32	規制庁カミデです。
0:33:37	これを、
0:33:39	担保して、その後どうなるのかっていうところだとかあとは本当に本文に書く必要がないのか、っていうところになるので、
0:33:52	ただ添付にこれを書いて終わりっていうわけではなくて、もう少し
0:33:57	前後。
0:33:59	踏まえて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:00	検討しなきゃいけないかなと思いますちょっと具体的にイトウっていうのは今はないですけどちょっとこのままでは、あまり意味のない記載になってますので、そのあたりまた検討ください。
0:34:14	はい。宮部澤です。今カミデさんのご指摘に対しまして本文というのは確かに、親と子っていう関係もありますので、これ再処理全体に関わりますので、
0:34:24	少し、許認可の方とも、どうすべきかっていうところを話した上で、この扱い我々も検討いたします。以上です。
0:34:34	はい。規制庁神戸ですコメントの趣旨を踏まえてっていうところことで、特徴的なのって言われたか特徴的なのかけましたっていうよりもちょっと
0:34:45	深掘りをして、
0:34:48	考えてもらうということだと思います。
0:34:51	続けて 382 なんですけど、一関東のは形がここに載ってるのがちょっと違和感だったんですけどここでいいのかどうか、もう 1 回考えてみてください。これ以降の、
0:35:06	こそテンプレの方針に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:09	いるべきなのかここにいるべきなのかってのが、
0:35:13	ちょっとよくわかんなかったので、説明できるようにしておいてください。
0:35:25	規制庁カミデです。別紙4-1はそれぐらいで。
0:35:34	それぐらいというかかいつまんでお話をしましたけど、
0:35:40	やっぱり、
0:35:41	S A と D B の書き分けとか、あとは第1回とか第1回でこれでいいのかと、あとはそもそも文章これでいいですかっていうところがまだ、精査しなきゃいけないっていうところだと思いますので、基本的には
0:35:58	これを、
0:36:00	水平展開して別紙シーズン見てもらえればと思いますが、よろしいですか。
0:36:07	日本原燃菊池です。はい、了解いたしました。
0:36:15	規制庁上出です。そうは言ってもちょっと特徴的なというか言っておいた方がいいのかなと思うのが、
0:36:23	マイク使ってお伝えだけしますけど。
0:36:31	地震、000にMOXのほうの別紙4-1なんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:38	最初にもう一緒だったような気はしますけど、
0:36:45	320 ページにですね、地下水排水設備。
0:36:50	そっか。
0:36:51	あるんですけど、
0:36:56	これって、
0:36:58	何かこう次回でやり、説明しますってのは前から聞いてるんですけど。
0:37:04	現在、その頃からかなり時間が経ってますけど。
0:37:09	状況においても、まだ次回で説明したいってことなんですかね。
0:37:23	はい日本原燃富樫でございますこちらの方の地下水排水設備につきましては本部とかそういったものも合わせたような形の方で説明するものなのかなというふうに思っております講師会の方で説明したいというふうに考えているところでございます。
0:37:40	はい。規制庁古味です。そうすると、
0:37:45	より、ここで何を書くかっていうところが大事で、そのものの設計を示さないけど、この方針でどこまで担保するかっていうことなんですけどその辺は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:56	耐震建物 13 か確か地下水の設定の補足説明だったんでそ、そこで、もう少し話を聞くとおもうてるんですけどそれでよろしいですか。
0:38:09	はい、宮城土橋でございますその通りでございます。
0:38:17	はい。規制庁、カミデです。
0:38:21	あと本当にかいつまんでこういうところにも気をつけてくださいねという、アラートの意味でお伝えしますけど。
0:38:31	まず、
0:38:33	別紙 4 の方、再処理の方ですね。
0:38:38	ええ。
0:38:39	522 ページに、
0:38:43	いろいろ機器の話があるんですけど、
0:38:48	最初に行っているいろいろ機器があるんで本当にこれだけでいいですかと。
0:38:53	F E M で評価する機器とか、
0:38:57	ないのかっていうところが気になったのでこれも、こういうのも
0:39:02	第 1 回でどこまで示せるのか全体を見通してどうしますかっていうところの一つなので、そういった目線で見てくださいということの一つです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:18	阿藤、同じく別紙4のこの地震用等の方針で、今回直下地盤をやるじゃないですか。何かその辺の話が全然基本方針出てこないで手当する必要がないかっていうのは検討しておいていただければと思います。
0:39:40	で、またちょっと資料を飛んでしまうんですけど、
0:39:45	気になったのが、最初の別紙4の7ですね。
0:39:53	ええ。
0:39:55	そこで水平2方向の話なんですけど、どうどのところが導入もよくわからない記載になっていて、
0:40:02	氷が設計しているっていう話なんですけど、設計するっていう話だと思います。で、
0:40:10	また分岐分のところの説明が、どうしたいのかっていうのがよくわからなくてですね、方針として、
0:40:21	語られるべきに。
0:40:23	ようなものなんですけど、何かそもそも説明すべきがないような記載にも、
0:40:28	見えてますんでちょっと整理方向の道道の部分っていうのをちょっと、見直す、ちゃんと見てくださいということです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:39	日本へのメールです了解しました。記載の方をこちらの方、直そうと思 ってましたんで、別紙1シリーズとかを含めて、RPCならんような
0:40:51	でも、もし分岐のところわかりやすくいたしたいと思います。
0:40:58	はい、規制庁関係です。
0:41:00	あとですね再処理の方だと
0:41:04	資料の9のPTの説明書ですけど、
0:41:11	俗称拘束分、737ページに座屈高速ブースブレースの説明がばこんなも のですねっていうのはあるんですけど、こんな説明は中期でもよくて、す るよりもその座屈コウソクブレースをどういうふうに配置するかという 行動計画の話が、
0:41:30	大事だと思うんで、その辺が出てないです。
0:41:36	それが最初にの方。
0:41:39	あとですね
0:41:42	再処理で言うと別紙4-14というのをついてて、ページで言うと1041 ページですけど。
0:41:51	計算書の作成の基本方針だったと思います。これ
0:41:56	機器だけあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:58	は、建物構築物とか配管系には、
0:42:02	この書類がないんでなんか浮いてるような感じがあるので、冒頭になん で、
0:42:09	この資料が必要なのかってところが、概要として書いてあればいい なと思いましたので、検討をお願いします。
0:42:21	あと、最後にMOXで一言なんですけど。
0:42:27	もう加瀬で言うと、別紙4の7に、これが機能維持の基本方針だったと 思いますけど。
0:42:39	今回燃料加工建屋は申請になってますんで、一つ気になったのが639ペ ージにある。
0:42:47	遮へい性なんですけど、燃料加工建屋の遮へい性を有してる壁がどこな のかってというのは、また今度説明をいただければと思います。
0:43:01	あとは641ページにあるんですけど、何か閉じ込めの機能について今回 対象がないですっていう話なんですけど先ほどもお話したように、
0:43:14	重要区域ってというのがあって閉じ込めと関連してますんで、
0:43:20	関係ないとは思ってませんよというところですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:25	非常に簡単かつ、ちょっとやりとりをせずに、一方的に伝えるような形になって、申し訳ないんですけど私の方からは以上です。事業者の方から何かありますか。
0:43:56	日本原燃菊地です。こちら側からは特にございません。
0:44:04	規制庁カミデです最初お話したかと思えますけど、今一度確認しますけど、
0:44:12	74 シリーズ囲ま地震 00 について、
0:44:17	まずは事業者の方でいろいろ踏まえて見直すっていうことで
0:44:24	丁寧に聞いてないものはありますけど、一旦一通り修正して、なので来週のアリリングとかでは特に扱わないっていう認識ですけどそれによろしいですか。
0:44:37	はい。井上佐川です。別紙 1 等を本日いただいた別紙 4 というところで全体に関わるコメントっていうところもありますし他の条文でいただいたコメントの水平展開というところもあるということでリスク、理解してございます。亀田さんからいただいたコメントもすべてに水平展開をしていくというところと個別に直すところ、あと他ん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:56	最初の特徴的なというところで、全体で考えるところというところがありますので、それらの修正はこの基本方針内ですべてやっていきますので、来週につきましては、補足説明資料を個別にやらせていただくというので、
0:45:10	お願いしたいってことで考えてございます。以上です。
0:45:14	日本忙しいですけども亀井さんちょっと1点だけ確認なんですけども一瀬東野スペクトルの1なんですけども今ってどちらかという極連続性を考えるとあそこって耐震計算のその他の検討部分出てくる場所なので、
0:45:30	つけようと思うと、一井ぐらいしか何となく我々として付ける場所がないなあというふうに思っていてございまして、なので、その耐震計算の附属のところで一瀬東が出て来るところで、そのスペクトルも併せ提示したっていったところの、今、位置付けで、
0:45:45	我々の方としましては添付してございました。
0:45:50	はい、規制庁カミデです。基準地震動が出てくる場所と、
0:45:57	一関東が出てくる場所が違うのが何か気になったなっていうところだったんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:05	基準地震動は A 棟、
0:46:08	別紙 4 の別紙じゃないか、別紙もない、作ってないところが出てくるんですよ。
0:46:15	そうです地震動の概要の S s と S D の概要のところにくっついて出てきます。一ノ瀬東が我々の方としての許可の時点でもう
0:46:26	S s とは切り離れた部分として一関の水平とあくまで組み合わせる時の評価用地震動という位置付けになってたところがありましたので、その位置付けで同様なその耐震計算の、
0:46:38	組み合わせをするときに、その水平と組み合わせると既往の地震動として評価しますって言ったところの一連のところは今つけさせていただいたといったところが我々の今の頃でした。
0:46:53	はい、規制庁カミデです。また改めて、一通り精査したときに、
0:46:59	本
0:47:01	どういうふうに見えるかっていうところでまた確認したいと思います。
0:47:05	はい。出野課長佐瀬よろしく申し上げます。
0:47:16	規制庁竹田です。それでは、地震 00 関係、よろしいでしょうか。
0:47:28	それでは、新 0 関係の確認は以上とさせていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:34	それでは、次が、耐震基準の 22 でしょうか。
0:47:41	雑魚チラーについて。
0:47:44	担当、補足で説明がありましたらお願いいたします。
0:47:49	はい。日本原燃の岩淵でございます。
0:47:52	令和 3 年 12 月 20 日に提出いたしました。最盛期 022。
0:47:58	地震力と、事故時荷重の組み合わせについてについてご説明させていただきます。
0:48:04	今回初めて、
0:48:06	お出しする資料でございます。内容といたしましては、
0:48:10	事故時荷重、運転時の異常な過渡変化ですとか、次、設計基準事故時に、
0:48:16	最高使用温度圧力を超えるような荷重が加わるかどうかで加わった場合には、ジャグ。
0:48:26	4601 に従いまして地震の発生確率と、事故の経過時間、事故の発生確率を加え、かけ合わせまして 10 のマイナス 7 乗。
0:48:38	未満であれば、7 条以下であれば、地震力と、事故時荷重の組み合わせはないと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:44	いうふうな判断をさせていただきます。
0:48:46	運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故につきまして、
0:48:51	事故時荷重の有無、事故時荷重がある場合は、その経過時間及び発生確率等、
0:48:59	確認いたしまして、いずれの場合につきましても、地震力と事故時荷重の組み合わせは必要ないと。
0:49:05	いうふうに整理をさせていただきます。こちらの以上でございます。
0:49:14	規制庁武田です。ありがとうございます。それではこの資料につきまして規制庁側から確認がありましたらお願い。
0:49:23	規制庁カミデです確認したいことは
0:49:28	おっきなところ一つだけで、
0:49:31	この資料に載ってる。
0:49:34	実行。
0:49:36	が本当にすべてですか。
0:49:40	それ以外のものっていうのを、
0:49:43	西これ以外のものも視野に入れて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:47	最大とかを見なくていいですかって言う古藤だけですその辺答えてもいいですか。
0:49:59	はい。日本原燃の矢口でございます。
0:50:02	そうですね
0:50:05	瀬、
0:50:05	運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故につきましては
0:50:11	他の段階で、それぞれ
0:50:14	7事象をピックアップしてございます。それは公衆に与える影響の大きさですとかそれらを勘案して、そちらを設計基準事項としてございます。
0:50:25	当然類似事象その他の事象もありますがそれにつきましては、
0:50:32	そもそも事故が起こらないですとか、公衆への影響が少ない。
0:50:36	等ありますのでそちらの方は設計基準事故とする必要がない事象として
0:50:41	整理してございますので、今回、小磯の資料で
0:50:46	ご説明いたしましたそれぞれ7事象につきまして、評価をして問題ないというふうに考えてございます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:55	はい、規制庁カミデですそういったところを、巨カーで代表を選定したものをスタート地点にするのではなくて、そのもっと前ですね、要はJMレポートみたいなのところだと思いますけどそういうところから
0:51:13	絞り込んで、これでいいんだということをちゃんと説明するような資料にしてください。
0:51:20	その時には今
0:51:24	代表、気になっているのはやっぱり候補事象から代表事象に選定する流れの視点っていうのが、
0:51:34	許可の時は先ほど報酬への影響みたいな話をしていましたけど、
0:51:40	耐震の場合は今日の18ページにあるようにその継続時間だとか、
0:51:47	発生確率だとかあとは判断においては、圧力なり、温度であったりって いうのも踏まえて、
0:51:57	組み合わせるかどうかっていうところなので地震力との組み合わせって いう視点の、
0:52:03	観点でも本当にこの代表事例でいいのかっていうところを、ちゃんと説明して欲しいと思ってますので、そういった形で、資料拡充いただきたい と思っています。よろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:20	日本原燃岩淵です。
0:52:22	承知いたしましたその辺も含めてこれで問題ないというふうな資料に、 修正することといたします。以上です。
0:52:35	規制庁カミデです私の方から以上。
0:52:42	規制庁タケダですその他規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:52:50	敬礼ば、現地の方からこの種についての修正を次、修正方針と不開示情報 の発言がなかったか、確認をお願いします。
0:53:01	日本原燃矢口でございます。修正箇所といたしましては先ほど小峰さん からご指摘がありましたように、
0:53:08	設計基準事故及び運転間参加事故等の後方段階からの絞り込み、耐震の 観点での絞り込みを記載を、
0:53:18	拡充する方向で修正したいと思います。以上です。
0:53:27	千野竹田です。ありがとうございます。
0:53:31	それでは私、綺麗に 12 の確認を以上とさせていただきます。
0:53:37	そいでは予定していた議題としては以上ということよろしいでしょう か。
0:53:49	1 回こちら日本理念六ヶ所です。最後に耐震建物、15、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:55	ですけれどもこちらご説明差し上げたいと思いますがいかがでしょうか。
0:54:01	はい。それでは耐震建物 15 を説明をお願いします。
0:54:12	日本原燃星野でございます。
0:54:14	耐震建物 15 の修正につきましては、1000、以前、ヒアリングでいただいた基礎スラブの応力解析において、上部構造の耐震壁というものを弾性要素としてモデル化していることに関しての、
0:54:27	コメントをいただきました。それに対してですね別紙の付録という形で塑性化に関する影響検討の結果を追加させていただいたのが、今回の R4 として資料として提出させていただきました。以上になります。
0:54:45	規制庁武田です。ありがとうございます。それではこの資料について規制庁側から確認ありましたらお願いいたします。
0:55:13	規制庁カミデです必要は受けるんですけど現状特にないのでまた何かあればお話して。
0:55:24	日本原燃ホシノで承知いたしました。
0:55:32	規制庁武田ですと、それでは、ホシノまだ何かあれば確認を、
0:55:39	させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:41	それでは本日予定していた議題としては以上となります。
0:55:47	全体を通しまして規制庁側から何かございますでしょうか。
0:55:57	よろしいでしょうか。日本原燃の方から何かございますでしょうか。
0:56:04	はい。日本原燃側からは特にございません。ありがとうございました。
0:56:09	それでは、本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
0:56:15	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。